

2021年度（令和3年度）

事業報告書

社会福祉法人 手稲ロータス会

目 次

社会福祉法人 手稲ロータス会

1. 法人の運営
 - (1) 法人の開設 2
 - (2) 寄付金品の状況 2
 - (3) 理事会 2021 年度 理事会開催状況 3
 - (4) 評議員会 2021 年度 評議員会開催状況 3
 - (5) 監査及び外部評価 4
 - (6) 研修実施状況 5~8

手稲ロータス会 法人本部事務局

1. 重点推進課題の実施報告 10

特養手稲

1. 重点推進課題の実施報告 14
2. 事業運営
 - (1) 施設の開設 18
 - (2) 施設職員の配置状況 18
 - (3) 行事实施状況 19
 - (4) 利用者の状況 20
 - (5) 苦情受付件数と主な内容 23
 - (6) 介護事故件数 23
 - (7) 慰問・ボランティア状況 24
 - (8) 実習生受入れ状況 24
 - (9) 地域における広域的な取組 24

手稲ロータス 指定居宅介護支援事業所

1. 重点推進課題の実施報告 26
2. 事業運営
 - (1) 事業所の開設 29
 - (2) 施設職員の配置状況 29
 - (3) 居宅介護支援事業所 相談実件数及び相談内容 30
 - (4) 介護度別 居宅介護サービス計画作成状況 30
 - (5) 苦情受付件数と主な内容 30
 - (6) 介護事故件数 30
 - (7) 地域における広域的な取組 30

老健手稲

1. 重点推進課題の実施報告
 - (1) 老人保健施設 手稲あんじゅ 33
 - (2) 手稲あんじゅ（介護予防）通所リハビリテーション事業所 34
 - (3) 手稲あんじゅ（介護予防）訪問リハビリテーション事業所 35

2. 事業運営	
(1) 施設の開設	36
(2) 施設職員の配置状況	36
(3) 行事实施状況	37
(4) 利用者の状況	38
(5) 苦情受付件数と主な内容	41
(6) 介護事故件数	41
(7) 慰問・ボランティア状況	42
(8) 実習生受入れ状況	42
(9) 地域における広域的な取組	42

在宅手稲

(介護予防) 認知症対応型共同生活介護 手稲ゆうゆう

1. 重点推進課題の実施報告	45
2. 事業運営	
(1) 施設の開設	46
(2) 施設職員の配置状況	46
(3) 行事实施状況	47
(4) 利用者の状況	48
(5) 苦情受付件数と主な内容	50
(6) 介護事故件数	50
(7) 慰問・ボランティア状況	50
(8) 地域における広域的な取組	50

手稲ゆうゆう (介護予防) 通所介護事業所

1. 重点推進課題の実施報告	52
2. 事業運営	
(1) 施設の開設	53
(2) 施設職員の配置状況	53
(3) 行事实施状況	53
(4) 利用者の状況	55
(5) 苦情受付件数と主な内容	56
(6) 介護事故件数	56
(7) 慰問・ボランティア状況	56
(8) 地域における広域的な取組	56

手稲ゆうゆう 指定居宅介護支援事業所

1. 重点推進課題の実施報告	58
2. 事業運営	
(1) 事業所の開設	59
(2) 施設職員の配置状況	59
(3) 居宅介護支援事業所 相談実件数及び相談内容	60
(4) 介護度別 居宅介護サービス計画作成状況	60
(5) 苦情受付件数と主な内容	60
(6) 介護事故件数	61
(7) 地域における広域的な取組	61

手稲ゆうゆう（介護予防）訪問介護事業所・居宅介護事業所	
1. 重点推進課題の実施報告	63
2. 事業運営	
(1) 事業所の開設	64
(2) 施設職員の配置状況	64
(3) 訪問介護事業 訪問時間数	65
(4) 苦情受付件数と主な内容	66
(5) 介護事故件数	66

手稲ゆうゆう 札幌市手稲区介護予防センター稲穂・金山・星置	
1. 重点推進課題の実施報告	68
2. 事業運営	
(1) センターの開設	70
(2) 施設職員の配置状況	70
(3) 介護予防センター事業実施状況	71～73
(4) 介護予防センター 相談実件数及び相談内容	74
(5) 介護予防事業実施回数及び参加人数	74
(6) 苦情受付件数と主な内容	74
(7) 介護事故件数	74
(8) 地域における広域的な取組	74

特養音更

1. 重点推進課題の実施報告	
(1) 介護老人福祉施設 ロータス音更	77
(2) ロータス音更（介護予防）通所介護事業所 認知症対応型通所介護事業所	78
2. 事業運営	
(1) 施設の開設	79
(2) 施設職員の配置状況	79
(3) 行事実施状況	80
(4) 利用者の状況	82
(5) 苦情受付件数と主な内容	85
(6) 介護事故件数	85
(7) 慰問・ボランティア状況	86
(8) 実習生受入れ状況	86
(9) 地域における広域的な取組	86

音更町地域包括支援センター ロータス音更

1. 重点推進課題の実施報告	88
(1) 利用者状況（介護給付実績 ケアマネジメントA）	90
(2) 利用者状況（音更町通所型介護予防事業 ケアマネジメントB）	90
(3) 相談件数・内訳	90
(4) 訪問件数・内訳	93
(5) 認定調査件数	93
(6) 地域活動	93

あんじゅ音更 指定居宅介護支援事業所

1. 重点推進課題の実施報告	95
2. 事業運営	
(1) 事業所の開設	96
(2) 施設職員の配置状況	96
(3) 居宅介護支援事業所 相談実件数及び相談内容	97
(4) 介護度別 居宅介護サービス計画作成状況	97
(5) 地域における広域的な取組	97

老健音更

1. 重点推進課題の実施報告	
(1) 老人保健施設 あんじゅ音更	100
(2) あんじゅ音更（介護予防）通所リハビリテーション事業所	102
(3) あんじゅ音更（介護予防）訪問リハビリテーション事業所	104
2. 事業運営	
(1) 施設の開設	106
(2) 施設職員の配置状況	106
(3) 行事实施状況	107
(4) 利用者の状況	109
(5) 苦情受付件数と主な内容	112
(6) 介護事故件数	112
(7) 慰問・ボランティア状況	113
(8) 実習生受入れ状況	113
(9) 地域における広域的な取組	113

社会福祉法人 手稲口一タス会

1. 法人の運営

(1) 法人の開設

多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として、昭和 63 年 6 月 23 日に社会福祉法人として設立した。

概要は、次のとおり

法人名称	社会福祉法人 手稲ロータス会
法人所在地	札幌市手稲区稲穂 5 条 2 丁目 6 番 5 号
事業内容	社会福祉事業 第一種社会福祉事業 特別養護老人ホーム 第二種社会福祉事業 老人デイサービス事業・老人短期入所事業・生活困難者に対して、無料又は低額な費用で介護保険法に規定する介護老人保健施設を利用させる事業・老人居宅介護等事業・障害福祉サービス事業・認知症対応型共同生活介護事業・移動支援事業 公益を目的とする事業 居宅介護支援事業・札幌市手稲区介護予防センター稲穂・金山・星置の事業
職員数	431 名（正職員:284 名、契約職員:12 名、パート職員:135 名）2022. 4. 1 現在

(2) 寄付金品の状況

寄付金件数	7 件	寄付金総額	6 1 5, 0 0 0 円
-------	-----	-------	----------------

物品名	数量
車椅子（自動ブレーキ付）	1 台
ポータブルトイレ	1 台
車椅子	3 台
マスク	3 1 0 枚
エアーマット	1 台
よつ葉ヨーグルト	1 3 0 個
みかん、キャベツ、大根	多数
ギフト券	3 0, 0 0 0 円分

(3) 理事会 2021年度 理事会開催状況

開催年月日		出席理事数 (定数9人)	出席監事数 (定数2人)	議 題
第1回	2021.6.14 (決議の省略)	9人	2人	1 2020年度 決算の承認
				2 役員改選について (1) 評議員候補者の推薦 (2) 定時評議員会への理事・監事候補者の推薦
				3 規程改正 (給与規程、ホームヘルパー就業規程)
				4 定時評議員会の招集
第2回	2021.6.29	9人	2人	1 理事長および常務理事の選任
				2 評議員選任・解任委員の選任
第3回	2021.7.31 (決議の省略)	9人	2人	1 第三者委員の選任
第4回	2021.9.30 (決議の省略)	9人	2人	1 規程改正 (非常勤職員就業規程、給与規程)
第5回	2021.11.26	8人	2人	1 音更町の土地購入について
				2 音更事業所の建替等用地購入に係る2021年度補正予算の編成
				3 監事監査規程および在宅勤務規程の制定
				4 規程改正 (就業規程・給与規程)
				5 人材紹介手数料の支払い
				6 臨時評議員会の招集
第6回	2022.3.29	6人	2人	1 2021年度 2次補正予算
				2 2022年度 事業計画
				3 2022年度 当初予算
				4 「職場におけるハラスメント防止に関する規程」の制定
				5 規程改正 (就業規程、給与規程、育児・介護休業等に関する規程、運営規程)
				6 人材紹介会社に対する手数料の支払い
				7 介護老人保健施設 あんじゅ音更施設長の選任

(4) 評議員会 2021年度 評議員会開催状況

開催年月日		出席評議員数 (定数10人)	出席監事数 (定数2人)	議 題
定 時	2021.6.29	10人	2人	1 2020年度 計算書類及び財産目録の承認
				2 理事・監事の選任
第1回 臨 時	2021.12.3	9人	2人	1 報告事項のみ (2021年度上半期事業実施状況ほか5件)

(5) 監査及び外部評価

ア 法人監事による監査

監査年月日	実施監査員氏名	監 査 項 目	指摘事項
2021. 6. 8	北市幹男 宮川 学	1 2020年度事業報告について	なし
		2 計算関係書類及び財産目録について	なし
2021. 9. 10		1 2021年度 第一四半期の予算執行状況及び事業実施状況について	なし
		2 2021年度 第一四半期の苦情・事故状況について	なし
2021. 11. 18	加賀三千博 橋本修一	1 2021年度 上半期の予算執行状況及び事業実施状況について	なし
		2 監査・実施指導の報告(2021年7月～9月)について	なし
		3 事故・苦情の報告(2021年7月～9月)について	なし
2022. 3. 22		1 2021年度 第三四半期の予算執行状況及び事業実施状況	なし
		2 監査・実地指導及び事故・苦情の報告(2021年10月～2022年2月)	なし
		3 2022年度 事業計画書(案)	なし

イ 社会福祉法人に関する監査

実施なし

ウ 社会福祉施設等に関する監査および介護保険施設等に関する実地指導

監査年月日	監査実施機関名	監 査 対 象	指摘事項
2021. 8. 18	十勝振興局保健環境部 社会福祉課事業指導係	特養ロータス音更・(介護予防) 短期入所生活介護	なし
2021. 10. 13	十勝総合振興局保健環境部 保健行政室	介護老人保険施設、 (予防) 短期入所療養介護 (予防) 通所リハビリテーション (予防) 訪問リハビリテーション	なし

エ 事業所に関する実地指導

実施なし

(6) 研修実施状況

ア 施設内研修(手稲ロータス)

実施日	内 容	対 象 者	講 師 等	参加人数
4月23日	感染症の予防及びまん延防止に関する研修①(Web研修)	手稲ロータス全職員	Webにて実施	52名
5月24日	事故発生又は再発防止に関する研修①(Web研修)	手稲ロータス全職員	Webにて実施	53名
6月28日	食中毒の予防に関する研修(Web研修)	手稲ロータス全職員	Webにて実施	50名
7月26日	看取り介護に関する研修(Web研修)	手稲ロータス全職員	Webにて実施	47名
8月30日	身体的拘束廃止及び高齢者虐待防止に関する研修①(Web研修)	手稲ロータス全職員	Webにて実施	45名
9月27日	感染症の予防及びまん延防止に関する研修(Web研修)	手稲ロータス全職員	Webにて実施	65名
10月27日	事故発生又は再発防止に関する研修②(Web研修)	手稲ロータス全職員	Webにて実施	42名
10月27日	褥瘡予防ケアに関する研修	介護副主任等	JR北海道厚生連 札幌厚生病院「皮膚・排泄ケア認定看護師」宮田照美氏	18名
11月25日	非常災害時の対応に関する研修及び自衛消防の自主訓練(Web研修)	手稲ロータス全職員	Webにて実施	50名
12月1日	排せつケアに関する研修①	褥瘡予防対策委員会委員及び看護職員	王子ネピア株式会社 横山みどり氏	9名
12月2日	排せつケアに関する研修②	褥瘡予防対策委員会委員及び看護職員	王子ネピア株式会社 横山みどり氏	7名
12月3日	排せつケアに関する研修③	褥瘡予防対策委員会委員及び看護職員	王子ネピア株式会社 横山みどり氏	6名
12月13日	感染症予防に関する研修	介護副主任等	医療法人社団藤花会 江別谷藤病院「ICT専任看護師・感染管理認定看護師」池間友美氏	24名
12月27日	高齢者虐待防止に関する研修(Web研修)	手稲ロータス全職員	Webにて実施	37名
1月31日	地震などの自然災害の防災に関する研修(Web研修)	手稲ロータス全職員	Webにて実施	51名
2月15日	身体的拘束廃止に関する研修②(Web研修)	手稲ロータス全職員	Webにて実施	42名
3月22日	非常災害時の対応に関する研修及び自衛消防の自主訓練(Web研修)	手稲ロータス全職員	Webにて実施	50名
合 計				648名

イ 施設内研修(手稲ロータス居宅)

実施日	内 容	対 象 者	講 師 等	参加人数
4月23日	感染症の予防及びまん延防止に関する研修①(Web研修)	主任介護支援専門員	Webにて実施	1名
5月24日	事故発生又は再発防止に関する研修①(Web研修)	主任介護支援専門員	Webにて実施	1名
6月28日	食中毒の予防に関する研修(Web研修)	主任介護支援専門員	Webにて実施	1名
7月26日	看取り介護に関する研修(Web研修)	主任介護支援専門員	Webにて実施	1名
8月30日	身体的拘束廃止及び高齢者虐待防止に関する研修①(Web研修)	主任介護支援専門員	Webにて実施	1名
9月27日	感染症の予防及びまん延防止に関する研修(Web研修)	主任介護支援専門員	Webにて実施	1名
10月27日	事故発生又は再発防止に関する研修②(Web研修)	主任介護支援専門員	Webにて実施	1名
11月25日	非常災害時の対応に関する研修及び自衛消防の自主訓練(Web研修)	主任介護支援専門員	Webにて実施	1名
12月13日	感染症予防に関する研修	主任介護支援専門員	医療法人社団藤花会 江別谷藤病院「ICT専任看護師・感染管理認定看護師」池間友美氏	1名
12月27日	高齢者虐待防止に関する研修(Web研修)	主任介護支援専門員	Webにて実施	1名
1月31日	地震などの自然災害の防災に関する研修(Web研修)	主任介護支援専門員	Webにて実施	1名
2月15日	身体的拘束廃止に関する研修②(Web研修)	主任介護支援専門員	Webにて実施	1名
3月22日	非常災害時の対応に関する研修及び自衛消防の自主訓練(Web研修)	主任介護支援専門員	Webにて実施	1名
合 計				13名

ウ 施設内研修(手稲あんじゅ)

実施日	内 容	対 象 者	講 師 等	参加人数
7月1日	新採用職員研修	新採用職員	講義内容の資料を配布	4名
8月2日	感染症予防～食中毒(紙面研修)	手稲あんじゅ全職員	資料の配布とアンケートの実施	65名
8月16日	Web避難訓練前編(Web研修)	手稲あんじゅ全職員	手稲あんじゅ教育訓練委員会で作成した動画を使用	54名
8月23日	事故防止～転倒予防(紙面研修)	手稲あんじゅ全職員	資料の配布とアンケートの実施	57名
9月1日	新採用職員研修	新採用職員	講義内容の資料を配布	1名
9月6日	Web避難訓練後編(Web研修)	手稲あんじゅ全職員	手稲あんじゅ教育訓練委員会で作成した動画を使用	54名
9月20日	虐待防止・身体拘束廃止について(紙面研修)	手稲あんじゅ全職員	資料の配布とアンケートの実施	56名
10月1日	新採用職員研修	新採用職員	講義内容の資料を配布	2名
12月2日	感染症予防について	手稲あんじゅ副主任以上	あんじゅ音更事務長による講義。施設クラスターを経験して	13名
12月13日	感染症予防について	手稲あんじゅ副主任以上	特養手稲ロータスでの研修をライブ配信で視聴	13名
12月22日	業務継続計画(BCP)について	手稲あんじゅ全職員	資料の配布とアンケートの実施	64名
1月19日	感染症予防について(Web研修)	手稲あんじゅ全職員	手稲あんじゅ教育訓練委員会で作成した動画を使用	52名
3月17日	事故防止について(紙面研修)	手稲あんじゅ全職員	資料の配布とアンケートの実施	55名
3月31日	虐待防止・身体拘束廃止について(紙面研修)	手稲あんじゅ全職員	資料の配布とアンケートの実施	60名
合 計				550名

エ 施設内研修(手稲ゆうゆう)

実施日	内 容	対 象 者	講 師 等	参加人数
4月28日	2020年度事故・ヒヤリハットの分析と対策について	介護職員	事故対策委員	5名
5月26日	身体拘束廃止について①	介護職員	管理者	5名
6月30日	食中毒予防について	介護職員	管理者	6名
7月28日	身体拘束廃止について②	介護職員	管理者	16名
8月25日	認知症ケアについて	介護職員	管理者	4名
9月7日	避難訓練について(WEB研修)	介護職員	研修委員	16名
9月29日	ケアパレット操作説明について	介護職員	管理者	6名
11月24日	高齢者虐待防止・身体拘束廃止について③	介護職員	管理者	6名
11月24日	身体介護について	介護職員	管理者	6名
12月24日	感染症予防対策について	介護職員	感染症対策委員	5名
1月26日	緊急時の対応について	介護職員	管理者	5名
2月22日	非常災害時の対応について	介護職員	管理者	5名
3月28日	倫理・法令遵守について	介護職員	施設長	5名
3月30日	プライバシーの保護・個人情報保護について	介護職員	管理者	5名
合 計				95名

オ 施設内研修(手稲ゆうゆう通所)

実施日	内 容	対 象 者	講 師 等	参加人数
7月26日	食中毒の危険性(資料配布のみ)	通所全職員対象	主任管理栄養士	24名
8月16日	避難訓練について(WEB研修)	通所全職員対象	部門長	7名
8月31日	ケアパレット操作説明について	通所常勤職員対象	部門長	6名
9月7日	避難訓練について(WEB研修)	通所全職員対象	部門長	3名
3月8日	事故防止・身体拘束廃止について(WEB研修・資料配布)	通所全職員対象	部門長・副主任	24名
3月22日	プライバシー保護・急変時の対応について(WEB研修・資料配布)	通所全職員対象	部門長・副主任	24名
合 計				88名

カ 施設内研修(手稲ゆうゆう居宅)

実施日	内 容	対 象 者	講 師 等	参加人数
4月23日	接遇について	介護支援専門員	介護支援専門員	4名
5月14日	倫理と基本姿勢について	介護支援専門員	介護支援専門員	4名
6月11日	感染症について	介護支援専門員	介護支援専門員	4名
7月9日	感染症について、高齢者虐待について(委員会含む)	介護支援専門員	介護支援専門員	4名
8月20日	身体拘束について	介護支援専門員	介護支援専門員	4名
9月10日	感染症や非常災害時の居宅支援の提供の継続について	介護支援専門員	介護支援専門員	4名
10月8日	感染症について、高齢者虐待について(委員会含む)	介護支援専門員	介護支援専門員	3名
11月12日	ハラスメントについて	介護支援専門員	介護支援専門員	4名
12月10日	ケアマネジメントについて	介護支援専門員	介護支援専門員	4名
2月10日	介護保険法と生活保護法	介護支援専門員	介護支援専門員	4名
2月25日	介護予防ケアマネジメントについて	介護支援専門員	介護支援専門員	4名
3月18日	介護保険法と障がい者総合支援法	介護支援専門員	介護支援専門員	4名
合 計				47名

キ 施設内研修(手稲ゆうゆう訪問)

実施日	内 容	対 象 者	講 師 等	参加人数
4月23日	介護接遇マナー	訪問介護職員	サービス提供責任者	17名
5月21日	身体介護について	訪問介護職員	サービス提供責任者	17名
6月28日	ガウンテクニックについて	訪問介護職員	サービス提供責任者	17名
7月20日	虐待防止・人権擁護について	訪問介護職員	サービス提供責任者	17名
8月23日	身体拘束廃止について	訪問介護職員	サービス提供責任者	17名
9月27日	BCPについて	訪問介護職員	サービス提供責任者	16名
10月28日	感染予防対策について	訪問介護職員	サービス提供責任者	16名
11月24日	個人情報保護法について	訪問介護職員	サービス提供責任者	17名
12月28日	介護技術(生活援助)について	訪問介護職員	サービス提供責任者	17名
1月11日	サービス記録に関すること	訪問介護職員	サービス提供責任者	18名
2月24日	リスクマネジメントについて	訪問介護職員	サービス提供責任者	18名
3月25日	多職種連携について	訪問介護職員	サービス提供責任者	17名
合 計				204名

ク 施設内研修(ロータス音更)

実施日	内 容	対 象 者	講 師 等	参加人数
4月28日	新型コロナウイルスについての基礎知識とPPEの着脱方法について	特養、通所職員	施設長、看護主任	70名
6月4日	認知症ケア研修(資料配布・動画視聴)	特養、通所職員	施設向上委員会	77名
8月2日	事故報告 事例検討会	特養、通所職員	事故防止委員会	53名
9月13日	認知症の人のニーズを読み解く科学的アプローチ(動画視聴)	特養、通所職員	東京都医学総合研修社会健康医学研究センター	73名
10月1日	心肺蘇生・AED研修(動画視聴)	特養、通所職員	とちぎ広域消防 音更消防署	77名
10月20日	令和3年度 ロータス音更 新人職員研修	令和3年採用者	施設長、統括介護主任、介護主任、看護主任、生活相談員	2名
3月1日	口腔ケアについて(資料配布)	特養、通所職員	つがやす歯科医院	42名
3月1日	リスクマネジメント 再発防止対策事例(動画視聴)	特養、通所職員	事故防止委員会	80名
合 計				474名

ケ 施設内研修(あんじゅ音更)

実施日	内 容	対 象 者	講 師 等	参加人数
5月1日	感染予防研修「ガウンテクニックを身に付ける」【PPE脱着指導:個別】	あんじゅ音更全職員	感染防止委員会 (5月1日～6月22日の期間)	72名
5月26日	接遇研修「安心できるその一言忘れていませんか」【資料配布・動画閲覧】	あんじゅ音更全職員	接遇向上委員会 (5月26日～6月10日の期間)	63名
6月23日	医療事故防止研修「救命講習」【資料配布・動画閲覧】	あんじゅ音更全職員	医療事故防止委員会 (6月23日～7月5日の期間)	84名
7月26日	感染予防研修「食中毒予防」【動画閲覧】	あんじゅ音更全職員	感染防止委員会 (7月26日～8月9日の期間)	80名
8月13日	身体拘束廃止研修「アンガーマネジメントについて」【資料配布】	あんじゅ音更全職員	身体拘束廃止委員会 (8月13日～9月18日の期間)	75名
9月22日	防災研修「夜間想定避難訓練について」【資料配布】	あんじゅ音更全職員	防災委員会 (9月22日～9月30日の期間)	80名
10月11日	感染予防研修「感染対策の基礎を学ぶ」【資料配布】	あんじゅ音更全職員	感染予防委員会 (10月11日～10月25日の期間)	80名
11月29日	「いつまでも美味しく食べるのを支援する歯科医療」【資料配布】	あんじゅ音更全職員	口腔ケア委員会 (11月29日～12月14日の期間)	84名
12月22日	医療事故防止研修「事故報告書の書き方」【資料配布・動画閲覧】	あんじゅ音更全職員	医療事故防止委員会 (12月22日～1月12日の期間)	81名
1月26日	虐待防止研修「虐待防止について」【資料配布】	あんじゅ音更全職員	虐待防止委員会 (1月26日～2月10日の期間)	86名
2月24日	感染予防について【準備間に合わず開催できず】	あんじゅ音更全職員	感染予防委員会	0名
3月19日	「福祉用具の新しい機能や性能を知り、理解を深めよう」【動画閲覧】	あんじゅ音更全職員	研修委員会	85名
合 計				870名

コ 施設外研修(手稲ロータス)

実施日	内 容	受 講 者	主 催 者 等	参加事業所名	参加人数
4月17日	高齢者施設&在宅の栄養ケアを見直そう!	管理栄養士	日本医療企画(Web開催)	手稲ロータス	1名
7月1日～7月2日	リスクマネジメント研修	機能訓練副主任	日本慢性期医療協会(Web開催)	手稲ロータス	1名
9月11日	安全対策担当者養成研修	介護職員	全国老人福祉施設協議会(Web開催)	手稲ロータス	1名
合 計					3名

サ 施設外研修(手稲ロータス居宅)

実施日	内 容	受 講 者	主 催 者 等	参加事業所名	参加人数
4月9日	移乗用具WEBセミナー	主任介護支援専門員	株式会社フロンティア	手稲ロータス居宅	1名
6月10日	手稲区の社会資源を知らず～介護保険外の支援の実際～	主任介護支援専門員	札幌市介護支援専門員連絡協議会手稲区支部	手稲ロータス居宅	1名
6月29日	介護保険制度改正のポイント&LIFEを深めよう	主任介護支援専門員	札幌市介護支援専門員連絡協議会中央区支部	手稲ロータス居宅	1名
7月1日	コロナ禍でも行動出来るケアマネを目指して学ぶ、感染症対策	主任介護支援専門員	札幌市介護支援専門員連絡協議会豊平区支部	手稲ロータス居宅	1名
7月12日	ZOOMの操作方法と今後の展開:ICTを活用した様々な可能性について	主任介護支援専門員	札幌市介護支援専門員連絡協議会豊平区支部	手稲ロータス居宅	1名
7月21日	介護報酬改定	主任介護支援専門員	札幌市介護支援専門員連絡協議会南区支部	手稲ロータス居宅	1名
7月28日	今求められるハラスメントの正しい知識と理解	主任介護支援専門員	札幌市介護支援専門員連絡協議会西区支部	手稲ロータス居宅	1名
9月14日	高齢者の財産、権利を守るための実務	主任介護支援専門員	札幌市介護支援専門員連絡協議会北区支部	手稲ロータス居宅	1名
9月16日	障害サービスについて～制度理解と相談支援事業所との連携	主任介護支援専門員	札幌市介護支援専門員連絡協議会手稲区支部	手稲ロータス居宅	1名
10月13日	医療と連携を図るためのコツ、インフォーマルサービスの開拓・連携強化を目指して	主任介護支援専門員	北海道介護支援専門員協会	手稲ロータス居宅	1名
10月20日	現在の専門II研修が介護支援専門員に求めている事	主任介護支援専門員	手稲区主任ケアマネ有志の会	手稲ロータス居宅	1名
11月2日	運転免許失効に至るまでの警察の判断	主任介護支援専門員	札幌市手稲区第2地域包括支援センター	手稲ロータス居宅	1名
11月8日	社会的自立支援の視点を導くためのツールSIOS勉強会	主任介護支援専門員	北海道二十一世紀総合研究所・札幌市手稲区地域包括支援センター	手稲ロータス居宅	1名
11月12日	訪問リハビリにおけるSTの活用方法	主任介護支援専門員	札幌市介護支援専門員連絡協議会白石区支部	手稲ロータス居宅	1名
11月17日	感染症の基礎知識とコロナウイルス対応における実体験報告	主任介護支援専門員	札幌市介護支援専門員連絡協議会厚別区支部	手稲ロータス居宅	1名
12月8日	生活保護について～生活保護とケアマネ業務～	主任介護支援専門員	介護支援専門員協会・札幌市手稲区地域包括支援センター	手稲ロータス居宅	1名
12月13日	新型コロナウイルス感染症患者発生時の対応	主任介護支援専門員	札幌市医師会	手稲ロータス居宅	1名
1月14日	自宅で健康的な食生活を送るために	主任介護支援専門員	札幌市手稲区第1地域包括支援センター	手稲ロータス居宅	1名
2月8日	貼付剤について	主任介護支援専門員	久光製薬株式会社	手稲ロータス居宅	1名
2月23日	事例研究研修会	主任介護支援専門員	札幌市介護支援専門員連絡協議会	手稲ロータス居宅	1名
3月9日	精神疾患の理解とラポール形成のポイント	主任介護支援専門員	札幌市介護支援専門員連絡協議会東区支部	手稲ロータス居宅	1名
合 計					21名

シ 施設外研修(手稲あんじゅ)

実施日	内 容	受 講 者	主 催 者 等	参加事業所名	参加人数
6月29日	リスクマネジメント研修	事故防止委員長	全国社会福祉法人経営者協議会	手稲あんじゅ	1名
7月1日～7月2日	リスクマネジメント研修	事故防止委員長	日本慢性期医療協会	手稲あんじゅ	1名
9月18日～9月20日	実習指導者養成認定研修	支援相談員	日本医療ソーシャルワーカー協会	手稲あんじゅ	1名
10月30日	北海道老人保健施設協議会リーダー研修	介護、看護、相談、リハビリ	北海道老人保健施設協議会	手稲あんじゅ	4名
1月14日	北海道老人保健施設協議会職員研修会	介護、看護職員	北海道老人保健施設協議会	手稲あんじゅ	5名
2月19日	スーパービジョン研修	支援相談員	北海道医療ソーシャルワーカー協会	手稲あんじゅ	1名
3月5日	老健ソーシャルワークセミナー	支援相談員	北海道医療ソーシャルワーカー協会	手稲あんじゅ	1名
3月28日	令和4年度診療報酬改定説明会	支援相談員	日本医療ソーシャルワーカー協会	手稲あんじゅ	1名
合 計					15名

ス 施設外研修(手稲ゆうゆう)

実施日	内 容	受 講 者	主 催 者 等	参加事業所名	参加人数
11月2日	老健あんじゅ音更新型コロナウイルス集団感染について	介護職員	手稲あんじゅ	手稲ゆうゆうGH	2名
合 計					2名

セ 施設外研修(手稲ゆうゆう居宅)

実施日	内 容	受 講 者	主 催 者 等	参加事業所名	参加人数
4月17日	介護報酬改定等に係る研修会	介護支援専門員	北海道CM連協	手稲ゆうゆう居宅	1名
5月21日	介護保険改正のポイントを学ぼう	介護支援専門員	札幌市CM連協手稲区支部、包括支援センター	手稲ゆうゆう居宅	4名
6月10日	手稲区の社会資源を知らず～介護保険外の支援の実際～	介護支援専門員	札幌市CM連協手稲区支部、包括支援センター	手稲ゆうゆう居宅	4名
9月2日	北海道介護支援専門員更新研修(実務未経験者)前期	介護支援専門員	北海道介護支援専門員協会	手稲ゆうゆう居宅	1名
9月14日	北海道介護支援専門員更新研修(実務未経験者)後期	介護支援専門員	北海道介護支援専門員協会	手稲ゆうゆう居宅	1名
11月2日	運転免許執行に至るまでの警察としての判断	介護支援専門員	手稲区第2に地域包括支援センター	手稲ゆうゆう居宅	2名
11月2日	老健あんじゅ音更新型コロナウイルス集団感染について	介護支援専門員	手稲あんじゅ	手稲ゆうゆう居宅	4名
12月8日	生活保護について～生活保護とケアマネ業務	介護支援専門員	札幌市CM連協手稲区支部、包括支援センター	手稲ゆうゆう居宅	4名
12月13日	新型コロナウイルス感染症患者(濃厚接触者)発生時の対応	介護支援専門員	特養手稲ロータス	手稲ゆうゆう居宅	4名
3月24日	札幌市手稲区主任介護支援専門員資質向上研修会	介護支援専門員	札幌市CM連協	手稲ゆうゆう居宅	1名
合 計					26名

ソ 施設外研修(ロータス音更)

実施日	内 容	受 講 者	主 催 者 等	参加事業所名	参加人数
7月8日～7月9日	日本慢性期医療協会 リスクマネジメント研修(web)	統括管理主任	日本慢性期医療協会	ロータス音更	1名
6月6日～6月7日	介護施設における安全対策担当者養成研修(web)	統括管理主任	公益社団法人 全国老人福祉施設協議会	ロータス音更	1名
8月10日	令和3年度全道老人福祉施設研究大会(web)	施設長	北海道老人福祉施設協議会	ロータス音更	1名
8月31日	バイタルリンクを活用した音更町の医療介護連携(web)	通所副主任	音更町医療・介護連携推進会議	ロータス音更	1名
9月13日	北海道高齢者虐待防止推進研修会(web)	統括管理主任	社会福祉法人北海道社会福祉協議会	ロータス音更	1名
9月28日	心肺蘇生及びAEDの使用方法について	一般職員	とちかち広域消防局 帯広消防署	ロータス音更	12名
11月17日	町内介護施設における看取りの取り組みと医療連携(web)	看護師、生活相談員	音更町高齢者福祉課	ロータス音更	2名
12月1日	新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る研修会	統括主任、看護主任	音更町高齢者福祉課	ロータス音更	3名
12月9日	令和3年度「中長期計画策定セミナー」	施設長	全国社会福祉法人経営者協議会	ロータス音更	1名
12月11日	音更町医療・介護連携推進講演会(web)	看護師	音更町医療・介護連携推進会議	ロータス音更	1名
3月28日	オンライン研修会 認知症ケア(web)	通所副主任、通所相談員	十勝高齢者グループホーム協議会	ロータス音更	2名
合 計					26名

タ 施設外研修(あんじゅ音更)

実施日	内 容	受 講 者	主 催 者 等	参加事業所名	参加人数
7月1日～7月2日	リスクマネジメント研修【オンライン:Zoom】	支援相談員	日本慢性期医療協会	あんじゅ音更	1名
10月2日	道東ソーシャルワーク研究会研修会【オンライン:Zoom】	支援相談員	道東ソーシャルワーク研究会	あんじゅ音更	1名
12月1日	音更町集団指導「クラスター体験講話」	通所・支援相談員	音更町	あんじゅ音更	3名
	※講師 事務長				
3月5日	老健ソーシャルワークセミナー【オンライン:Zoom】	支援相談員	北海道医療ソーシャルワーカー協会	あんじゅ音更	2名
合 計					7名

手 稲 口 一 夕 会 法 人 本 部 事 務 局

1 重点推進課題の実施報告

(1) 法人本部事務局

2019年に発生した新型コロナウイルス感染症の流行がもたらした影響により、介護福祉サービスを提供する各事業所にとっても、感染予防と感染症発生時の体制強化という新たな課題が発生している。

このようなことから、先が見通しにくい状況を踏まえて、今後の状況変化に柔軟に対応できる体制の強化に着実に取り組んでいく。

《重点推進課題》

1. 感染症がまん延し法人運営に危機が生じたとき、適切な対応を取ることができるよう、感染症に係る事業継続計画を策定する。

ア 日頃の運営リスク軽減と緊急時に対応した法人のBCPを策定するため、各施設の管理職を集め、意見聴取し、検討委員会を立ち上げる。

イ あんじゅ音更で経験した新型コロナウイルス感染症のクラスター対応方法を検証し、既存の感染症予防対策マニュアルに反映させ、各施設の感染予防・感染拡大防止の強化を図る。

【指標・評価方法】

- ①「法人共通の指針」の策定を行う。また、感染症に対応するためのマニュアルの見直しを行うため、各事業所の協力を仰ぎ、情報の集約を図る。
- ②BCP における初動対応方法、現地対策本部及び現場の状況の把握方法の構築、ご家族への支援体制、関係機関、法人職員への情報統制、不足する運営資金の確保等の検討を行う。
- ③国の支援を受けながら認定看護師、コンシェルジュ等感染症対応の専門家から講義を受けられるよう、施設へ支援を行う。

上半期で作成した「法人共通の指針」を全事業所で共有する。

【結果】

事業継続計画(BCP)は、各事業所が具体的な策定体制に入ったが、新型コロナウイルス感染症の蔓延が収まりきらず、水際での予防対策に集中していたため、法人としての感染症予防マニュアルは予防対策項目を実践的なものに改定したが、事業所連携を反映した具体的な内容までは至らなかったため、引き続きマニュアルの改訂を進めていく。

また、感染症予防に関する研修として2020年12月に新型コロナウイルス感染症の集

団感染を経験した「あんじゅ音更」の事務長が講師となり現場の経験に基づく実践的な感染症対策について学んだ。

2. 介護職員初任者研修事業の実施をめざして取り組む

2020年度の重点推進課題から引き続き、当法人が介護職員初任者研修指定事業者となり、法人職員および一般市民を対象とした研修を実施できるよう取り組む。

【指標・評価方法】

- ①2021年度内で指定を受けることを目標とする。

【結果】

介護職員初任者研修事業については、内部体制は整えたものの、新型コロナウイルス感染症のまん延が続いていることにより停滞している。収束されしだい速やかに実施できるよう進めたい。

特 養 手 稻

介 護 老 人 福 祉 施 設 手 稻 口 一 夕 ス

1 重点推進課題の実施報告

(1)介護老人福祉施設 手稲ロータス

入居様が笑顔で心穏やかに生活できるよう、チーム全員で入居者の自立への取組みを進めていくとともに、入居者の「願い」を叶えるユニットケアを一層促進する。

また、ご家族様の想いが入居者に届き、入居者様とご家族様が共に笑顔になり、職員の笑顔につながっていく環境づくりを目指す。

さらに、地域とのつながりを拓げるため、地域を応援する活動やアクティブシニアとの協力関係を構築するほか、介護相談に関する地域の活動拠点を目指す施設づくりを進めるとともに、情報を一元化させ、科学的根拠に基づくケアにより入居者様ファーストを実践し、併せて、安心して働ける職場環境の充実に努める。

《重点推進課題》

1 入居者の「想い」に寄り添い、チーム全員で入居者の笑顔をつくる環境を目指す

各専門職が連携・協力し、入居者の「願い」を叶える統一したユニットケアを一層促進しながら、入居者が持っている能力が発揮され保ち続けられるよう、自立につながる取組みを進めていくとともに、心穏やかで笑顔があふれる生活環境をつくっていく。

【指標・評価方法】

入居者の笑顔があふれる環境づくりをさらに進めていくため、入居者一人ひとりのご意向や生活リズムなどが反映される「24時間シート」の作成に当たって、多職種が連携・協力して取り組むことにより、専門職間のチームワーク力を高めるとともに、サービスの質や量にバラつきがない統一されたケアの提供につなげていく。

また、入居者が持っている能力を十分に発揮して頂くことや、その能力を保ち続けられるよう、排せつケアの向上などによる褥瘡予防やおむつ外しなど、入居者の自立につながる取組みを促進していく。

さらに、入居者が心穏やかに生活を送ることができるよう、入居者の「願い」を叶えたレクリエーションを定期的に個別開催するなど、余暇活動を充実させるほか、入居者に対する丁寧な言葉遣いの徹底、笑顔があふれ、清潔で過ごしやすい生活空間を整えるなど、安全、かつ、安心できる環境づくりに努めていく。

【結果】

(1) ケアプランの更新時に、多職種協働での「24時間シート」の見直しが定着した結果、専門職間のチームワーク力が高まり、サービスの質や量が統一されたケアの提供につながった。

また、ショートステイの定期的利用者様にも「24時間シート」の使用をはじめ、利用者様の心身の状況や生活スタイルなどに合わせた、安心して過ごせる環境を整えた。

(2) 褥瘡予防に関しては、「褥瘡予防に関する指針」と「褥瘡予防対策マニュアル」を見直すとともに、体圧測定器を使うなどして、根拠に基づく褥瘡リスクの予防策を多職種で評

働いたほか、全介護職員が適正に体位変換ができるよう、入居者様別の体位変換表を作成し、実践することができた。

また、褥瘡予防に関するモニタリング方法と計画書を見直すことで、2022年度から褥瘡マネジメント加算が算定できる体制を構築した。こうした褥瘡予防に関する積極的な取り組みの結果、各専門職に入居者様の皮膚状態を「観察」する意識付けができたほか、褥瘡発生の原因分析と対応策を実践するPDCAサイクルシステムが確立された。

こうした取り組みの結果、褥瘡を患っている入居者様は、前年度の平均5.6名に対し、今年度は2.4名と大幅に減少した。

- (3) おむつ外しに関しては、入居者様の心身機能の評価に基づき取り組んだ結果、入居者様6名の日中のおむつ外しにつながった。また、個々の入居者様に合ったおむつの選定は、排尿量の測定結果などを踏まえ、少なくとも3ヶ月に1回は、定期的に外部の専門家のアドバイスを受け、おむつの使用内容や時間などを見直していく体制を確立した。
- (4) 口腔ケアに関しては、全ての入居者様が現在の口腔機能を保持できるよう、定期的に歯科医師や歯科衛生士による口腔マネジメントを行える協力歯科医療機関へ変更して、迅速に歯科治療を受けられる環境を整えた。また、職員の口腔ケアに関する知識や技術を向上させるため、毎月開催の口腔衛生向上委員会において、直接、歯科医師や歯科衛生士から技術的助言や指導を受けられるシステムを整え、次回の介護保険制度改正までに求められる口腔衛生管理体制の確立に向けた環境整備を行った。
- (5) その他に関しては、まず、新型コロナウイルス感染症からの感染予防のため、入居者様が集まるレクリエーションを制限しているなか、音楽や趣味などに関する映像等をいつでもテレビ観賞できる環境を整えたほか、毎月のレクリエーション活動費を活用して、ユニット毎のアイデアをもとにしたレクリエーション活動の種類を増やすことができた。

さらに、毎月開催のフロア会議で、入居者様が望む「願い、叶えてほしいケア」の実現に向けた内容を検討し、ご家族様の協力を得たうえで、好みの食事や間食を提供するなど、入居者様の「願い」を叶えることができた。

また、全職員が丁寧な言葉遣いができるよう、職員面談時における指導や、担当委員会によるスピーチロック防止のための標語の作成・掲示のほか、フロア会議で職員の言葉遣いの評価を行うなど、自らの言葉遣いを振り返るための環境を整えた。

このほか、リスクマネジメントに関しては、フロア会議で、潜在リスクの洗出しと共有を行い、積極的に危険予知訓練(KY活動)を実践するほか、事故の再発防止策を検討するため、多角的分析と、柔軟性の高い再発防止策の立案を可能とする「SHELL(シェル)分析」の導入を始めた。

さらに、入居者様の体調の変化や私物紛失等の情報を共有し、迅速な対応を可能とするため、施設内における情報の共有ツールとして「LINEWORKS(ラインワークス)」の使用を進め、これらの取り組みの結果、事故発生件数が前年度比で51件(約44.3%)減少した。

2 ご家族様に安心して頂ける環境づくりを目指す

新型コロナウイルス感染症からの感染予防のため、入居者様との面会を自粛頂いているご家族様の「寂しさ」や「不安」を少しでも緩和するため、入居者様の日常のご様子などをお伝えする取組みを継続するとともに、一層充実させていく。

【指標・評価方法】

ご家族様に対して、入居者様のご様子や体調の変化、ケアの内容などをお伝えするため毎月発行・送付している「お便り(すまいるだより)」の内容を一層充実させるとともに、ビデオ通話による入居者様とご家族様との会話の機会を増やしていくほか、ご家族様のケアに対するご意向などを確認するための取組みを進めていく。

また、当施設のホームページや広報誌のほか、YouTube(ユーチューブ)チャンネルを用いて、入居者様が日常生活の中で活動されているお姿などを多角的に配信するなど、ご家族様により安心して頂ける取組みを一層充実させる。

【結果】

- (1) ご家族様対象の「サービス満足度アンケート」の結果を踏まえ、毎月発行・送付している「お便り(すまいるだより)」の写真の拡大や枚数増に伴うレイアウトの変更を行い、入居者様の様子がより伝わるように工夫した。また、ビデオ通話の積極的な利用案内により、入居者様とご家族様が定期的につながる機会として、オンライン面会が定着した。
- (2) 広報誌の定期発行やホームページの定期更新のほか、YouTube(ユーチューブ)チャンネル活用のための準備を進めるとともに、個人情報幅広く使用するに当たり、入居者様、ご家族様及び職員に対し、動画配信に係る個人情報使用可否の意向を確認した。

3 地域の皆様と共に歩む施設づくりを進める

新型コロナ禍により、地域と関わることのできる活動に限られる中で、地域の飲食店を応援する活動に取り組むほか、地域のアクティブシニアとの関係性を築き、施設活動に関わって頂ける環境づくりを進めるなどして、地域とのネットワークを拓けていく。

また、インターネット通信による「介護相談室」を開設するなど相談窓口の機能を拡充し、地域における介護相談の拠点づくりを目指す。

【指標・評価方法】

施設行事の際の「行事食」を、地域の飲食店の協力を得て提供するほか、アクティブシニア(元気高齢者)と施設との新たな「つながり」を構築するとともに、施設活動に積極的に関わって頂けるよう働きかけるなど、施設と地域がつながる活動を徐々に拓けていく。

また、介護に関する相談窓口機能を拡充するため、オンラインによる介護相談窓口を開設するとともに、当施設に併設する居宅介護支援事業所や法人内の在宅サービス事業所との連携を強化し、介護相談に関する地域の拠点づくりを目指す。

【結果】

- (1) 地域の飲食店やアクティブシニアとの連携に関しては、感染予防対策のため実施できなかった。
- (2) また、オンラインによる介護相談窓口の開設に関しては、感染予防対策のため、地域住民に対する協力依頼や利用に向けた直接的なPR活動が困難なことから実現できていないが、併設する居宅介護支援事業所との間で相談情報を共有するなどして、迅速に

ショートステイへのサービス調整が行えた。

- (3) さらに、ショートステイの最新の空室情報が居宅介護支援事業所等の関係者に届くよう、ホームページに専用ページを新規開設した結果、ショートステイの相談件数が増え、利用実績につながった。

4 情報が共有でき、科学的で入居者様ファーストのケアと、安心して働き続けられる職場環境づくりを目指す

入居者様の心身機能や活動などが維持され、より安心して生活して頂けるよう、各専門職員が持つ専門性を発揮させるため、情報共有のためのシステムを再構築することや、科学的根拠に基づくケアの実践を可能とする体制を新たに構築する。

また、全ての職員が、入居者様ファーストのサービスを実践するための強い意欲を持ち続けながら、働き続けられる職場環境づくりを目指す。

【指標・評価方法】

組織運営上必須である職員間の情報共有のための環境を実現(一元化)することにより、入居者様のケアプラン、栄養、リハビリ、24時間シートなどの各種計画のアセスメント結果に連動性を持たせていくほか、国の科学的介護データベース(LIFE(ライフ))を活用した計画を作成して、科学的根拠に基づくケアが実践できる体制づくりに取り組む。

また、入居者様ファーストとなるケア環境をより充実させていくための職員研修(施設内、外部派遣)を拡充させていくほか、各職員が当施設において働き続けられる職場環境づくりを目指し、業務負担の軽減のため、夜勤体制の強化を図ることや腰痛予防のための対策を講じるほか、職員間の通信手段としてインカムの導入などに取り組んでいく。

【結果】

- (1) 入居者様のケアプランなどの各種計画のアセスメント等の結果を一元化し、各専門職員が持つ様々な情報が共有できる環境を整えた。また、国の科学的介護データベース(LIFE(ライフ))の活用に関する準備を進め、2022年度から科学的介護体制加算が算定できる体制を構築したほか、科学的根拠に基づくケアが実践できる体制を整えた。
- (2) 外部派遣の職員研修は、新型コロナウイルス感染症からの感染予防対策のため実施できなかったが、インターネットを活用した施設内での職員研修を、毎月1回以上実施し、抽出された課題については、各委員会が中心となり、解決に向けて取り組みを行った。
- (3) また、外部の認定看護師や排せつ用品メーカーの担当者を講師に招き、参集型の職員研修を3回(感染症予防・褥瘡予防・おむつの使用方法)実施した。感染症予防では、発生時におけるゾーニングのシミュレーションを行ったほか、新たな取り組みとして、LIVE配信をとおり、法人内の各事業所職員が参加可能な環境を整えた。
- (4) 職員の業務負担の軽減に向けた取り組みとして、インカムの導入の検討や夜勤体制の強化に向けた準備を進めるとともに、「ほのぼのシステム」の活用促進と「LINEWORKS(ラインワークス)」の使用を進めたほか、記録時間短縮のためのタブレット端末の増台や職員の腰痛予防のために移乗型介護ロボットを新規導入した。

2 介護老人福祉施設・(介護予防)短期入所生活介護の運営

(1)施設の開設

第一種社会福祉事業としての特別養護老人ホームの設置については、老人福祉法第15条第3項に基づき、平成元年5月15日付で札幌市長に対し設置許可申請を行い、平成元年5月26日付（札老第188号指令）で許可を受け、平成元年6月1日付で、「老人ホーム事業開始届」を札幌市に提出し受理された。

平成12年4月1日の介護保険法施行に伴い、介護老人福祉施設を開設した。

平成18年4月1日より介護保険制度の改正に伴い、居宅系サービスについては予防事業を開設した。

令和元年5月1日からの新築移転に伴い、ユニット型介護老人福祉施設に転換するとともに、前日である平成31年4月30日をもって、通所介護事業を切り離した。

概要は、次のとおり

施設 の 名 称 介護老人福祉施設 手稲ロータス
 施設 の 所 在 地 札幌市手稲区稲穂3条6丁目7番5号
 施設 の 種 類 介護老人福祉施設
 (介護予防)短期入所生活介護
 入 所 定 員 80名(うちショートステイ定員10名・併設型・空床型)

(2)施設職員の配置状況

(2022.3.31現在)

		施 設 長	医 師	事 務 員	生 活 相 談 員	介 護 職 員	看 護 職 員	管 理 栄 養 士	介 護 支 援 専 門 員	機 能 訓 練 指 導 員	介 助 員	夜 間 警 備 員	用 務 員	調 理 員	計
入 所	基準数 (人)	1	1 ①		1	24	3	1	1	1					33 ①
	現員 (人)	1	1 ①	3	2	47 ⑧	8 ③	1	4 (3)	1	3 ③	2 ②	2 ②	委 託	75 ⑱

* ()は兼務。○は非常勤の内数。

(3) 行事实施状況表

月	実施日	内 容	場 所	参加人数
4月	誕生日毎	誕生日会	施設内	5名
5月	誕生日毎	誕生日会	施設内	7名
	10(日)	母の日のお祝い	施設内	60名
6月	誕生日毎	誕生日会	施設内	3名
	5(金)	開設記念式典	施設内	77名
	21(日)	父の日のお祝い	施設内	20名
7月	誕生日毎	誕生日会	施設内	8名
	20(月)	手稲ロータス夏祭り(2階)	施設内	20名
	21(火)	手稲ロータス夏祭り(3階)	施設内	20名
	22(水)	手稲ロータス夏祭り(4階)	施設内	20名
	23(木)	手稲ロータス夏祭り(5階)	施設内	19名
8月	誕生日毎	誕生日会	施設内	5名
9月	誕生日毎	誕生日会	施設内	7名
	15(火)	敬老祝賀会(2階)	施設内	19名
	16(水)	敬老祝賀会(3階)	施設内	20名
	17(木)	敬老祝賀会(4階)	施設内	20名
	18(金)	敬老祝賀会(5階)	施設内	19名
10月	誕生日毎	誕生日会	施設内	3名
11月	誕生日毎	誕生日会	施設内	8名
12月	誕生日毎	誕生日会	施設内	4名
	9(木)	施設移動販売	施設内	38名
	23(水)	クリスマス・忘年会(3階)	施設内	20名
	25(金)	クリスマス・忘年会(2階)(4階)(5階)	施設内	59名
1月	誕生日毎	誕生日会	施設内	10名
2月	誕生日毎	誕生日会	施設内	4名
	3(水)	節分会(3階)(4階)	施設内	39名
	4(木)	節分会(2階)(5階)	施設内(5階のみ)	20名
3月	誕生日毎	誕生日会	施設内	3名
	3(水)	桃の節句	施設内	70名
合計				627名

(4) 利用者の状況

ア. 年齢別構成状況(人)

	未満 5 64	65 5 69	70 5 74	75 5 79	80 5 84	85 5 89	90 5 94	95 以上	合 計	最 低 年 齢	最 高 年 齢	平 均 年 齢	前 年 平 均
男	2	1	2	1	2	3	3	2	16	62	99	82.8	82.0
女	0	0	1	5	12	16	11	9	54	72	101	88.0	88.1
計	2	1	3	6	14	19	14	11	70			84.5	86.7

イ. 要介護度別利用者状況(人)

性別	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合 計	平 均	前年平均
男	0	0	4	7	5	16	4.06	3.93
女	0	1	8	25	20	54	4.18	4.12
計	0	1	12	32	25	70	4.15	4.08

ウ. 介護保険者別構成状況(人)

	札幌市								小樽市	石狩市	旭川市	合 計
	西	手稲	白石	豊平	東	中央	北	南				
男	1	12	1	1	0	0	0	0	0	1	0	16
女	4	37	0	0	1	3	1	1	5	1	1	54
計	5	49	1	1	1	3	1	1	5	2	1	70

エ. 入所者所得段階

	第1段階	第2段階	第3段階①	第3段階②	第4段階	合 計
男	0	2	1	1	12	16
女	1	7	10	21	15	54
計	1	9	11	22	27	70

オ. 健康保険加入状況(人)

	後期高齢者医療制度	国民健康保険	社会保険	組合健康保険	生活保護	合 計
男	13	3	0	0	0	16
女	52	1	0	0	1	54
計	65	4	0	0	1	70

カ. 在所者利用期間別構成状況(人)

	1年未満	1~2	2~3	3~4	4~5	5~6	6~7	7~8	8~9	9~10	10年以上	合 計
男	3	3	3	3	0	1	3	0	0	0	0	16
女	5	13	11	9	4	3	1	1	1	1	5	54
計	8	16	14	12	4	4	4	1	1	1	5	70

キ. 障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)

	自立	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	合計
男	0	0	0	1	3	5	4	1	2	16
女	0	0	1	3	12	6	28	2	2	54
計	0	0	1	4	15	11	32	3	4	70

ク. 認知症高齢者の日常生活自立度

	自立	I	IIa	IIb	IIIa	IIIb	IV	M	合計
男	0	0	0	5	5	4	1	1	16
女	1	1	4	10	15	9	14	0	54
計	1	1	4	15	20	13	15	1	70

ケ. 栄養関係加算状況(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
栄養ケアマネジメント加算	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/

コ. 通院状況(延人数)

	内科	精神科	循環器科	呼吸器科	外科	整形外科	形成外科	脳外科	皮膚科	泌尿器科	婦人科	眼科	耳鼻科	肛門科	合計
男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	/	0	0	0	16
女	22	2	8	0	0	14	0	1	3	0	1	0	0	0	51
計	22	2	8	0	0	14	0	1	3	16	1	0	0	0	67

(重複掲載)

サ. 往診状況(延人数)

	内科	歯科	眼科	皮膚科	精神科	合計
男	198	65	0	2	118	383
女	738	278	0	2	113	1,131
計	936	343	0	4	231	1,514

(重複掲載)

シ. 機能訓練実施状況(延人数)

内容	可動域訓練	筋力強化	平行棒内歩行訓練	平行棒内立位訓練	杖歩行訓練	歩行器歩行訓練	立ち上がり訓練	立位保持訓練	ホットバック	体操	立位バランス	介助歩行訓練	独歩	合計
男	713	587	0	0	0	46	519	476	0	64	7	0	20	2,432
女	785	664	15	15	83	274	1,051	874	0	183	75	218	76	4,313
計	1,498	1,251	15	15	83	320	1,570	1,350	0	247	82	218	96	6,745

ス. 入所・短期利用状況

利用状況	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年合計
	日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	
入所利用延人数	2,130	2,182	2,084	2,155	2,128	2,066	2,119	2,089	2,195	2,190	1,960	2,129	25,427	24,918
短期利用延人数	233	242	262	281	293	289	301	280	255	197	180	266	3,079	3,009
1日平均人数	78.77	78.19	78.20	78.58	78.10	78.50	78.06	78.97	79.03	77.00	76.43	77.26	78.10	76.51
入所率(%)	98.46	97.74	97.75	98.23	97.62	98.13	97.58	98.71	98.79	96.25	95.54	96.57	97.62	95.64

セ. 入退所状況(人)

入退所	施設	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年合計
		家庭	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	
病院	0	0	1	0	0	0	1	2	0	0	0	0	1	5	6
他施設	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	8
合計	0	0	2	0	0	0	1	3	1	1	0	0	1	9	17
家庭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
病院	0	1	1	0	0	0	0	2	1	0	0	0	1	6	7
他施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
死亡	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	4	9
合計	0	2	1	0	1	1	1	2	1	0	0	0	2	10	17

ソ. 入所待機者状況(人)

	要支援1	要支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
男	0	0	0	0	8	9	1	18
女	0	0	0	0	14	9	4	27
計	0	0	0	0	22	18	5	45

タ. 入所者・利用者減免状況

	入所減免額			(予防)短期減免額			合計 (円)
	通常減免		1件当平均 (円)	通常減免		1件当平均 (円)	
	件数	金額(円)		件数	金額(円)		
4月	7	131,326	18,761	0	0	0	131,326
5月	7	135,699	19,386	0	0	0	135,699
6月	7	131,326	18,761	0	0	0	131,326
7月	7	135,699	19,386	1	611	611	136,310
8月	7	141,202	20,172	1	1,224	1,224	142,426
9月	7	136,651	19,522	2	14,411	7,206	151,062
10月	8	144,889	18,111	2	17,436	8,718	162,325
11月	7	132,170	18,881	3	21,943	7,314	154,113
12月	7	136,545	19,506	3	29,074	9,691	165,619
1月	7	136,545	19,506	3	14,209	4,736	150,754
2月	7	123,413	17,630	3	16,669	5,556	140,082
3月	7	136,545	19,506	3	35,479	11,826	172,024
合計	85	1,622,010	19,082	21	151,056	7,193	1,773,066

(5) 苦情受付件数と主な内容

5 件				
部門	苦情申出者	内 容	第三者委員等の報告	結果
短期	利用者家族 (長男)	2021年4月9日(金)「部屋の換気扇を止めてほしいと言ったのに止めてくれなかった。」と本人から話があったと長男より訴え。 対応策 ⇒ 換気扇の使用方法、他職員への確認の周知、寝具の追加利用、利用者からの要望等があった際には、理解を得られる説明を心掛ける。	無	解決
入所	入居者本人	2021年5月1日(土) 介護職員に大きな声で叱咤された本人からの訴え。 対応策 ⇒ 声のボリュームを抑える、話し方がきつくないように留意する、言葉遣い以外にも表情や態度、声のトーンなど気を付ける。	無	解決
短期	利用者家族 (長女)	2021年6月14日(月) 利用者の衣類を紛失してしまい謝罪した。 対応策 ⇒ 持参されるものに記名をしていただくことを再度依頼する、他フロアへ情報を発信し、捜索協力を依頼し職員全員で捜索する。	無	解決
短期	利用者家族 (次女)	2021年11月2日(火) サービスを利用する予定だったが、居室が空いていなく利用できなかった。 対応策 ⇒ 提供票の確認及び利用者数一覧の管理方法を変更。	無	解決
入所	入居者本人	2021年11月10日(水) 夜間帯に介護職員を呼んだが来てくれなかった。 対応策 ⇒ 夜間帯における定時でのトイレの声掛けと体位変換を行う。	無	解決

(6) 介護事故件数

重大事故 (行政報告)		誤嚥 (誤飲・誤食・窒息等)	誤薬 誤配	転倒	転落	打撲 捻挫 脱臼 変色	火傷 裂傷 皮膚剥離	無断外出 行方不明	送迎車に よる事故	自傷行為 暴力	職員言動 処遇	溺水	その他	合計
	入所	3	7	4	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
短期	1	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
合計	4	11	6	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	23

事故 (施設内処理)		誤嚥 (誤飲・誤食・窒息等)	誤薬 誤配	転倒	転落	打撲 捻挫 脱臼 変色	火傷 裂傷 皮膚剥離	無断外出 行方不明	送迎車に よる事故	自傷行為 暴力	職員言動 処遇	溺水	その他	合計
	入所	0	0	8	3	4	10	0	0	0	0	0	0	10
短期	0	0	2	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	6
合計	0	0	10	4	5	11	0	0	0	0	0	0	11	41

ヒヤリ ハット		誤嚥 (誤飲・誤食・窒息等)	誤薬 誤配	転倒	転落	打撲 捻挫 脱臼 変色	火傷 裂傷 皮膚剥離	無断外出 行方不明	送迎車に よる事故	自傷行為 暴力	職員言動 処遇	溺水	その他	合計
	入所	8	5	33	15	65	11	0	0	0	0	0	0	8
短期	0	5	11	0	1	0	0	0	0	0	1	0	9	27
合計	8	10	44	15	66	11	0	0	0	0	1	0	17	172

(7) 慰問・ボランティア状況

	名 前	内 容	来 所 日	延べ人数
学校関係	新型コロナウイルス感染症からの感染予防対策の観点から、受け入れていない。			
個人				
クラブ関係				
理美容	へあーすたじおさんいちまる	訪問理美容	第2・第4火曜日	396 名
				名
				名
その他	新型コロナウイルス感染症からの感染予防対策の観点から、受け入れていない。			
合計			延べ人数(団体)	0 名
			〃 (個人)	396 名
			〃 合計	396 名

(8) 実習生受入れ状況

受入期間	人 数	受入日数	延べ人数	学 校 名	学 部 ・ 学 科	実 習 内 容
. . ~ . .	0	0	0	新型コロナウイルス感染症からの感染予防対策の観点から、実習生を受け入れていない。		
. . ~ . .	0	0	0			
合 計	0	0	0			

(9) 地域における公益的な取組(事例について自由記述)

これまでは、地域の会合等に地域交流スペースを開放していたが、2021年度は新型コロナウイルス感染症からの感染予防対策の観点から実施していない。

手稲口一タス 指定居宅介護支援事業所

1 重点推進課題の実施報告

(1)手稲ロータス指定居宅介護支援事業所

利用者様が満足できる在宅生活が継続できるよう、居宅介護サービス事業者などとの連携を深めるとともに、利用者様の社会参加や近隣住民による支援などのインフォーマルサービスの活用を促進させる。

また、ご家族様に安心感と信頼感を持って頂けるよう、ご家族様の「想い」を共有して、ケアに関するご家族様の悩みや不安を協力して解決する関係づくりに努める。

さらに、社会活動への参加につながる地域の社会資源の活動状況を把握するとともに、社会参加の阻害要因となる地域課題の解決に向けた取組みに参画するほか、地域における介護相談窓口としての役割を一層充実させるとともに、利用者様の「想い」や「願い」を叶える介護支援専門員としての専門的知識や技術を高めながら、利用者様にたくさんの笑顔があふれる活気ある事業所づくりと職員が働きやすい職場づくりに努める。

《重点推進課題》

1 利用者様に満足して頂ける在宅生活の支援に向け、個性あるケアプランづくりを目指す

利用者様の意思が尊重され、利用者様に満足して頂ける在宅生活が継続できるよう、居宅介護サービス事業者との連携・協力を一層促進させるとともに、利用者様の社会参加や近隣住民による共助などのインフォーマルサービスを積極的に活用していく。

また、利用者様の笑顔があふれる環境づくりを目指し、より多くの利用者様との出会いを大切にする。

【指標・評価方法】

利用者様が在宅生活を継続できるよう、利用者様が持っている能力や生活環境のほか、社会活動へ参加できる状況などを保ち続けていく上での課題をしっかりと踏まえながら、利用者様のご意思を反映したケアプランを作成するとともに、各々の居宅介護サービス事業者が利用者様の笑顔や満足につながるサービスを提供できるよう、サービス調整や評価を促進させていく。

また、利用者様が公的サービスだけではなく、自発的に老人クラブなどの社会活動に参加することや、近隣住民の皆様による見守り活動などのインフォーマルサービスを活用するよう促していく。

さらに、事業を展開していく中で、利用者様の笑顔があふれるよう、多くの利用者様との出会いを積極的に求めていく。

【結果】

(1) 自立支援に向けたケアプランの立案を意識しながら、利用者様へのアセスメント及びモニタリングを実施した。新型コロナウイルス感染症からの感染予防対策のため、自宅への訪問回数や時間に制約があるなか、電話やメールのほかにLINE(ライン)などのあらゆるコミュニケーションツールを使い、そのつながりをとおり、利用者様の「ご意思」や

ご家族様の「想い」を確認する機会を確保した。また、それらの通信ツールを他の居宅サービス事業者にも用い、利用者様やご家族様の生活などの課題に関する情報共有を行って、その解決に向けたサービス調整を迅速に行うことができた。

- (2) 新型コロナウイルス感染症からの感染予防対策のため、使うことができるインフォーマルサービスに限りがあることから、積極的な活用に向けた働きかけには至らなかった。
- (3) 地域包括支援センターや医療機関との情報交換を頻繁に行うことで、新規相談に関する問合せを増やすことができ、積極的に受入れた結果、月平均で35.8件の利用者様を担当することができた。

2 ご家族様の「想い」を共有し、在宅介護の悩みや不安が解決できる環境づくりを目指す

利用者様が在宅生活を継続していくためには、ご家族様による介護環境や介護力などの維持がとても重要であることから、ご家族様の「想い」を共有できる取組みの促進とともに、ご家族様が抱える悩みや不安を可能な限り解決していくための環境づくりを進める。

【指標・評価方法】

ご家族様に安心感と信頼感を持って頂けるよう、利用者様のサービス開始前後のご様子の変化やケアの内容などを定期訪問などでお伝えするとともに、ご家族様が些細なことでも相談しやすい環境に配慮するなどして、ご家族様の「想い」を共有できる関係性を築いていく。

また、ご家族様が抱えるケアに関する悩みや不安を把握するため、アンケートを実施するとともに、必要に応じて関係事業者などと連携しながらその解決に努める。

【結果】

- (1) 毎月の訪問のほか連絡ツールを積極的に活用し、利用者様のサービス開始前後のご様子を詳細にご家族様へお伝えするとともに、定期的にご家族様の「想い」を確認することで、些細なことでも相談しやすい関係性の構築に取り組んだ。
- (2) さらに、ご家族様の日常的なケアに関する不安や悩みを定期的に確認し、得られた情報を関係事業者と共有することで、ご家族様の不安や悩みを解決するため、多方面からフォローすることができるよう努めた。加えて、ご家族様の「想い」を確認するアンケートの作成に向けて準備を進めた。

3 地域の関係機関などとの連携による社会活動への参加促進や地域の介護相談の拠点づくりを進める

地域包括支援センターなどと連携して、社会参加のための地域資源を把握するとともに、地域における社会参加の阻害要因となる課題の解決に向けた取組みを進める。

また、インターネット通信による「介護相談室」を開設するなど相談窓口の機能を拡充し、地域における介護相談の拠点づくりを目指す。

【指標・評価方法】

ケアプランに社会活動につながるインフォーマルサービスなどを反映させるため、地域包括支援センターや介護予防センターと連携し、利用者様の居住地域におけるそうした社会資源を把握するとともに、社会参加の阻害要因となる地域課題の解決に取り組む。

また、介護に関する相談窓口機能を拡充するため、オンラインによる介護相談窓口を開

設するとともに、当事業所に併設する介護老人福祉施設や法人内の在宅サービス事業所との連携を強化し、介護相談に関する地域の拠点づくりを目指す。

【結果】

- (1) 新型コロナウイルス感染症からの感染予防のため、地域における社会活動が数多く中止されたことから、地域課題の把握には至らなかったが、社会資源を把握するための情報交換や研修会への積極的な参加をとし、地域包括支援センターの職員や同じ実施区域にある居宅介護支援事業所との情報共有に努めた。
- (2) インターネット通信による「介護相談室」の開設に向けて、LINE等のコミュニケーションツールを活用できる環境を整えたほか、コミュニケーションツールを活用して、併設する介護老人福祉施設や法人内の在宅サービス事業所との情報共有に努めた。

4 職員自らがスキルアップして、多くの利用者様に還元できる事業所づくりを目指す

利用者様が思い描く自宅生活での人生設計を叶えるため、利用者様の思いが反映されるケアプランの作成に必要な様々な専門的知識や技術を学ぶ機会を充実させる。

また、多くの利用者様の笑顔に出会える事業所を目指すとともに、活気ある職場環境づくりを進める。

【指標・評価方法】

自宅での生活を続けたいという利用者様の「想い」や「願い」を叶えるため、職員のスキルアップに必要な介護や医療サービスに関する法令基準などの専門的知識のほか、看取り介護などの知識・技術を修得させるための研修(事業所内、外部派遣)を充実させる。

また、より多くの利用者様の笑顔に出会える事業所を目指すとともに、介護支援専門員を増員して、事業所が一つのチームとして連携・協力していける働きやすく活気のある職場環境づくりに努める。

【結果】

- (1) 在宅生活を続けたいという利用者様の「想い」や「願い」に応えるうえで必要な専門的知識・技術を習得するために、併設する介護老人福祉施設が定期的実施する事業所内研修に延べ13回参加するとともに、外部機関が主催する Web 研修や事例検討会に延べ21回参加するなど、積極的に自己学習を進めた。加えて、自己学習で得た情報を、併設の介護老人福祉施設の職員と共有した。
- (2) 2022年4月1日付けで増員した介護支援専門員と、居宅介護支援事業所内の情報を共有し、連携・協力しながら、ご利用者様に寄り添うことができる体制を構築するため、事業所内の会議や委員会の設置、各種指針及びマニュアルの見直しなどに向けた準備を行った。

2 居宅介護支援の運営

(1) 事業所の開設

居宅介護支援事業所の設置については、介護保険法第47条第1項第1号並びに第81条第1項及び第2項の規定に基づき、2020年9月1日付けで、介護老人福祉施設手稲ロータスの併設事業として開設した。

概要は、次のとおり

施設 の 名 称 手稲ロータス指定居宅介護支援事業所
 施設 の 所 在 地 札幌市手稲区稲穂3条6丁目7番5号
 施設 の 種 類 居宅介護支援事業所

(2) 施設職員の配置状況

R4.3.31 現在

		管 理 者	主任 介護 支援 専門 員	介 護 支 援 専 門 員	計
居 宅	現 員 (人)	1 (1)	0 (1)	0 (0)	1 (1)

※1 ()は兼務。○は非常勤の内数。

※2 基準配置については標記困難な為、現員についてのみ掲載。

(3) 居宅介護支援事業所 相談実件数及び相談内容

電話	来所	訪問	合計
355件	11件	322件	688件

介護保険関係						合計
制度全般	認定申請	在宅サービス	施設サービス	保険・利用料等	相談・苦情	
47件	2件	470件	17件	1件	32件	569件

地域・福祉・医療関係						合計
高齢者福祉	障害制度	通院・入退院	介護予防	地域支援	その他	
0件	3件	30件	6件	0件	31件	70件

(重複掲載)

(4) 介護度別 居宅介護サービス計画作成状況

	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	前年合計
4月	0.0件	1.0件	0.5件	18件	8件	5件	1件	0件	33.5件	-件
5月	0.0件	1.0件	0.5件	17件	9件	6件	2件	0件	35.5件	-件
6月	0.0件	1.0件	0.5件	16件	10件	7件	2件	0件	36.5件	-件
7月	0.0件	1.0件	1.0件	18件	10件	7件	1件	0件	38.0件	-件
8月	0.0件	1.0件	1.0件	19件	8件	5件	1件	0件	35.0件	-件
9月	0.0件	1.0件	0.0件	22件	9件	5件	1件	0件	38.0件	0.0件
10月	0.0件	0.0件	0.0件	21件	9件	5件	1件	0件	36.0件	12.0件
11月	0.0件	0.0件	0.0件	22件	9件	4件	1件	0件	36.0件	14.5件
12月	0.0件	0.0件	0.0件	21件	9件	4件	1件	0件	35.0件	21.0件
1月	0.0件	0.0件	0.5件	20件	9件	4件	0件	0件	33.5件	21.0件
2月	0.0件	0.0件	0.0件	20件	10件	5件	0件	0件	35.0件	26.0件
3月	0.0件	0.0件	0.0件	22件	11件	5件	0件	0件	38.0件	26.0件
合計	0件	6件	4件	236件	111件	62件	11件	0件	430件	121件

(5) 苦情受付件数と主な内容

0件		2021/4/1 ~ 2022/3/31			
部門	苦情申出者	内 容		第3者委員等の報告	結果
		対応策 ⇒ ()			

(6) 介護事故件数

2021/4/1 ~ 2022/3/31

	誤嚥 (誤飲・誤食・異食・窒息等)	誤薬誤配	転倒	転落	打撲捻挫脱臼変色	火傷裂傷皮膚剥離	無断外出 行方不明	送迎車による事故	自傷行為 暴力	職員言動 処遇	溺水	その他	合計
居宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※事故に至っていない「ヒヤリ・ハット」を含む件数を計上しております。

(重複掲載)

(7) 地域における公益的な取組

2021年度は新型コロナウイルス感染症予防対策の観点から実施していない。

老 健 手 稻

老人保健施設 手稲あんじゅ
手稲あんじゅ(介護予防)通所リハビリテーション事業所
手稲あんじゅ(介護予防)訪問リハビリテーション事業所

1 重点推進課題の実施報告

(1)老人保健施設 手稲あんじゅ

介護保険改正により、科学的根拠を基にしたケアの実践が求められ、ICT の推進が一層明確化されている。当施設においても、ICT 化による情報集約、職種間での情報共有を推し進め、さらに統一したケア体制を確立する。また、同時に業務の効率化を図り、入所者へのケア時間を拡大することで個別性の高いケアを提供し、入所者及び家族が満足感を得られる体制を目指す。

《重点推進課題》

1. R4システム運用によるケア体制の確立

R4 システムのケアマネジメント方式を活用して、根拠に基づいたケア体制を確立する。

【指標・評価方法】

- ①導入後 3 ヶ月以内に全入所者のケアマネジメント情報を R4システムに入力する。
- ②年度内に「R1(各種アセスメント)⇒R2(ケアプランの作成)⇒R3(ケアプランの実施と確認)⇒R4(モニタリング)」の R4 システムを確立する。

【結果】

既存の入所者については、R4システムでの運用を開始できていないが、基本情報を一部入力した。新規入所者は3月よりR4システムの運用を開始している。今後、全入所者のR4システムへの移行を進めていく。

2. タブレット端末活用による業務の効率化

タブレット端末の導入により、全フロア内での記録入力及び情報確認が可能となるため、業務を効率化し入所者へのケア時間を拡大していく。また、ケア場面毎の情報確認を行うことで、各職員が統一したケアを提供する事を目指す。

【指標・評価方法】

- ①上半期に、職員がタブレット端末の使用方法を習得する。
- ②年度内に、情報入力の簡素化による紙資料の削減をする。

【結果】

タブレット端末導入の準備を行っている段階である。次年度、早い段階での導入を目指し業務効率化、統一したケアの提供ができるようにしていきたい。

(2)手稲あんじゅ(介護予防)通所リハビリテーション事業所

住み慣れた地域での生活を一日でも長く継続できるように、利用者本人や家族の気持ちを汲み取り「通所リハビリテーション事業所として何ができるか」を考え支援していく。

介護職、看護職、リハビリ職が連携し専門職としての自覚を持ち、適切なケア及びリハビリテーションを行うことで、利用者の心身機能回復・維持を目指す。

《重点推進課題》

ニーズに合わせた個別プログラムの実践と評価

昨年度、個々に合わせた活動プログラムを作成し、利用者自身で自己評価できる体制を確立できた。今年度は、自己評価による本人の達成感を更に活動意欲へつなげられるよう、本人のみならず家族等と情報を共有し、ニーズに合わせた個別プログラムの作成と実践、評価を行っていく。

【指標・評価方法】

ケアカンファレンス等を活用し、3ヵ月毎に個別プログラムの評価と見直しを行う。心身機能やニーズに変化があった場合は、随時プログラム内容の見直しを行い、実践評価していく。

ケアカンファレンス前には、利用者本人の自己評価や家族の意向を確認し、計画書や個別プログラムに反映していく。

【結果】

ケアカンファレンスを3ヵ月毎に実施し、本人や家族のニーズに合わせた、他職種連携による機能的なサービスの提供を行うことができた。今後も個別性の高いニーズに応えていき、地域ニーズに応えていけるよう体制を整えていく。

(3) 手稲あんじゅ（介護予防）訪問リハビリテーション事業所

介護保険制度改正により、訪問リハビリにおいては、退院退所直後に提供できるサービス回数が見直しが図られ、今まで以上に医療と介護の切れ目ないサービス提供が求められている。そのようなニーズに対応するため、居宅支援事業所や病院との連携を強化し、柔軟にサービスを提供できる体制構築を目指す。

《重点推進課題》

退院退所直後の充実したリハビリの提供

退院退所直後のリハビリの必要性が高い利用者に対し、一定期間、集中的にサービスを提供できる体制を構築する。

【指標・評価方法】

職員配置と利用者ごとの担当職員数の見直しを図る。担当職員数は現状の2人から3人に変更し、集中的かつ切れ目ないサービス提供を目指す。また、居宅支援事業所や病院に対し、受け入れ可能状況等の情報伝達を定期的に行っていく。

【結果】

利用者ごとの担当職員数を見直し、3人体制へと変更した。居宅支援事業所や病院に対しても情報伝達を行ってきたが、退院退所直後の新規利用者を担当する機会を得ることができなかった。利用者のニーズに対応していくため、今後もこの体制を継続し、居宅支援事業所や病院への情報提供を積極的に行っていく。

2.事業運営

(1)施設の開設

第二種社会福祉事業としての老人施設の設置については、介護保険法第94条の第1項の規程にもとづき、平成9年4月28日付で北海道知事に対し設置許可申請を行い、平成9年5月23日付で許可を受けた。

平成9年6月1日付で「老人保健施設事業開始届」を北海道知事に提出し受理された。平成10年4月1日から直接処遇職員の配置を3.6：1から3：1とした。併せて、デイケア利用定員を20名から32名とした。また、平成15年4月15日付で訪問リハビリテーション事業所を開設した。

平成18年4月1日より介護保険制度の改正に伴い居宅系サービスについては予防事業を開設した。

平成27年10月1日よりデイケア利用定員を32名から37名とした。

平成28年5月1日より通常サービス提供時間の他に3時間以上4時間未満の短時間デイケアを開始した。

平成28年8月1日より介護老人保健施設における「在宅復帰・在宅療養支援加算」を算定した。

令和3年4月1日より短時間デイケアを廃止し、通常サービス提供時間のみデイケア定員37名とした（短時間利用者は、通常サービス提供時間内での対応とした）。

概要は、次のとおり

施設 の 名 称 老人保健施設 手稲あんじゅ
 施設 の 所 在 地 札幌市手稲区稲穂5条2丁目6番1号
 施設 の 種 類 介護老人保健施設
 (介護予防)短期入所療養介護
 (介護予防)通所リハビリテーション
 (介護予防)訪問リハビリテーション
 入 所 定 員 90名(うち、(介護予防)短期入所療養介護空床利用)
 通 所 定 員 37名(1日当たり)

(2)施設職員の配置状況

2022/3/31 現在

		施 設 長	医 師	事 務 長	事 務 員	支 援 相 談 員	介 護 職 員	看 護 職 員	管 理 栄 養 士	リ ハ ビ リ 職 員	介 護 支 援 専 門 員	薬 剤 師	介 護 ア シ ス タ ン ト	介 助 員	運 転 手 ・ 用 務 員	夜 間 警 備 員	調 理 員	計	
入 所	基準数(人)	1	1			1	21	9	1	1	1	1							37
	現員(人)	1 (1)	2 (2)	1	1	3	33 ⑧	9 ①	1	9 (8)①	3 (3)	委 託	1 ①	5 ④	1 ①	5 ⑤	委 託	75 (14)②	
通 所	基準数(人)	1	1				5			1	1								9
	現員(人)	1 (1)	2 (2)			1	9 ③	2 ①		8 (8)	2 (2)		1 ①		1			委 託	27 (13)⑤
訪 問 リ ハ	基準数(人)	1								1									2
	現員(人)	1 (1)	2 (2)							8 (8)									11 (11)

* ()は兼務。○は非常勤の内数。

(3) 行事实施状況表

月	実施日	内 容	場 所	参加人数
4月	27	おやつを楽しむ会(アフタヌーンティー)	3階 談話室	42名
	28	おやつを楽しむ会	2階 食堂	39名
	12~30	記念撮影週間	3階	43名
	4~31	記念撮影週間	2階	38名
5月	16	お茶会(新茶)	2階 食堂 3階 談話室	76名
	10~15・17~22	桜湯の日	2階 浴室	76名
	15~31	テラスで日光浴週間	2階 テラス	37名
6月	1	開設記念式典	2階 食堂 3階 談話室	79名
	7~9	テラスで日光浴週間	3階 テラス	43名
	23	テラスでシャボン玉	2階 テラス	30名
	29	テラスでシャボン玉	3階 テラス	41名
7月	20	テラスでアイスクリーム	3階 テラス	44名
	21	テラスでアイスクリーム	2階 テラス	38名
	26~31	薄荷湯の日	2階 浴室	81名
8月	3	スイカ割り	3階 談話室	40名
	4	スイカ割り	2階 食堂	38名
	12	盆踊り	2階 テラス	35名
	13	盆踊り	3階 談話室	42名
	17	花火大会	3階 テラス	42名
9月	19	ソフトクリームの日	2階 食堂 3階 談話室	81名
	13~15	生姜湯の日	2階 浴室	80名
	20	敬老お祝い	2階 食堂 3階 談話室	79名
10月	19	おやつレク(ヨーグルトとフルーツのスムージー)	3階 談話室	40名
	20	おやつレク(豆腐デザート)	2階 食堂	37名
	26	スポーツ大会(ボーリング・卓上玉入れ)	3階 談話室	40名
	27	スポーツ大会(卓上玉入れ・風船バレー)	2階 食堂	37名
11月	15~17	ゆず湯の日	2階 浴室	84名
	24	職員のだ自慢大会	2階 食堂	42名
	26	のだ自慢大会	3階 談話室	41名
12月	12~31	年越し準備週間	2階 食堂	40名
	20~31	年越し準備週間	3階	39名
	16	忘年会	2階 食堂 3階 談話室	81名
1月	1	正月遊びの日(宝引き、福笑い)	2階 食堂	39名
	1	正月遊びの日(ゲーム、福笑い、カルタ等)	3階 談話室	39名
	1~3、17~19	みかん湯の日	2階 浴室	80名
2月	2	節分の豆まき(感染対策のため中止)	2階 食堂 3階 談話室	名
	15	スポーツ大会(感染対策のため中止)	3階 談話室	名
	16	スポーツ大会(感染対策のため中止)	2階 食堂	名
3月	3	ひな祭り食事会	2階 食堂 3階 談話室	77名
	7~9	薬湯の日	2階 浴室	78名

(4) 利用者の状況

2022.3.31 現在

ア. 年齢別構成状況(人)

	未満 5 64	65 5 69	70 5 74	75 5 79	80 5 84	85 5 89	90 5 94	95 以上	合 計	最低 年齢	最高 年齢	平均 年齢	前 年 平均
男	0	2	0	4	1	2	3	0	12	66	92	81.1	83.8
女	0	1	2	3	12	12	25	14	69	67	103	89.1	89.2
計	0	3	2	7	13	14	28	14	81			85.1	88.9

イ. 要介護度別利用者状況(延人数)

性別	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合 計	平 均	前年平均
男	3	1	3	5	0	12	2.83	3.32
女	9	11	20	25	4	69	3.05	3.08
計	12	12	23	30	4	81	3.02	3.11

ウ. 介護保険者別構成状況(人)

	札 幌 市						石 狩 市	小 樽 市	余 市 町	新 得 町	小 清 水 町	東 京 都 大 田 区	合 計
	北	厚 別	白 石	西	東	手 稲							
男	0	0	0	2	1	7	0	1	0	0	1	0	12
女	1	1	2	6	0	50	0	5	1	1	1	1	69
計	1	1	2	8	1	57	0	6	1	1	2	1	81

エ. 入所者所得段階(人)

	第1段階	第2段階	第3段階	第4段階	合 計
男	0	0	5	7	12
女	7	8	32	22	69
計	7	8	37	29	81

オ. 健康保険加入状況(人)

	後期高齢者医療制度	国民健康保険	社会保険	組合健康保険	生活保護	合 計
男	11	1	0	0	0	12
女	59	3	0	0	7	69
計	70	4	0	0	7	81

カ. 在所者利用期間別構成状況(人)

	1年未満	1~2	2~3	3~4	4~5	5~6	6~7	7~8	8~9	9~10	10年以上	合 計
男	9	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	11
女	33	6	8	8	5	5	3	0	0	0	2	70
計	42	7	8	9	5	5	3	0	0	0	2	81

キ. 障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)

	自立	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	合計
男	0	1	0	1	4	0	2	2	0	10
女	0	0	1	11	18	18	17	3	3	71
計	0	1	1	12	22	18	19	5	3	81

ク. 認知症高齢者の日常生活自立度

	自立	I	II a	II b	III a	III b	IV	M	合計
男	0	1	0	3	3	1	1	1	10
女	0	5	2	14	24	6	17	3	71
計	0	6	2	17	27	7	18	4	81

ケ. 栄養関係加算状況(延人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
栄養ケアマネジメント加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

コ. 通院状況(延人数)

	内科	精神科	循環器科	呼吸器科	外科	整形外科	形成外科	脳外科	皮膚科	泌尿器科	婦人科	眼科	耳鼻科	肛門科	合計
男	2	0	1	1	1	3	0	3	0	0	0	0	0	0	11
女	14	0	14	2	0	15	0	9	0	4	0	1	0	0	59
計	16	0	15	3	1	18	0	12	0	4	0	1	0	0	70

(重複掲載)

サ. 往診状況(延人数)

	内科	歯科	眼科	皮膚科	合計
男	0	5	0	0	5
女	0	14	0	0	14
計	0	19	0	0	19

(重複掲載)

シ. リハビリ実施状況(延人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
短期集中リハビリ	55	57	99	178	175	171	192	257	193	137	20	87	1,621
認知症短期集中リハビリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	55	57	99	178	175	171	192	257	193	137	20	87	1,621

ス. 入所・短期利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年合計
利用状況	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	365
入所利用延人数	2,352	2,334	2,230	2,340	2,363	2,280	2,272	2,318	2,359	2,341	2,159	2,446	27,794	29,369
短期利用延人数	118	126	155	159	114	114	119	119	159	65	0	0	1,248	1,634
1日平均人数	82.33	79.35	79.50	80.61	79.90	79.80	77.13	81.23	81.23	77.61	77.11	78.90	79.57	84.94
入所率(%)	91.48	88.17	88.33	89.57	88.78	88.67	85.70	90.26	90.25	86.24	85.67	87.67	88.41	94.38

セ. 入退所状況(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年合計	
入所	家庭	1	8	2	10	1	6	5	8	6	5	0	2	54	69
	病院	5	1	6	2	3	3	3	4	0	1	2	4	34	31
	他施設	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	3	3
	合計	7	9	8	12	4	9	9	12	6	7	2	6	91	103
退所	家庭	8	4	10	2	6	4	6	6	4	1	1	0	52	72
	病院	7	3	3	3	1	3	5	1	3	2	2	0	33	29
	他施設	1	0	1	1	0	1	0	1	2	1	0	1	9	1
	死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	16	7	14	6	7	8	11	8	9	4	3	1	94	102

ソ. 入所待機者状況(人)

	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
男	0	2	2	0	1	5
女	4	2	1	2	2	11
計	4	4	3	2	3	16

タ. 入所者・利用者減免状況

	入所減免額			(介護予防)短期入所減免額			(介護予防)通所減免額			合計 (円)
	通常減免		1件当平均 (円)	特別減免		1件当平均 (円)	特別減免		1件当平均 (円)	
	件数	金額(円)		件数	金額(円)		件数	金額(円)		
4月	5	195,530	39,106	0	0	0	52	162,792	3,131	358,322
5月	5	202,030	40,406	0	0	0	56	165,706	2,959	367,736
6月	5	195,530	39,106	0	0	0	55	155,486	2,827	351,016
7月	5	199,130	39,826	0	0	0	51	162,627	3,189	361,757
8月	4	159,820	39,955	0	0	0	54	157,277	2,913	317,097
9月	4	151,260	37,815	0	0	0	54	161,407	2,989	312,667
10月	4	156,300	39,075	0	0	0	53	157,199	2,966	313,499
11月	4	155,000	38,750	0	0	0	57	156,502	2,746	311,502
12月	4	159,980	39,995	0	0	0	60	183,025	3,050	343,005
1月	4	159,820	39,955	0	0	0	62	118,504	1,911	278,324
2月	4	144,360	36,090	0	0	0	51	72,764	1,427	217,124
3月	4	159,860	39,965	0	0	0	65	142,040	2,185	301,900
合計	52	2,038,620	39,204	0	0	0	670	1,795,329	2,680	3,833,949

チ. (介護予防)通所実施状況

	登録人数	開放日数	利用人員	一日平均人数	利用率(%)	介護度別延べ人数(人)							サービス状況(回)						
						要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	入浴介助加算1	中重度者ケア体制	食事	リハマネ加算	短期集中個別リハ	運動機能向上加算	送迎減算
4月	84	26	525.5	20.22	70.07	16	29	125.0	198.0	97.0	60.5	0.0	418	498	526	0	0	4	3
5月	84	26	501.0	19.27	66.80	11	20	123.0	196.0	91.0	60.0	0.0	400	481	501	0	0	3	3
6月	83	26	424.0	16.31	56.54	16	19	116.5	170.0	73.0	64.5	0.0	376	441	441	0	0	4	3
7月	78	27	465.5	17.25	62.07	15	25	136.0	182.0	86.5	61.0	0.0	406	481	481	0	0	4	4
8月	83	26	465.0	17.89	62.00	14	39	118.0	154.0	78.0	62.0	0.0	359	427	465	0	0	3	2
9月	81	26	517.0	19.89	68.94	17	60	129.0	153.0	82.5	75.5	0.0	384	451	517	0	0	0	3
10月	82	26	471.5	18.14	62.87	15	58	135.0	162.0	95.5	80.0	0.0	404	479	479	0	0	0	4
11月	83	26	516.5	19.87	68.87	15	52	136.0	174.0	100.0	97.5	9.0	448	527	527	0	0	0	4
12月	81	26	526.0	20.24	70.14	13	60	141.0	188.0	92.5	97.5	7.0	467	538	538	0	0	2	5
1月	79	19	361.5	19.03	48.20	9	33	84.0	108.0	61.5	62.0	4.0	260	327	362	0	0	0	1
2月	77	16	236.5	14.79	31.54	7	25	60.0	70.0	31.0	40.0	3.0	83	209	237	0	0	0	2
3月	76	23	438.5	19.07	58.47	10	38	101.0	137.0	55.5	91.5	6.0	332	398	439	0	0	0	5
合計	293	5,449	18.60	60.54	158	458	1,404.5	1,892.0	944.0	852.0	29.0	4,337	5,257	5,513	0	0	20	39	
前年合計	308	6,407	20.81	71.19	173	743	1,917.0	1,584.5	1,223.5	681.0	85.0	4,287	5,642	6,564	4,266	55	456	128	

※:利用率は通常規模の上限(750名/月)を基に計上しています。 ※:延べ人数は短時間利用者1名当たりを0.5名で計上しています。
 ※:新型コロナウイルス感染症予防の影響により、1月(7日間)・2月(8日間)・3月(3日間)事業を停止しました。

ツ. (介護予防)訪問リハビリテーション実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数 ()内は予防	7 (0)	6 (0)	6 (0)	6 (0)	6 (0)	6 (0)	5 (0)	3 (0)	3 (0)	3 (0)	3 (0)	3 (0)	57 (0)
延べ人数	48	45	52	43	37	41	23	10	18	20	3	21	361
前年延べ人数	52	61	73	63	63	47	45	45	34	39	52	76	650

(5) 苦情受付件数と主な内容

3 件				
部門	苦情申出者	内 容	第3者委員等の報告	結果
老健	家族	夜間就寝時に職員が腕を触る(脈を測る)必要はあるのか、性的目的があるのではないかと疑ってしまうため、施設側の対応を聞きたい。 対応策 ⇒ 該当職員へ聞き取りをし、就寝時介助と誤解を受ける行動を慎むよう指導。該当職員の部署異動を行う。	無	解決
老健	家族	本人の状態に見合った差し入れをしたいが連絡が遅い。本人が気分を害する声掛けは対応しておかしいのではないかと。 対応策 ⇒ 問い合わせには迅速に対応し、曖昧な返答をしない。普段から本人や家族とコミュニケーションを図り、良好な関係性を作る。	無	解決
通所リハ	本人	カラオケの機械があるのに、選曲本が無い事。緊急事態宣言終了しているが、事業所での感染対策が管理者の指示に基づく制約が多いと感じる。 対応策 ⇒ 感染対策は医師の指示のもと実施しており、理解していただけるよう説明する。	無	解決

(6) 介護事故件数

重大事故 (行政報告)		誤嚥 (誤飲・誤食・異食・窒息等)	誤薬 誤配	転倒	転落	打撲 捻挫 脱臼 変色	火傷 裂傷 皮膚剥離	無断外出 行方不明	送迎車に よる事故	自傷行為 暴力	職員言動 処遇	溺水	その他	合計
	入所	9	1	7	2	0	0	0	0	0	0	0	0	19
	短期	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	通所リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	訪問リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	9	1	7	2	0	0	0	0	0	0	0	0	19

事故 (施設内処理)		誤嚥 (誤飲・誤食・異食・窒息等)	誤薬 誤配	転倒	転落	打撲 捻挫 脱臼 変色	火傷 裂傷 皮膚剥離	無断外出 行方不明	送迎車に よる事故	自傷行為 暴力	職員言動 処遇	溺水	その他	合計
	入所	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	短期	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	通所リハ	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	3
	訪問リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2	4

ヒヤリハット		誤嚥 (誤飲・誤食・異食・窒息等)	誤薬 誤配	転倒	転落	打撲 捻挫 脱臼 変色	火傷 裂傷 皮膚剥離	無断外出 行方不明	送迎車に よる事故	自傷行為 暴力	職員言動 処遇	溺水	その他	合計
	入所	5	0	108	0	5	5	0	0	4	0	0	248	375
	短期	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	20	25
	通所リハ	0	0	11	1	1	2	0	0	0	0	0	3	18
	訪問リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	5	0	124	1	6	7	0	0	4	0	0	271	418

(7) 慰問・ボランティア状況

	名 前	内 容	来 所 日	延べ人数
団体		感染症対策のため受入中止		名
				名
				名
個人		感染症対策のため受入中止		名
				名
				名
慰問関係		感染症対策のため受入中止		名
				名
				名
合 計			延べ人数(団体)	0名
			〃 (個人)	0名
			〃 (慰問)	0名
			〃 合計	0名

(8) 実習生受入れ状況

受 入 期 間	人 数	受入日数	延べ人数	学 校 名	学 部 ・ 学 科	実 習 内 容
感染症対策のため受入中止						
	0	0	0			

(9) 地域における公益的な取組

<p>< 地域支援活動 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・通学、通勤のため、施設周辺の歩道での除雪作業の実施 ・地域美化の為のゴミ拾いの実施 <p>※感染症対策により、地域住民へのふれあいの場の提供、福祉への理解を広げるための活動は中止。</p>
--

在 宅 手 稻

(介護予防)認知症対応型共同生活介護 手稲ゆうゆう

1. 重点推進課題の実施報告

(1) 認知症対応型共同生活介護事業所 手稲ゆうゆう

入居者がゆうゆうで継続的に暮らしていくために、日常で楽しみにしている食事と、日々の運動を通して、健康で充実した生活が送れるように支援する。

《重点推進課題》

1. 健康管理の強化及び健康増進

入居者が笑顔で健康に暮らせるよう、入居者個々人の疾病を理解し、日常生活の中で、体調変化を見落とすことがないよう、早期発見に努める。

また、身体機能の維持・向上の為に、入居者が楽しみながら参加できる運動内容の見直しを図る。

【指標・評価方法】

- ① 家族、訪問診療医と情報を共有し、病気を早期発見する。
- ② 管理栄養士が作成した献立により、栄養バランスの摂れた食事を提供する。
- ③ 感染予防対策の継続を図る。
- ④ 日々の体操や楽しみながら参加できる運動を取り入れる。

【結果】

- ① 家族、訪問診療医と情報共有し、継続した健康管理ができています。
- ② 日本栄養食品株式会社に献立を依頼し、管理栄養士が作成した栄養バランスを考慮した食事を提供している。
- ③ 感染予防対策を継続して行った結果、入居者から1名も感染者を出すことはなかった。しかし、感染症予防対策委員会を中心にマニュアルの作成や、研修を行っているが、指針の作成はまだ出来ていない。
- ④ 棒を使用した体操や脳トレ等、個々に合わせたリハビリを日々実施し、入居者の方々も楽しく参加できていた。

2. ICT化による業務効率化

タブレット端末を導入し、記録業務の効率化を図り、入居者へ寄添う時間をより多く持てるよう努める。

【指標・評価方法】

- ① システム操作方法についての研修実施。
- ② ユニット会議、職員会議等で、不明点について確認し、職員間で共有する。

【結果】

- ① システム操作方法についての研修を8月30日に実施し、全職員が操作できるようになっている。
- ② ユニット会議、職員会議等で、不明点について確認し、システム管理スタッフへも確認しながら、職員間で共有できている。

2 (介護予防)認知症対応型共同生活介護の運営

(1)施設の開設

第二種社会福祉事業としての認知症対応型共同生活介護については、介護保険法（平成9年法律123号）第70条の規定にもとづく同法第41条第1項の規定にもとづき、平成14年3月13日付で北海道知事に対し居宅サービス事業者指定申請を行い、平成14年4月1日付（石社福9001-10号）で指定を受けた。

認知症対応型通所介護については、介護保険法第78条の2第1項及び法第115条の11第1項の規定にもとづく法第42条の2第1項及び法第54条の2第1項の規定にもとづき、平成18年5月31日付で札幌市長に対し地域密着型サービス事業者指定申請を行い、平成18年7月1日付（札介保(指)第762号）で指定を受けた。

平成28年6月30日付（札介保（指）第11557号）利用者の減少により廃止した。

令和3年4月1日、組織の再編成を行い、総称を在宅地域支援施設「手稲ゆうゆう」とした。

概要は、次のとおり

施設の名 称	グループホーム手稲ゆうゆう
施設の所在地	札幌市手稲区稲穂5条2丁目6番5号
施設の種 類	(介護予防)認知症対応型共同生活介護
入 所 定 員	9名×2ユニット 計18名
通 所 定 員	一日につき3名

(2)施設職員の配置状況

2022.3.31 現在

		施 設 長	管 理 者	計 画 作 成 担 当 者	介 護 職 員	計
入 居	現 員 (人)	(1)	(1)	(2)	16 ②	16 ②

※1 ()は兼務。○は非常勤の内数。

※2 基準配置については標記困難な為、現員についてのみ掲載。

(3) 行事实施状況表

月	実施日	内 容	場 所	参加人数
4月	22	お好み献立	手稲ゆうゆう	18名
5月	5	子供の日	手稲ゆうゆう	18名
	9	母の日	手稲ゆうゆう	18名
	18	手作りおやつ	手稲ゆうゆう	18名
6月	1	開設記念祝賀会	手稲ゆうゆう	18名
	20	父の日	手稲ゆうゆう	18名
	28	お好み献立	手稲ゆうゆう	18名
7月	13	手作りおやつ	手稲ゆうゆう	18名
8月	1	夏祭り	手稲ゆうゆう	18名
	28	お好み献立	手稲ゆうゆう	18名
9月	17	敬老祝賀会	手稲ゆうゆう	18名
	27	手作りおやつ	手稲ゆうゆう	18名
10月	22	お好み献立	手稲ゆうゆう	18名
11月	25	お好み献立	手稲ゆうゆう	18名
12月	24	クリスマス・忘年会	手稲ゆうゆう	18名
1月	2	新年会	手稲ゆうゆう	18名
	21	お好み出前	手稲ゆうゆう	18名
2月	3	節分	手稲ゆうゆう	18名
3月	3	ひな祭り	手稲ゆうゆう	18名
<通年>	誕生会 …………… 各利用者の誕生日に実施		手稲ゆうゆう	18名
	パン献立…………… 毎月10日実施		手稲ゆうゆう	216名
			参加述べ人数	576名

(4)利用者の状況

ア. 年齢別構成状況(人)

	未満 5 64	65 5 69	70 5 74	75 5 79	80 5 84	85 5 89	90 5 94	95 以上	合計	最低 年齢	最高 年齢	平均 年齢	前年 平均
男	0	0	0	0	1	1	1	0	3	81	94	86.7	88.5
女	0	0	0	0	4	4	5	2	15	81	100	88.8	89.0
計	0	0	0	0	5	5	6	2	18			88.4	88.9

イ. 要介護度別利用者状況(延人数)

性別	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計	平均	前年平均
男	0	592	435	0	0	1,027	2.42	2.00
女	1,899	2,539	406	510	121	5,475	1.97	2.03
計	1,899	3,131	841	510	121	6,502	2.04	2.02

ウ. 介護保険者別構成状況(人)

	札幌市										合計
	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲	
男	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	3
女	0	1	0	0	0	0	0	0	1	13	15
計	0	2	0	0	0	0	0	0	1	15	18

エ. 健康保険加入状況(人)

	後期高齢者医療制度	国民健康保険	社会保険	組合健康保険	生活保護	合計
男	3	0	0	0	0	3
女	12	0	0	0	3	15
計	15	0	0	0	3	18

オ. 在所者利用期間別構成状況(人)

	1年未満	1~2	2~3	3~4	4~5	5~6	6~7	7~8	8~9	9~10	10年以上	合計
男	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3
女	1	4	2	2	2	0	2	1	0	1	0	15
計	3	4	2	3	2	0	2	1	0	1	0	18

カ. 認知症の原因(人)

	脳血管障害	アルツハイマー	老年性	その他	合計
男	0	2	1	0	3
女	0	8	1	6	15
計	0	10	2	6	18

キ. 障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)

	自立	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	合計
男	0	0	0	1	2	0	0	0	0	3
女	1	0	1	3	7	2	1	0	0	15
計	1	0	1	4	9	2	1	0	0	18

ク. 認知症高齢者の日常生活自立度

	自立	I	Ⅱa	Ⅱb	Ⅲa	Ⅲb	Ⅳ	M	合計
男	0	0	0	0	2	0	1	0	3
女	0	1	2	5	3	0	3	1	15
計	0	1	2	5	5	0	4	1	18

ケ. 入居利用状況

利用状況		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年合計
	日数		30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
入所利用延人数		510	550	540	558	558	540	541	540	557	545	504	558	6,501	6,402
1日平均人数		17.00	17.74	18.00	18.00	18.00	18.00	17.45	18.00	17.97	17.58	18.00	18.00	17.81	17.54
入所率(%)		94.44	98.57	100.00	100.00	100.00	100.00	96.95	100.00	99.82	97.67	100.00	100.00	98.95	97.44

コ. 入退居状況(人)

入居		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年合計
	家庭		0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
病院		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
他施設		0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
死亡		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	3	4
退居		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年合計
	家庭		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
病院		0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	2
他施設		0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1
死亡		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計		0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	3	4

サ. 入居待機者状況

	要支援1	要支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
男		0	1	1	1	0	0	3
女		0	5	3	1	0	0	9
計		0	6	4	2	0	0	12

シ. 利用者減免状況

	入居減免額			合計
	通常減免		1件当平均	
	件数	金額		
4月	4	30,000	7,500	30,000
5月	3	26,850	8,950	26,850
6月	3	22,500	7,500	22,500
7月	3	26,850	8,950	26,850
8月	3	26,850	8,950	26,850
9月	3	22,500	7,500	22,500
10月	2	17,900	8,950	17,900
11月	2	15,000	7,500	15,000
12月	2	17,900	8,950	17,900
1月	3	26,850	8,950	26,850
2月	3	13,800	4,600	13,800
3月	3	26,850	8,950	26,850
合計	34	273,850	97,250	273,850

(5) 苦情受付件数と主な内容

2 件				
部門	苦情申出者	内 容	第3者委員等の報告	結果
グループホーム	家族	<p>病院受診の付き添いの為に玄関で待っている間に職員2名が手指消毒をしないで施設の中に入って行った。以前にも同様のことがあり、改善してほしい。</p> <p>対応策 ⇒ (出勤時に玄関で手指消毒をしてから施設内に入り、手洗い、手指消毒、うがいをしてから各職場に入るように周知していたが、徹底されていなかったため、全職員に感染症予防対策についてメール送信し、再周知を行った。)</p>	無し	解決
グループホーム	家族	<p>退居先である特養から入所日の返事をしていないのに、管理者から「12月7日に入所が決まっており、新しい方が12月9日に入るのが決まっている」と話が合った。家族は特養の入居日を12月10日と予定していたのに、家族の予定を全部キャンセルすることになったとの苦情があったと特養ロータスの相談員より報告を受ける。</p> <p>対応策 ⇒ (入退去日の調整について、複数人が関わったため、情報の行き違いがあった。入退去日の調整及び確認については、担当の相談員とグループホーム管理者で直接確認を行う。)</p>	無し	解決

(6) 介護事故件数

重大事故 (行政報告)	種別	誤嚥 (誤飲・誤食・窒息等)	誤薬 誤配	転倒	転落	打撲 捻挫 脱臼 変色	火傷 裂傷 皮膚剥離	無断外出 行方不明	送迎車に よる事故	自傷行為 暴力	職員言動 処遇	溺水	その他	合計
	件数	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

事故 (施設内処理)	種別	誤嚥 (誤飲・誤食・窒息等)	誤薬 誤配	転倒	転落	打撲 捻挫 脱臼 変色	火傷 裂傷 皮膚剥離	無断外出 行方不明	送迎車に よる事故	自傷行為 暴力	職員言動 処遇	溺水	その他	合計
	件数	1	0	8	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0

ヒヤリハット	種別	誤嚥 (誤飲・誤食・窒息等)	誤薬 誤配	転倒	転落	打撲 捻挫 脱臼 変色	火傷 裂傷 皮膚剥離	無断外出 行方不明	送迎車に よる事故	自傷行為 暴力	職員言動 処遇	溺水	その他	合計
	件数	0	2	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3

(7) 慰問・ボランティア状況

	名 前	内 容	来 訪 日	延べ人数
慰問		感染症予防のため受入中止		0名
ボランティア		感染症予防のため受入中止		0名
		合計延べ人数		0名

(8) 地域における公益的な取組

<p>〈地域活動〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ拾いの実施(手稲駅～手稲ゆうゆう間) (その他、新型コロナウイルス感染症予防のため、未実施。)

手稲ゆうゆう（介護予防）通所介護事業所

1. 重点推進課題の実施報告

(1) 手稲ゆうゆう通所介護事業所

感染症予防に努めながら安定的な事業運営を目指し、様々な活動場面等を通じて利用者が持っている能力を発揮することができ、何かを得られることで、利用者にとって新たな魅力を感じられるサービス提供を目指す。

《重点推進課題》

1. 感染症予防対策の継続と安定的なサービスの提供

感染症予防対策の段階に応じたサービス提供の目安を構築し、利用者家族及び家族から理解を得ながら、一定の満足度を得られるサービス提供体制を目指す

【指標・評価方法】

北海道の警戒ステージに応じたサービス提供体制を検討し、マニュアル化する。

【結果】

利用者の身体状況や家族関係等、複雑かつ様々な環境から、北海道の警戒ステージに応じたサービスの提供は困難を極め、マニュアルの作成には至らなかった。しかし、サービス提供は、カラオケや麻雀の中止等は一部活動制限したが、作品づくりや脳トレプリントを充実させたことにより、安定したサービス提供ができた。

2. 自立支援・重度化防止の推進

LIFE(ライフ)へのデータ提出に向けて取り組みを行い、利用者の自立支援・重度化防止に繋がるサービス提供体制の構築を目指す。

【指標・評価方法】

- ① 記録内容の充実化と入力業務の効率化のためにケアパレットの導入と効率的な運用ができるよう検討、実践を重ねていく。
- ② 可能な範囲で社会資源を活用し、利用者のニーズや能力に応じた活動提供を行う。

【結果】

- ① システム(ケアパレット)操作の研修を8月30日に実施した。すべての機能活用までには至っていないが、LIFE(ライフ)のデータ入力は完了し、次年度5月請求分から加算算定の予定である。今後は更に、バイタル機能の活用を看護職員中心に取り組み、業務効率化を図り、サービス向上に努める。
- ② 感染症予防対策のため、地域ボランティアの受入れや慰問等、幅広い社会資源の活用には至っていないが、利用者の作品(書道)を書道ボランティアの先生に届け、添削を行い、利用者へ渡す活動を実施。利用者からは、「見てもらえるから、また書こうと思う」と意欲的な声が聞かれている。

5 通所介護・第1号通所(介護予防)事業の運営

(1)施設の開設

第二種社会福祉事業としての老人デイサービス事業の設置については、札幌市長に対し設置許可申請を行い、平成元年7月1日付で受理され、老人デイサービスB型事業を開始。

平成18年4月1日より介護保険制度の改正に伴い、居宅系サービスについては予防事業を開設した。

平成29年4月1日より介護予防・日常生活支援総合事業開始に伴い、介護予防事業については第1号通所事業へ移行となる。

令和元年5月1日に併設していた特別養護老人ホームが移転したため、その後、一部改築し令和元年10月28日より通所事業を移転する。

令和3年4月1日、組織の再編成を行い、総称を在宅地域支援施設「手稲ゆうゆう」とし、事業所名を「手稲ゆうゆう通所介護事業所」へ名称変更した。

概要は、次のとおり

施設名称 手稲ゆうゆう通所介護事業所
 施設の所在地 札幌市手稲区稲穂5条2丁目6番5号
 施設の種類 通所介護・第1号通所(介護予防)事業
 通所定員 40名(1日当たり)

(2)施設職員の配置状況

2022.3.31 現在

		施設 長	管 理 者	生 活 相 談 員	介 護 職 員	看 護 職 員	機 能 訓 練 指 導 員	介 護 支 援 専 門 員	介 護 ア シ ス タ ン ト	用 務 員	介 助 員	事 務 員	管 理 栄 養 士	栄 養 士	調 理 員	計
通 所	基準数 (人)		1	1	6	1	1									10
	現員 (人)	1 (1)	1 (1)	3 (2)	10 (4)	6 (5)	6 (5)	1 (1)	1 (1)	1	1 (1)	1 (1)			委 託	26 ⑰

※ ()は兼務。○は非常勤の内数。

(3) 行事实施状況表

月	実施日	内 容	場 所	参加人数
4月	5日～27日	五月人形:鯉のぼりフレーム(持ち帰り作品づくり)	ダイルーム	12名
5月	1日	五月人形:鯉のぼりフレーム(持ち帰り作品づくり)	ダイルーム	1名
	7日～25日	つまみ細工 チューリップ(持ち帰り作品づくり)	ダイルーム	8名
6月	9日～12日	つまみ細工 チューリップ(持ち帰り作品づくり)	ダイルーム	9名
	21日～23日	ラベンダー湯(変わり湯)	浴室	61名
7月	15日～17日	ローズ湯(変わり湯)	浴室	71名
8月	30日	壁飾りお月見うさぎ作り(持ち帰り作品づくり)	ダイルーム	1名
	16日～18日	もも湯(変わり湯)	浴室	67名
9月	1日～13日	壁飾りお月見うさぎ作り(持ち帰り作品づくり)	ダイルーム	18名
	3日～18日	つまみ細工 十五夜うさぎ(持ち帰り作品づくり)	ダイルーム	12名
	20日～22日	敬老祝賀会	ダイルーム	87名
	16日～18日	マスカット湯(変わり湯)	浴室	69名
10月	18日～30日	カルトナージュ風 ウェットティッシュケースづくり(持ち帰り作品づくり)	ダイルーム	25名
	18日～20日	森林浴湯(変わり湯)	浴室	65名
11月	18日～20日	薬湯(変わり湯)	浴室	65名
12月	13日～18日	ポタニカルキャンドルづくり(持ち帰り作品づくり)	ダイルーム	23名
	23日～25日	忘年会	ダイルーム	87名
	23日～25日	ゆず湯(変わり湯)	浴室	69名
1月	17日～19日	柑橘ハーブ湯(変わり湯)	浴室	65名
2月	22日～24日	吊るし雛 短冊雛飾り作成(持ち帰り作品づくり)	ダイルーム	7名
	24日～26日	薬湯(変わり湯)	浴室	21名
3月	2日～12日	吊るし雛 短冊雛飾り作成(持ち帰り作品づくり)	ダイルーム	13名
	21日～23日	ミックス湯(変わり湯)	浴室	65名
<通年>	誕生会	… 各利用者の誕生日に近い利用日に実施	施設内	93名
			参加延べ人数	1,014名

(4)利用者の状況

ア. 利用者減免状況

	通所介護・第1号通所事業減免額					合計 (円)
	通常減免		特別減免		1件当平均 (円)	
	件数	金額(円)	件数	金額		
4月	3	10,039	52	73,744	1,523	83,783
5月	2	6,012	54	72,474	1,402	78,486
6月	2	5,050	53	67,427	1,318	72,477
7月	3	11,365	54	78,640	1,579	90,005
8月	4	13,333	55	79,390	1,572	92,723
9月	5	16,349	53	72,550	1,533	88,899
10月	5	15,561	57	63,673	1,278	79,234
11月	4	15,660	57	64,813	1,319	80,473
12月	5	12,090	58	72,177	1,338	84,267
1月	4	9,091	57	46,235	907	55,326
2月	3	6,779	53	49,625	1,007	56,404
3月	3	9,161	54	63,296	1,271	72,457
合計	43	130,490	657	804,044	16,046	934,534

イ. 通所介護・第1号通所事業実施状況

	登録人数	開放日数	利用人員	一日平均人数	利用率(%)	介護度別延べ人数(人)							サービス状況(回)				
						要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	入浴	食事	個別機能訓練	運動器機能向上	生活機能向上 (実人数)
4月	100	26	723	27.81	69.52	43	93	270	192	106	19	0	619	723	94	5	0
5月	102	26	677	26.04	65.10	39	85	246	185	98	24	0	579	677	101	8	0
6月	100	26	600	23.08	57.70	36	86	217	146	81	34	0	509	600	85	9	0
7月	100	26	743	28.58	71.45	29	109	296	185	87	37	0	614	743	89	8	0
8月	97	26	738	28.39	70.97	27	108	317	171	77	38	0	608	738	89	9	0
9月	96	26	735	28.27	70.68	25	110	315	171	71	43	0	595	735	92	8	0
10月	95	27	733	27.15	67.88	18	102	329	171	69	35	0	591	733	87	7	0
11月	98	26	740	28.47	71.16	32	94	329	171	64	40	3	595	740	108	9	0
12月	101	26	765	29.43	73.56	34	110	330	177	57	38	6	606	765	119	7	0
1月	102	25	503	20.12	50.30	22	73	221	110	43	26	8	396	503	60	2	0
2月	102	24	538	22.42	56.05	17	81	244	104	61	21	10	424	538	67	3	0
3月	104	27	698	25.86	64.63	37	97	313	142	75	19	14	557	698	45	8	0
合計	311	8,193	26,351	26.35	65.87	359	1,148	3,427	1,925	889	374	41	6,693	8,193	1,036	83	0
前年合計	309	8,381	27,131	27.13	67.81	388	1,189	3,126	2,459	971	246	0	5,705	8,378	1,085	119	83

※1日休業(感染症予防対策)

※7日休業(感染症予防対策)

※3日休業()

※1日休業()

(5) 苦情受付件数と主な内容

0 件				
部門	苦情申出者	内 容		第3者委員等の報告
通所	無			無
				無

(6) 介護事故件数

重大事故 (行政報告)	種別	誤嚥 (誤飲・誤食・異食・窒息等)	誤薬 誤配	転倒	転落	打撲 捻挫 脱臼 変色	火傷 裂傷 皮膚剥離	無断外出 行方不明	送迎車に よる事故	自傷行為 暴力	職員言動 処遇	溺水	その他	合計
	件数	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

事故 (施設内処理)	種別	誤嚥 (誤飲・誤食・異食・窒息等)	誤薬 誤配	転倒	転落	打撲 捻挫 脱臼 変色	火傷 裂傷 皮膚剥離	無断外出 行方不明	送迎車に よる事故	自傷行為 暴力	職員言動 処遇	溺水	その他	合計
	件数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

ヒヤリハット	種別	誤嚥 (誤飲・誤食・異食・窒息等)	誤薬 誤配	転倒	転落	打撲 捻挫 脱臼 変色	火傷 裂傷 皮膚剥離	無断外出 行方不明	送迎車に よる事故	自傷行為 暴力	職員言動 処遇	溺水	その他	合計
	件数	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2

(7) 慰問・ボランティア状況

	名 前	内 容	来 訪 日	延べ人数
個人	個人ボランティア 様	利用者へ提供するお茶の準備・ドライヤー対応	2021年4月初旬～2022年1月11日 (月・水・金)	1名 合計94回
	個人ボランティア 様	利用者が書いた書道の添作	月1回 自宅玄関で受け渡し	1名 合計12回
クラブ		感染症予防のため受入中止		
その他		感染症予防のため受入中止		
			合計延べ人数	2名

(8) 地域における公益的な取組

〈地域活動〉 ・ゴミ拾いの実施(手稲駅～手稲ゆうゆう間) (その他、新型コロナウイルス感染症予防のため、未実施。)

手稲ゆうゆう 指定居宅介護支援事業所

1. 重点推進課題の実施報告

(1) 手稲ゆうゆう指定居宅介護支援事業所

利用者一人ひとりが住み慣れた地域で自立した生活を継続できるよう、また地域に根差した顔の見える事業所となれるよう、ICTの活用や感染症予防対策を取り入れた新しい形の「café ange」の開催を目指す。

《重点推進課題》

「利用者の自立支援の向上を図る」

ICTの活用により業務の効率化を図ると共に他事業所や病院等、感染症対策に留意しながら横の繋がりを強化するように努め、利用者が住み慣れた地域で暮らし続けられるように、支援の質の向上を目指す。また新型コロナウイルス感染症予防の観点から、積極的に地域の方々と交流することが難しい状況ではあるが、地域に根差した顔の見える事業所を目指して、その方法を模索していく。

【指標・評価方法】

- ① 介護支援専門員一人ひとりのICTの知識と技術の習得に取り組む。例えば居宅会議の際は集まらず事業所内の離れた場所からICTを活用して会議を開催し経験を積む。次に他事業所との事例検討会を主催または参加を通して、横の繋がりに活用していけるよう実技の幅を広げていく。
- ② 地域の高齢者の中には、新型コロナウイルス感染症予防のため外出を控えていることにより、ADLや認知機能の低下が懸念されることから、そのような状況にある方々の力になれるように、「café ange」の再開を検討したい。地域の状況について予防センターと情報交換をしながら、予約制にしたり、参加者には数日前から検温などの体調確認をお願いしたり、万が一感染症が発生してしまった場合に追跡調査を行えるように個人情報を確認する等、対応をしっかりと決めて新しい「café ange」の形を作る。

【結果】

- ① 法人内や他法人との事例検討会、退院時カンファレンス、外部研修、手稲ロータス居宅支援事業所との合同委員会はオンラインでの開催が殆どであったのだが、これらの機会を通して、特に苦手意識のある職員は準備や操作を積極的に行い、知識や技術の習得に取り組んだ。また、居宅会議内においてもiPadを利用し研修動画を視聴する機会を設けるなど、機器を積極的に活用するような方向に意識を向けることができた。
- ② 新型コロナウイルス感染予防対策のため、地域会場の閉鎖及び地域の感染者の状況により、「café ange」を開催できるまでには至らなかった。しかし、手稲区担当者に当事業所のメールアドレスを伝え、認知症カフェを開催していた区内の事業所と情報交換できるよう体制を整えた。感染状況は依然として予断を許さないが、今後は他事業所との情報交換や徐々に慣れてきたオンラインの活用などを中心に開催を検討していきたい。

2 居宅介護支援の運営

(1) 事業所の開設

在宅介護支援センターの設置については、老人福祉法(昭和57年法律80号)第6条の2の規定にもとづき、平成10年10月16日付けで、札幌市長と委託契約締結した。

平成12年4月1日、介護保険法施行により、居宅介護支援事業所を開設した。

平成15年4月1日、支援費制度施行により、居宅介護事業所を開設した。

令和 3年4月1日、組織の再編成により、総称を在宅地域支援施設「手稲ゆうゆう」とし、事業所名を「手稲ゆうゆう指定居宅介護支援事業所」へ名称変更した。

概要は、次のとおり

施設 の 名 称	手稲ゆうゆう指定居宅介護支援事業所
施設 の 所 在 地	札幌市手稲区稲穂5条2丁目6番5号
施設 の 種 類	居宅介護支援事業所

(2) 施設職員の配置状況 2022.3.31 現在

		管 理 者	主任 介 護 支 援 専 門 員	介 護 支 援 専 門 員	計
居 宅	現 員 (人)	1 (1)	1 (1)	2 (0)	4 (1)

※1 ()は兼務。○は非常勤の内数。

※2 基準配置については標記困難な為、現員についてのみ掲載。

(3) 居宅介護支援事業所 相談実件数及び相談内容

電話	来所	訪問	合計
265 件	6 件	376 件	647 件

介護保険関係						合計
制度全般	認定申請	在宅サービス	施設サービス	保険・利用料等	相談・苦情	
85 件	5 件	442 件	21 件	1 件	2 件	556 件

地域・福祉・医療関係						合計
高齢者福祉	障害制度	通院・入退院	介護予防	地域支援	その他	
9 件	0 件	13 件	0 件	0 件	194 件	216 件

(重複掲載)

(4) 介護度別 居宅介護サービス計画作成状況

	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	前年合計
4月	0.0 件	1.5 件	10.0 件	53 件	50 件	20 件	9 件	2 件	145.5 件	135 件
5月	0.0 件	1.5 件	9.5 件	53 件	51 件	18 件	10 件	3 件	146.0 件	124 件
6月	0.0 件	2.0 件	8.5 件	55 件	48 件	20 件	9 件	2 件	144.5 件	131 件
7月	0.0 件	1.5 件	9.0 件	54 件	47 件	19 件	9 件	2 件	141.5 件	179 件
8月	0.0 件	1.5 件	10.0 件	54 件	46 件	18 件	9 件	2 件	140.5 件	134 件
9月	0.0 件	1.5 件	9.0 件	50 件	47 件	18 件	11 件	2 件	138.5 件	136 件
10月	0.0 件	1.5 件	8.5 件	52 件	46 件	16 件	13 件	3 件	140.0 件	126 件
11月	0.0 件	1.5 件	8.5 件	52 件	48 件	18 件	13 件	3 件	144.0 件	126 件
12月	0.0 件	2.0 件	9.0 件	52 件	46 件	19 件	13 件	3 件	144.0 件	128 件
1月	0.0 件	2.0 件	9.0 件	51 件	43 件	17 件	13 件	3 件	138.0 件	133 件
2月	0.0 件	2.0 件	8.5 件	46 件	39 件	20 件	9 件	2 件	126.5 件	125 件
3月	0.0 件	2.0 件	9.0 件	47 件	35 件	18 件	11 件	2 件	124.0 件	143 件
合計	0 件	21 件	109 件	619 件	546 件	221 件	129 件	29 件	1,673 件	1,618 件

(5) 苦情受付件数と主な内容

2 件				
部門	苦情申出者	内 容	第3者委員等の報告	結果
居宅	利用者・家族	<p>ケアマネジャーが以前、利用者の夫に話した内容についてや利用者 に連絡を取る際に、先に娘に連絡を入れていたこと等、対応に不愉快な思 いをした。</p> <p>対応策 ⇒ (副主任2人とも休みであったので、その日出勤していたケアマネ ジャーと苦情を受けたケアマネジャー2人で、直に自宅に伺い謝 罪。後日、当日伺ったケアマネジャーと共に副主任(管理者)が伺 い謝罪する。)</p>	無し	解決
居宅	家族	<p>ケアマネジャーが約束の時間になっても来ていないのだからどうなっているの か。また、これまでも利用票の作成で同じ間違いがあったり、利用中の事業所 や前任のケアマネジャーは電話連絡をくれて私たちのことを気にかけてくれて いたが、今のケアマネジャーはなく、不信感がある。担当を変えて欲しい。</p> <p>対応策 ⇒ (家族から連絡を頂いてすぐ担当ケアマネジャー訪問し謝罪。その 日のうちに管理者より謝罪の電話を入れ担当を交代させて頂く旨 伝える。また、後任のケアマネジャー訪問時に管理者同行し、再度 謝罪する。)</p>	無し	解決

(6) 介護事故件数

種別	誤嚥 (誤飲・誤食・異食・窒息等)	誤薬 誤配	転倒	転落	打撲 捻挫 脱臼 変色	火傷 裂傷 皮膚剥離	無断外出 行方不明	送迎車に よる事故	自傷行為 暴力	職員言動 処遇	溺水	その他	合計
件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※事故に至っていない「ヒヤリ・ハット」を含む件数を計上しております。

(重複掲載)

(7) 地域における公益的な取組

<p>〈地域活動〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ拾いの実施(手稲駅～手稲ゆうゆう間) <p>〈地域支援活動〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域イベント(餅つき大会)へボランティアとして参加予定していたが、新型コロナウイルス感染予防のためイベントが中止となった。 <p>〈地域住民ふれあいの場の提供〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症カフェの開催予定であったが、新型コロナウイルス感染予防のため中止
--

手稲ゆうゆう（介護予防）訪問介護事業所

1. 重点推進課題の実施報告

(1) 手稲ゆうゆう訪問介護事業所

手稲ゆうゆう札幌市訪問介護相当型サービス事業所

手稲ゆうゆう居宅介護事業所

訪問介護サービスを必要としている利用者及び家族の希望に寄り添えるよう、煩雑な事務業務の効率化を図り、より多くのサービス提供を可能とすることで、自宅での暮らしを続けられるよう支援する。

《重点推進課題》

1. ICT化による業務効率化

事務業務によるサービス提供時間の圧迫や時間外労働を削減し、少しでも多く利用者の暮らしを支えられるよう、ICT化を図り円滑な事業運営を目指す。

【指標・評価方法】

職員に対し、システムの使用方法について定期的な評価及び研修を行う。

【結果】

2021年4月から6月にかけて、システム(ケアパレット)操作方法の研修を3回実施。6月にはシステムを試験運用し、7月より本格導入した。当初は、ヘルパーや利用者から、操作方法やペーパーレス化に伴う戸惑いの声も聞かれたが、都度、サービス提供責任者から、個別に説明を行い、現在まで問題なく運用ができています。

また、システムを使用することで、全ヘルパーの予定表が可視化され、サービス提供責任者が行う実績確認業務も円滑に実施できている。

2. ヘルパーグループ単位制の確立

サービス内容の変更やヘルパーの休暇対応等、迅速に対応できるようグループ制を確立し、利用者及び家族、職員からも信頼される事業所を目指す。

【指標・評価方法】

- ① サービス提供責任者間での業務分担を行う。
- ② グループ単位での定例会を行い、情報共有を図る。

【結果】

- ① 業務分担を実施したが、サービス提供責任者一人ひとりが、役割と責任の認識違いにより、役職者への業務の偏りがあった。今後はサービス提供責任者の自覚を含め、体制の構築が必要と判断された。
- ② 感染予防対策及び感染予防による職員の休み等により、グループ単位での定例会は行えなかった。

2 (介護予防)訪問介護の運営

(1) 事業所の開設

ホームヘルプサービス事業については、平成11年10月1日付けで、札幌市長と委託契約締結した。

平成12年4月1日、介護保険法施行により、訪問介護事業所を開設した。

平成15年4月1日、支援費制度施行により、居宅介護事業所を開設した。

令和 3年4月1日、組織の再編成により、総称を在宅地域支援施設「手稲ゆうゆう」とし、事業所名を「手稲ゆうゆう訪問介護事業所」へ名称変更した。

概要は、次のとおり

施設 の 名 称 手稲ゆうゆう(介護予防)訪問介護事業所
 手稲ゆうゆう指定居宅介護事業所
 施設 の 所 在 地 札幌市手稲区稲穂5条2丁目6番5号
 施設 の 種 類 訪問介護事業所

(2) 施設職員の配置状況 2022.3.31 現在

		管 理 者	サ ー ビ ス 提 供 責 任 者	訪 問 介 護 員	計
訪 問	現 員 (人)	(1)	4	14 ⑭	18 (1) ⑭

※1 ()は兼務。○は非常勤の内数。

※2 基準配置については標記困難な為、現員についてのみ掲載。

(3)訪問介護事業 訪問時間数

2022.3.31 現在

ア. 介護保険サービス

月	利用実人数	身 体	身体・生活	生 活	合 計	前年合計
4月	66名	114.2時間	286.0時間	141.8時間	542.0時間	447.5時間
5月	62名	114.9時間	258.1時間	106.9時間	479.9時間	362.6時間
6月	60名	123.2時間	257.9時間	97.2時間	478.3時間	527.5時間
7月	69名	154.2時間	292.0時間	106.5時間	552.7時間	539.5時間
8月	62名	141.6時間	263.9時間	79.6時間	485.1時間	484.6時間
9月	66名	153.4時間	296.5時間	97.9時間	547.8時間	500.4時間
10月	70名	149.5時間	301.1時間	109.7時間	560.3時間	509.6時間
11月	73名	159.8時間	317.4時間	101.3時間	578.5時間	475.6時間
12月	72名	148.2時間	314.8時間	116.8時間	579.8時間	504.2時間
1月	73名	130.5時間	267.1時間	107.8時間	505.4時間	461.8時間
2月	69名	110.5時間	230.9時間	106.2時間	447.6時間	465.9時間
3月	68名	130.0時間	288.9時間	104.9時間	523.8時間	503.1時間
合計	810名	1,630.0時間	3,374.6時間	1,276.6時間	6,281.2時間	5,782.3時間

イ. 介護保険サービス (総合)

月	利用実人数	合計	前年合計
4月	41名	188.7時間	152.1時間
5月	44名	186.2時間	121.8時間
6月	44名	204.0時間	185.6時間
7月	40名	197.8時間	210.2時間
8月	40名	188.1時間	169.5時間
9月	41名	295.3時間	170.0時間
10月	38名	181.5時間	170.9時間
11月	42名	199.5時間	188.4時間
12月	42名	197.5時間	199.2時間
1月	名	178.5時間	189.9時間
2月	38名	160.5時間	175.6時間
3月	48名	180.0時間	179.4時間
合計	458名	2,357.6時間	2,112.6時間

ウ. 障害福祉サービス

月	利用実人数	障 害	精 神	知 的	重 度	合 計	前年合計
4月	21名	96.3時間	90.0時間	31.5時間	44.5時間	262.3時間	238.5時間
5月	20名	84.5時間	92.8時間	30.0時間	52.0時間	259.3時間	202.5時間
6月	22名	96.5時間	84.5時間	34.5時間	32.0時間	247.5時間	269.3時間
7月	23名	105.0時間	89.5時間	34.5時間	72.5時間	301.5時間	273.3時間
8月	22名	99.0時間	88.0時間	33.0時間	74.5時間	294.5時間	243.3時間
9月	22名	96.0時間	85.3時間	33.0時間	81.0時間	295.3時間	257.5時間
10月	22名	99.0時間	81.0時間	34.0時間	66.5時間	280.5時間	273.0時間
11月	22名	101.5時間	84.0時間	32.0時間	82.0時間	299.5時間	263.8時間
12月	22名	98.5時間	79.5時間	32.5時間	78.0時間	288.5時間	271.5時間
1月	名	102.0時間	80.0時間	28.5時間	84.5時間	295.0時間	254.5時間
2月	20名	100.0時間	72.0時間	6.0時間	60.0時間	238.0時間	210.5時間
3月	20名	108.5時間	77.0時間	4.5時間	86.5時間	276.5時間	241.3時間
合計	236名	1,186.8時間	1,003.6時間	334.0時間	814.0時間	3,338.4時間	2,999.0時間

(4) 苦情受付件数と主な内容

4 件				第3者委員等の報告	結果
部門	苦情申出者	内 容			
訪介	家族	・契約書の説明は、本人だけでなく、家族へも説明して欲しい。 ・事業所のミスで、何回も契約書を書き直しさせないでほしい。 対応策 ⇒ (家族も同席できるよう、日程を調整し、本人及び家族へその場で対応ができるようにした。)		無し	解決
訪介	本人	・綺麗に掃除がされていない。新しいヘルパーになってから、お風呂に虫が出るようになった。買物を頼んだ時、ヘルパーに「私は掃除に来ているので買物には行けません」と言われた。今までのヘルパーは、直ぐに体温を聞いてきたが、新しいヘルパーは、掃除が終わって帰る時間になってから、体温を聞いてくる。 対応策 ⇒ (サービス提供責任者より、本人へ事情を確認し、謝罪。本人としては、今までのヘルパーとやり方が違っていただけに不満を感じていたため、再度、手順について確認を行った。)		無し	解決
訪介	本人	・ヘルパーが来ていないが、どうなっているのか、事業所へ連絡したが、担当のサービス提供責任者から「相談員を通して連絡をしている」と言われた。責任者から連絡させ、説明して欲しい。(相談員の連絡ミスによるもの) 対応策 ⇒ (本人へは、管理者から事情を説明し、納得していただいた。相談員との連絡事項について、経過記録とし、全サービス提供責任者が説明できるようにした。)		無し	解決
訪介	本人	・担当職員が緊急訪問対応のため、訪問時間を変更して欲しい旨を利用者へ伝えたところ、「優先順位の付け方としてどうなっているんだ」と話があった。 対応策 ⇒ (サービス提供責任者より、本人へ謝罪。担当ケアマネからも、緊急時対応は、今後もあり得る旨についても説明していただき、理解を得られた。)		無し	解決

(5) 介護事故件数

種別	誤嚥 (誤飲・誤食・異食・窒息等)	誤薬 誤配	転倒	転落	打撲 捻挫 脱臼 変色	火傷 裂傷 皮膚剥離	無断外出 行方不明	送迎車に よる事故	自傷行為 暴力	職員言動 処遇	溺水	その他	合計
訪問	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※事故に至っていない「ヒヤリ・ハット」を含む件数を計上しております。

(重複掲載)

札幌市手稲区介護予防センター稲穂・金山・星置

1. 重点推進課題の実施報告

(1) 札幌市手稲区介護予防センター稲穂・金山・星置

更なる介護予防の普及啓発活動と一般介護予防事業を推し進めていく。また、地域住民の自主的な介護予防の取り組める集いの場作りと継続して活動できるよう支援に努める。また、コロナ禍で、自宅で過ごす時間が多くなり、個人で取り組める健康づくりの一環として、前年度に行った自宅でできる運動「まっする」を継続して支援と新たに ICT を活用出来るような仕組みづくりに努める。

《重点推進課題》

1. 住民主体の介護予防活動の支援と更なる推進

自粛明け後に、住民主体で行われている介護予防活動に直接出向いての活動状況の把握と問題点・改善点について主催者と情報共有し、継続支援していく。また、新たな介護予防活動の集いの場が生まれるように、地域住民への働きかけを行う。

【指標・評価方法】

- ・ 担当地区内で、自主運動サークル(8カ所)を定期訪問(年2回以上)し、活動状況の把握と主催者の今後の考えなどについて聞き取りを行う。
- ・ 体操のマンネリ化防止の観点から、札幌市で推進のしている「サッポロスマイル体操」を運動プログラムの選択肢として自主的に介護予防活動を行っている団体に PR や活用に必要な支援を随時行っていく。
- ・ 介護予防活動が行われていない「空白地帯」を示したマップを基に、住民主体の新たな自主活動サークルが立ち上げることができる場所を探しだし、1カ所以上の自主活動サークルの立ち上げを目指す。

【結果】

- ・ 感染対策のため、自主運動サークル 8カ所すべてに定期訪問はできなかったが、定期的に代表者へ電話連絡して今後の予定などを確認した。また、自粛期間中には、運動資料などの配布などを行い、会場の都合により、再開できない自主運動グループ参加者へは、再開に向けたアンケートを実施し、来年度再開に向けた交流会などを予定した。
- ・ 体操のマンネリ化もあり、2カ所の自主運動サークルへ PR を行い、「サッポロスマイル体操」の指導を行い、自主的に月 1 回実施できている。
- ・ 自主活動化支援業務修了者に中心的役割をもっていただき、会場を確保し、新規自主運動サークル立ち上げを予定していたが、修了者の体調不良にて立ち上げることができなかった。来年度以降に修了者の体調を確認しながら、計画を進めていきたい。

2. 自宅（個人）で取り組める介護予防活動の支援

コロナ禍での自粛生活に伴い、高齢者の外出の機会が減少し、自宅で過ごす時間が多いため、身体機能や認知機能の低下が懸念されている。その為、介護予防の観点からも、前年度に行った自宅でできる運動「まっする」を継続し支援していく。また、ICT を活用した介護予防に取り組む仕組みづくりを行う。

【指標・評価方法】

- ・ 担当地区内で、地域住民への回覧板による周知により、参加者の把握と達成の進捗状況など達成者に聞き取りを行う。また、介護予防の観点からより多く周知できる配架の協力体制を築いていく。
- ・ 地域住民へ介護予防に関する情報を web 活用し、地域住民が活用できるシステム構築を行う。同時にQRコードなど活用して運動プログラムの提供を行うなど、介護予防に高齢者が活用できるように、利用に向けた啓発物を発行し、活用できる仕組み作りを目指す。

【結果】

- ・ 感染対策もあったが、町内回覧による周知を行い、定期的に進捗状況などを確認することができた。その結果、民生委員の紹介によって、これまで関わりを持つことができなかった地域住民とつながりを持つことができた。更には、介護予防普及のため、駅前スーパーや調剤薬局、郵便局などへの掲示協力を依頼し、広く周知活動を行った。
- ・ 運動チェック表まっするを監修していただいた病院ホームページの体操動画を観ることができるよう、運動資料にQRコードを取り入れた。また、Zoomwp活用したオンライン形式の介護予防教室が実施できるなど、地域住民への介護予防の選択肢を広げることで、屋内介護予防教室においても地域住民から Zoom での参加希望があった。

2 介護予防センターの運営

(1)センターの開設

在宅介護支援センターの設置については、老人福祉法(昭和57年法律80号)第6条の2の規定にもとづき、平成10年10月16日付けで、札幌市長と委託契約締結した。

介護予防センターの設置については、介護保険法(平成17年法律第77号)にもとづき、平成18年3月31日付けで在宅介護支援センターの委託契約を解除し、平成18年4月1日付けで、札幌市長と委託契約締結した。

令和 3年4月1日組織の再編制により、総称を在宅地域支援施設「手稲ゆうゆう」とした。

概要は、次のとおり

施設 の 名 称	札幌市手稲区介護予防センター稲穂・金山・星置
施設 の 所 在 地	札幌市手稲区稲穂5条2丁目6番5号
施設 の 種 類	介護予防センター

(2)施設職員の配置状況 2022.3.31 現在

		セ ン タ ー 長	相 談 員	計
予 防	現 員 (人)	(1)	2	2 (1)

※1 ()は兼務。○は非常勤の内数。

※2 基準配置については標記困難な為、現員についてのみ掲載。

(3)介護予防センター事業実施状況

実施日	内 容		参加人数
4月	2	地域福祉活動支援 自主運動サークル 金星町内会	9人
	5	介護予防教室 星置地区すこやか倶楽部 (リハ専門職による講話)	14人
	7	地域福祉活動支援 自主運動サークル さつき会	6人
	9	介護予防教室 稲穂地区すこやか倶楽部 (リハ専門職による講話)	11人
	12	地域福祉活動支援 星置老人クラブ 星置Way	50人
	14	地域福祉活動支援 金山ふれあいサロン	12人
	21	介護予防教室 金山地区すこやか倶楽部 (リハ専門職による講話)	10人
	30	地域福祉活動支援 自主運動サークル 金星町内会	7人
	会議 6回 (福まち運営会議、地区連絡会議ほか)		
	打合せ 2回 (地区組織関係機関打ち合わせほか)		
5月	19	広報紙発行 介護通信の町内回覧 (口腔と栄養)	884人
	31	介護予防教室 オンラインすこやか倶楽部 (脳トレ体操)	2人
		会議 2回 (地区連絡会議、介護予防情報交換会ほか)	
		打合せ 4回 (区内予防センター打合せほか)	
6月	18	介護予防教室 オンラインすこやか倶楽部 (脳トレ・転倒予防体操)	1人
	19	広報紙発行 介護通信の町内回覧 (熱中症対策)	884人
	25	介護予防教室 オンラインすこやか倶楽部 (リハ専門職による講話)	2人
		会議 4回 (区内介護支援専門員研修ほか)	
		打合せ 5回 (地区組織関係機関打ち合わせほか)	
7月	1	広報紙発行 介護通信の町内回覧 (ノロウイルス対策)	884人
	9	介護予防教室 オンラインすこやか倶楽部 (転倒予防、嚥下体操)	3人
	12	地域福祉活動支援 自主運動サークル 金山連長町内会	22人
	14	地域福祉活動支援 金山ふれあいサロン	12人
	15	地域福祉活動支援 自主運動サークル 火星町内会	8人
	15	地域福祉活動支援 社協登録サロン カトリア会	8人
	28	地域福祉活動支援 自主運動サークル さつき会	5人
	28	地域福祉活動支援 社協登録サロン スポーツ星置	5人
		会議 7回 (福まち運営会議、介護予防情報交換会ほか)	
	打合せ 6回 (区内予防センター打合せ)		
8月	1	広報紙発行 介護通信の町内回覧 (認知症予防の食事)	418人
	4	広報紙発行 介護通信の町内回覧 (認知症予防の食事)	468人
	9	介護予防教室 オンラインすこやか倶楽部 (上半身のストレッチ)	3人
		会議 5回 (介護予防情報交換会、区連絡会議ほか)	
		打合せ 4回 (区内関係機関打ち合わせほか)	
9月	1	広報紙発行 介護通信の町内回覧 (高血圧予防の食事①)	886人
	17	介護予防教室 オンラインすこやか倶楽部 (転倒予防ストレッチ)	3人
	24	介護予防教室 稲穂地区すこやか倶楽部 (地区ウォーキング)	4人
	27	介護予防教室 星置地区すこやか倶楽部 (地区ウォーキング)	3人
	29	介護予防教室 金山地区すこやか倶楽部 (地区ウォーキング)	6人
	30	イベント 運動チェック表まっする	6人
	30	地域福祉活動支援 自主運動サークル 稲穂市営住宅集会所 (運動チェック表まっする)	1人
	30	地域福祉活動支援 自主運動サークル さつき会 (運動チェック表まっする)	3人
		会議 5回 (機能強化業務研修会、地区連絡会議ほか)	
	打合せ 7回 (区内予防センター打ち合わせほか)		
10月	1	広報紙発行 介護通信の町内回覧 (高血圧予防の食事②)	886人
	4	介護予防教室 星置地区すこやか倶楽部 (アクリル毛糸ミニモップづくり)	10人
	5	地域福祉活動支援 自主活動化支援業務 (手稲介護予防リーダー養成講座)	3人
	6	地域福祉活動支援 自主運動サークル さつき会	9人
	6	地域福祉活動支援 社協登録サロン スポーツ星置	6人
	8	地域福祉活動支援 自主運動サークル 稲穂市営住宅集会所	12人
	8	介護予防教室 稲穂地区すこやか倶楽部 (スマホ教室)	10人
	11	地域福祉活動支援 自主運動サークル 金山連合町内会	27人
	12	地域福祉活動支援 自主活動化支援業務 (手稲介護予防リーダー養成講座)	3人
	13	地域福祉活動支援 金山ふれあいサロン	19人
	13	介護予防教室 稲穂地区すこやか倶楽部 (稲穂公園で体操)	4人
	14	地域福祉活動支援 自主運動サークル 火星町内会	11人
	14	介護予防教室 金山地区すこやか倶楽部 (金山ポプラ公園で体操)	5人
	15	地域福祉活動支援 自主運動サークル 金星町内会	10人
	15	介護予防教室 オンラインすこやか倶楽部 (雪印メグミルク健康講話)	4人
	18	地域福祉活動支援 自主運動サークル 金山連合町内会	10人
	18	介護予防教室 星置地区すこやか倶楽部 (星置公園で体操)	6人
	20	地域福祉活動支援 自主運動サークル さつき会	3人
	20	介護予防教室 金山地区すこやか倶楽部 (スマホ教室)	10人
	21	地域福祉活動支援 新日本婦人の会 たんぽぽ体操	5人
	21	文書等の支援 ウェルネスチャレンジ	1人
	21	文書等の支援 オーラルヘルスケアチャレンジ	11人
22	介護予防教室 星置地区すこやか倶楽部 (地区ウォーキング)	3人	
22	介護予防教室 稲穂地区すこやか倶楽部 (地区ウォーキング)	6人	
25	地域福祉活動支援 社協登録サロン シニア・サロン金山	24人	
26	介護予防教室 金山地区すこやか倶楽部 (地区ウォーキング)	4人	

実施日	内 容		参加人数
10月	27	地域福祉活動支援 自主運動サークル 健康運動	6人
	27	地域福祉活動支援 自主活動化支援業務（手稲介護予防リーダー養成講座）	1人
	29	地域福祉活動支援 自主運動サークル 稲穂市営住宅集会所	10人
	29	イベント 運動チェック表まっする	10人
	29	地域福祉活動支援 自主運動サークル 稲穂市営住宅集会所（運動チェック表まっする）	1人
	29	地域福祉活動支援 社協登録サロン スポーツ星置（運動チェック表まっする）	1人
		会議 4回（福まち事務局会議、生活支援推進連絡会ほか）	
	打合せ 9回（自主運動サークル代表者と打ち合わせほか）		
11月	1	広報紙発行 介護通信の町内回覧（フレイル予防体操①）	886人
	1	介護予防教室 星置地区すこやか倶楽部（すこやか食育事業）	16人
	5	介護予防教室 金山地区すこやか倶楽部（地区ウォーキング）	6人
	8	介護予防教室 稲穂地区すこやか倶楽部（稲穂公園で体操）	3人
	9	地域福祉活動支援 自主活動化支援業務（手稲介護予防リーダー養成講座）	3人
	10	地域福祉活動支援 金山ふれあいサロン	15人
	11	地域福祉活動支援 火星町内会サロン	7人
	12	地域福祉活動支援 自主運動サークル 金星町内会	9人
	12	介護予防教室 稲穂地区すこやか倶楽部（カーリンコン）	14人
	15	地域福祉活動支援 自主運動サークル 金山連合町内会	27人
	16	地域福祉活動支援 自主運動サークル 耕楽第二町内会	19人
	16	地域福祉活動支援 自主活動化支援業務（手稲介護予防リーダー養成講座）	3人
	17	地域福祉活動支援 社協登録サロン スポーツ星置	8人
	17	介護予防教室 金山地区すこやか倶楽部（カーリンコン）	9人
	18	地域福祉活動支援 社協登録サロン カトレア会	6人
	24	地域福祉活動支援 自主運動サークル さつき会	6人
	25	地域福祉活動支援 新日本婦人の会 たんぽぽ体操	8人
	26	地域福祉活動支援 自主運動サークル 稲穂市営住宅集会所	9人
	30	イベント 運動チェック表まっする	4人
	30	文書等の支援 オーラルヘルスケアチャレンジ	7人
	30	文書等の支援 ウェルネスチャレンジ	1人
	30	地域福祉活動支援 金山ふれあいサロン（運動チェック表まっする）	1人
	30	地域福祉活動支援 社協登録サロン スポーツ星置（運動チェック表まっする）	1人
	30	地域福祉活動支援 自主運動サークル さつき会（運動チェック表まっする）	1人
	30	地域福祉活動支援 自主運動サークル さつき会（オーラルヘルスケアチャレンジ）	2人
		会議 6回（福まち運営会議、地区連絡会議ほか）	
		打合せ 8回（区内予防センター打ち合わせほか）	
12月	1	地域福祉活動支援 社協登録サロン スポーツ星置	8人
	1	広報紙発行 介護通信の町内回覧（フレイル予防体操②）	886人
	2	地域福祉活動支援 自主運動サークル 稲穂市営住宅集会所	13人
	6	介護予防教室 星置地区すこやか倶楽部（サッポロスマイル体操）	14人
	7	地域福祉活動支援 火星町内会サロン	9人
	8	地域福祉活動支援 自主運動サークル パシフィック星置ヒルズマンション健康運動	7人
	8	地域福祉活動支援 金山ふれあいサロン	18人
	8	地域福祉活動支援 社協登録サロン スポーツ星置	10人
	10	地域福祉活動支援 自主運動サークル 金星町内会	8人
	10	介護予防教室 稲穂地区すこやか倶楽部（整体院による講話）	13人
	15	地域福祉活動支援 自主運動サークル さつき会	6人
	15	介護予防教室 金山地区すこやか倶楽部（整体院による講話）	9人
	17	地域福祉活動支援 自主運動サークル 金星町内会	8人
	17	地域福祉活動支援 自主運動サークル 稲穂市営住宅集会所	9人
	17	介護予防教室 オンラインすこやか倶楽部（ヤクルトによる講話）	5人
	23	地域福祉活動支援 自主運動サークル 火星町内会	8人
	30	文書等の支援 運動チェック表まっする	4人
	30	文書等の支援 オーラルヘルスケアチャレンジ	8人
	30	文書等の支援 ウェルネスチャレンジ	1人
	30	文書等の支援 栄養バランスチャレンジ	4人
	30	地域福祉活動支援 自主運動サークル さつき会（オーラルヘルスケアチャレンジ）	2人
	30	地域福祉活動支援 社協登録サロン スポーツ星置（運動チェック表まっする）	1人
		会議 6回（福まち運営会議、地区地域ケア会議ほか）	
	打合せ 1回（市内予防センター打ち合わせほか）		

実施日	内 容		参加人数
1月	4	広報紙発行 介護通信の町内回覧（フレイル予防体操③）	736人
	6	地域福祉活動支援 自主運動サークル 火星町内会	6人
	12	地域福祉活動支援 社協登録サロン スポーツ星置	5人
	13	介護予防教室 オンラインすこやか倶楽部（肩こり予防体操）	2人
	14	地域福祉活動支援 自主運動サークル 稲穂市営住宅集会所	6人
	14	介護予防教室 稲穂地区すこやか倶楽部（管理栄養士の講話）	8人
	17	地域福祉活動支援 自主運動サークル 金山連合町内会	24人
	19	地域福祉活動支援 自主運動サークル さつき会	4人
	19	介護予防教室 金山地区すこやか倶楽部（管理栄養士の講話）	6人
	20	地域福祉活動支援 社協登録サロン カトレア会	4人
	21	介護予防教室 オンラインすこやか倶楽部（ひざ痛予防体操）	4人
	26	地域福祉活動支援 社協登録サロン スポーツ星置	9人
	31	文書等の支援 オーラルヘルスケアチャレンジ	6人
	31	文書等の支援 ウェルネスチャレンジ	1人
	31	文書等の支援 栄養バランスチャレンジ	5人
		地域福祉活動支援 社協登録サロン スポーツ星置（栄養バランスチャレンジ）	2人
	会議 5回（地区連絡会議、福まち運営会議ほか）		
	打合せ 2回（市内予防センター打ち合わせ）		
2月	1	広報紙発行 介護通信の町内回覧（フレイル予防体操④）	735人
	10	介護予防教室 オンラインすこやか倶楽部（腰痛予防体操）	4人
	25	介護予防教室 オンラインすこやか倶楽部（嚙下体操）	4人
	30	文書等の支援 オーラルヘルスケアチャレンジ	6人
	30	文書等の支援 栄養バランスチャレンジ	4人
	30	地域福祉活動支援 自主運動サークル さつき会（オーラルヘルスケアチャレンジ）	1人
	会議 2回（地区連絡会議、区連絡会議ほか）		
	打合せ 3回（市内予防センター打ち合わせほか）		
3月	1	広報紙発行 介護通信の町内回覧（お薬服用トラブル）	735人
	10	介護予防教室 オンラインすこやか倶楽部（肩こり予防体操）	5人
	18	介護予防教室 オンラインすこやか倶楽部（森永乳業による講話）	5人
	24	地域福祉活動支援 自主運動サークル 火星町内会	8人
	25	地域福祉活動支援 自主運動サークル 稲穂市営住宅集会所	8人
	31	文書等の支援 ご当地クロスワードチャレンジ	3人
	31	イベント 運動チェック表まっする	1人
	31	地域福祉活動支援 栄養バランスチャレンジ	1人
		会議 3回（地域ケア推進会議、地区連絡会議ほか）	
	打合せ 2回（区内関係機関打ち合わせほか）		

2022.3.1現在

(4) 介護予防センター 相談実件数及び相談内容

電話	訪問	面接	その他	合計
39 件	1 件	6 件	0 件	46 件

相 談 内 容	
介護保険サービスの利用希望	14 件
介護保険制度	6 件
介護予防	25 件
保健福祉サービス	0 件
高齢者虐待に関すること	0 件
消費者被害に関すること	0 件
権利擁護	1 件
認知症に関すること	2 件
心身の健康に関すること	4 件
家族の疾患・障害に関すること	0 件
医療に関すること	0 件
住まいに関すること	3 件
処遇困難	1 件
苦情	0 件
その他	1 件
合計	57 件

(5) 介護予防事業実施回数及び参加人数

内 容	開催回数	参加延べ人数	平均参加人数
介護予防教室 (屋内・屋外・オンライン)	39 回	251 名	6.4 名
地域福祉活動支援	72 回	619 名	8.6 名
イベント	1 回	21 名	21.0 名
文書等の支援	4 回	62 名	15.5 名
広報紙の発行	11 回	9,288 名	844.4 名
会議及び打ち合わせ	108 回	名	名
合計	235 回	10,241 名	一開催当り 43.6 名

(重複掲載)

(6) 苦情受付件数と主な内容

0 件				
部門	苦情申出者	内 容	第3者委員等の報告	結果
予防	無		無し	

(7) 介護事故件数

	誤嚥 (誤飲・誤食・異食・窒息等)	誤薬 誤配	転倒	転落	打撲 捻挫 脱臼 変色	火傷 裂傷 皮膚剥離	無断外出 行方不明	送迎車に よる事故	自傷行為 暴力	職員言動 処遇	溺水	その他	合計
予 防	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(8) 地域における公益的な取組

<地域支援活動> ※介護予防センター事業実施状況参照 <地域活動> ・ゴミ拾いの実施(手稲駅～手稲ゆうゆう間)
--

特 養 音 更

介護老人福祉施設 ロータス音更
ロータス音更（介護予防）通所介護事業所
ロータス音更（介護予防）認知症対応型通所介護事業所

1. 重点推進課題の実施報告

(1) 介護老人福祉施設 ロータス音更

入居者のQOLを維持しながら、安心した日々を過ごしていただけるよう、入居者や家族のご希望に沿ったケアを実現する。そのために、全ての職員が目標へ向かって意識を統一し、これまで培った経験と実績を生かしたケアを心掛けるとともに、現在を上回るケアの追求に努める。

《重点推進課題》

1 個々のニーズに沿った、ケアを実施することで、価値のある時間を提供する。

入居者が日々安心して暮らすことができるよう、個々のニーズや心身の能力に応じたサービスを提供し、ケアの質を高める。そのために、根拠に基づいたケアの実施や余暇活動の見直しを行い、更に、家族と過ごす時間の提供を推進していく。

【指標・評価方法】

- ・ 「LIFE」を活用し、科学的根拠に基づいたケアを実践する。
- ・ 個別ケアを重点的に実施するため、食事や排泄、口腔ケアなどの日常のケア以外に、個々の要望や嗜好、こだわりなどのニーズを見付け、ケアへ繋げる。
- ・ 入居者や家族のご希望を汲み取る機会として、家族が参加する行事やアンケートを実施する。
- ・ 余暇活動を実施する時間の確保や入居者個人に合わせた活動を充実させるために、業務改善を図り、実施、評価を行う。

【結果】

- ・ 感染者対応や感染症予防に係る業務量の増加や入居者の3割が入れ替わる状況が重なり、稼働率の維持、向上を重視したため、部門間の調整が取れず「LIFE」の加算取得の準備が遅れたが、令和3年3月より『科学的介護推進体制加算(Ⅰ)』を取得することができた。また、『個別機能訓練加算(Ⅱ)』の取得に向け、準備を進めている。
- ・ 入居者個々のニーズの把握や個別ケアの推進について考慮した結果、在宅生活で利用していた訪問マッサージを再度利用できるよう事業所と調整を行う等、入居者のニーズに焦点をあてた支援を実現することができた。
- ・ 感染予防対策のため、家族参加の行事を中止としたが、近況報告と窓越し面会を実施することで、ご家族の希望を汲み取る機会を設けた。
- ・ 余暇活動は、感染予防対策や退職、休職、病欠などにより、ユニットや施設全体で検討する機会を設けることができず、来年度以降の課題とした。

(2) ロータス音更（介護予防）通所介護事業所

ロータス音更（介護予防）認知症対応型通所介護事業所

利用者のニーズや心身の状況、生活する環境を踏まえ、在宅生活を継続するために必要な「最適なケア」を提供するとともに、一人ひとりが安心し、且つ、楽しむことができる通所事業所を目指す。

《重点推進課題》

1 利用者一人ひとりの意思や人格を尊重した、持続可能なサービス提供を行う

- ・ 認知症やニーズに合わせた個別支援を実施するために、科学的情報システム「LIFE」を活用し、科学的根拠に基づいた支援を実施する。また、その効果を評価する体制を構築する。
- ・ 利用者が地域と繋がりながら暮らし続けることができるよう、機能訓練などの一部の活動を近隣住民やボランティア団体等と共に実施する。

【指標・評価方法】

- ・ 心身の状況や生活環境及び、疾患に合わせた活動を実施するために、「LIFE」を活用し、個々のニーズやアセスメント、実施した支援内容などを分析する。
- ・ 認知症への理解を深めるために、毎月の事例検討や認知症の評価スケールなどに関する研修へ参加するなどし、知識とスキルの向上を図る。
- ・ 花や野菜をプランターで栽培し、成長を楽しむ活動や制作活動を充実させ、達成感が得られる活動に取り組む。
- ・ 機能訓練のプログラムを充実させるために、「ふまねっと」の定期開催の継続や「運動サーキット」を実施する。
- ・ 地域住民やボランティア団体の方々を花の手入れや野菜栽培の手伝い、機能訓練プログラムなどの活動へ招待し、利用者様との交流の機会を設ける。

【結果】

- ・ LIFEの使用準備に時間を要したが、年度内に体制を整えることができたため、令和4年度から各種加算の習得を行うほか、LIFEを活用した支援内容の分析を行う。
- ・ 認知症の研修や事例検討を定期的に開催し、そこで検討した内容を取り入れたケアを実践した結果、認知症状の緩和に繋げることができた。この体験から、自らのケアに自信を持つことができた職員達は、積極的に意見交換を行うようになり、効果的な支援をすることができる場面が増えた。
- ・ 機能訓練やレクリエーションは、利用者のニーズに合わせ、屋外での園芸活動やWEBでの旅行、ドックセラピー、音楽活動などを実施し、好評を得られた。
- ・ 町内の住民を招待した交流会については、新型コロナウイルス感染症の予防のため、全て中止とした。

2 介護老人福祉施設・(介護予防)短期入所生活介護・

(介護予防)通所介護・(介護予防)認知症対応型通所介護の運営

(1)施設の開設

介護保険法第70条第1項（第79条第1項・第86条第1項・第94条第1項・第107条第1項・第115条の2第1項）の規定に基づき、平成20年4月17日付で北海道に対し指定（許可）申請を行い、平成20年4月28日付（老人福祉法第15条第4項）で認可を受け、同平成20年4月28日付で介護保険法第48条第1項第1号の指定介護老人福祉施設として指定された。

平成21年2月1日、標準型（介護予防）通所介護1日定員15名を開設。

平成22年3月1日、標準型（介護予防）通所介護1日定員を20名に変更。

平成22年8月1日、標準型（介護予防）通所介護1日定員を25名に変更

平成30年1月1日、標準型（介護予防）通所介護1日定員を30名に変更

平成30年1月1日、標準型（介護予防）通所介護1日定員を30名に変更

令和 3年2月1日、介護老人福祉施設の定員を80床、短期入所生活介護を空床型に変更

概要は、次のとおり

施設 の 名称 介護老人福祉施設 ロータス音更

施設 の 所在地 河東郡音更町中鈴蘭元町2番地9

施設 の 種類 介護老人福祉施設
(介護予防)短期入所生活介護
通所介護
第一号通所事業
(介護予防)認知症対応型通所介護

入 所 定 員 80名(空床型ショートステイ)

通 所 定 員 標準型30名・認知症型12名(1日当たり)

(2)施設職員の配置状況

(R4.3.31 現在)

		施 設 長	医 師	事 務 員	生 活 相 談 員	介 護 職 員	看 護 職 員	管 理 栄 養 士	栄 養 士	介 護 支 援 専 門 員	機 能 訓 練 指 導 員	介 助 員	介 護 ア シ ス タ ン ト	夜 間 警 備 員	調 理 員	計	
入 所	基準数(人)	1	1 ①		1	24	3	1		1	1					33 ①	
	現員(人)	1 (1)	1 ①	2 (1)	2 (1)	50 ⑩	5	1		2 (2)	1	4 ④		2 ②	委 託	72 ⑭	
通 所	一 般 型	基準数(人)	1			1	3	1				1					7
		現員(人)	1 (1)			5 (5)	5 (5)③	3 (3)②	1 (1)			3 (3)②				委 託	17 ⑦
	認 知 症 型	基準数(人)	1			1	2	1				1					5
		現員(人)	1 (1)			4 (4)	6 (6)④	3 (3)②	1 (1)			3 (3)②				委 託	18 ⑧

* ()は兼務。○は非常勤の内数。

(3) 行事实施状況表(入居)

月	実施日	内 容	場 所	参加人数
4月	27日	ユニットレク(園芸)	はなもくユニット パルコニー	15名
5月	28日	ユニットレク(アロママッサージ)	きたななユニット	19名
6月	11日	ユニットレク(動画鑑賞)	やままるニット	16名
	21日	ユニットレク(映画鑑賞)	きたななユニット	12名
	30日	ユニットレク(風船バレー)	はなもくユニット	18名
7月	6日	調理レク(おやつバイキング)	やますずユニット	17名
	21日	調理レク(パフェ)	すずかけのきユニット	18名
	23日	ユニットレク(風船バレー)	きたななユニット	17名
	24日	ユニットレク(貼り絵)	やままるニット	19名
	27日	調理レク(パフェ)	はなもくユニット	19名
8月	5日	ユニットレク(七夕 短冊作成)	やままるニット	15名
	16日	調理レク(カクテルゼリー)	はなもくユニット	19名
	17日	納涼会(すいか割り)	やますずユニット	20名
	27日	ユニットレク(縁日)	やままるニット	14名
	30日	音楽レク	ななかまどユニット	17名
9月	17日	ユニットレク(生け花)	やままるニット	20名
	22日	ユニットレク(DVD鑑賞)	やまぐわユニット	20名
	29日	ユニットレク(体操・カルタ)	きたななユニット	17名
10月	13日	ユニットレク(習字とおやつレク)	やままるニット	20名
	22日	調理レク(ホットケーキ)	すずかけのきユニット	20名
	26日	『秋のお菓子・歌の会』(菓子の提供、動画視聴)	はなもくユニット	20名
	31日	『ハロウィン・収穫祭』(ビンゴゲーム)	やますずユニット	20名
	31日	『ハロウィン・収穫祭』(ヨーヨー釣り・千本くじ)	きたななユニット	19名
	31日	『ハロウィン・収穫祭』(栗、柿拾いゲーム)	やままるニット	20名
11月	15日	ユニットレク(クリスマスリース作り)	やままるニット	16名
	17日	ユニットレク(クリスマスツリー作り)	すずかけのきユニット	19名
	30日	ユニットレク(落ち葉かきゲーム)	きたななユニット	17名
12月	21日	『忘年会』(鍋の提供、ボーリングレク)	やますずユニット	20名
	27日	『忘年会』(寄せ鍋)	きたななユニット	19名
	28日	『忘年会』(おでんの提供)	はなみずきユニット	17名
	29日	『忘年会』(寄せ鍋)	やままるニット	20名
1月	9日	ユニットレク(福笑い)	やままるニット	19名
	22日	ユニットレク(風船バレー)	2階エレベーターホール	16名
	26日	ユニットレク(福引きゲーム)	きたななユニット	19名
2月	28日	ユニットレク(動画鑑賞)	きたななユニット	20名
3月	30日	ユニットレク(花束作り・おやつレク)	やままるニット	20名
	31日	ユニットレク(春の作品作成)	きたななユニット	19名

(3)行事実施状況表 (通所)

月	実施日	内 容	場 所	参加人数
4月	14日.26日	ライラックカフェ	デイルーム	76名
5月	26日	農園・園芸活動	デイベランダ	19名
	3日～8日	母の日週間	デイルーム	88名
	5日	入浴行事(菖蒲湯)	デイ浴室	33名
	28日	オンライン体操レクイベント	デイルーム	33名
	22日.28日	ライラックカフェ	デイルーム	66名
6月	14日～19日	父の日週間	デイルーム	22名
	10日・22日	ライラックカフェ	デイルーム	60名
	30日	オンライン音楽イベント	デイルーム	27名
7月	27.29日	夏祭り週間	デイルーム	96名
	5日.14日	ライラックカフェ	デイルーム	55名
8月	4日～7日	夏祭り週間	デイルーム	104名
	5日.21日	ライラックカフェ	デイルーム	64名
9月	14日～20日	敬老会週間	デイルーム	190名
	14日.20日	ライラックカフェ	デイルーム	61名
10月	29日	ハロウィン	デイルーム	38名
	6日.22日	ライラックカフェ	デイルーム	66名
11月	11日.30日	ライラックカフェ	デイルーム	60名
12月	7日～30日	クリスマス忘年会	デイルーム	195名
	22日	入浴行事(ゆず湯)	デイ浴室	33名
	17日.30日	カフェライラック	デイルーム	52名
1月	21日	冬の昼食行事		37名
	11日.26日	ライラックカフェ	デイルーム	64名
	27日	オンラインレク(落語・ドッグセラピー)	デイルーム	20名
2月	28日	ライラックカフェ	デイルーム	36名
3月	3日	ひな祭りレク	デイルーム	30名
	30日	オンラインレク(お花見ツアーin小田原城)	デイルーム	29名
	9日.24日	ライラックカフェ	デイルーム	67名

(4) 利用者の状況

ア. 年齢別構成状況(人)

	未満 5 64	65 5 69	70 5 74	75 5 79	80 5 84	85 5 89	90 5 94	95 以上	合計	最低 年齢	最高 年齢	平均 年齢	前年 平均
男	0	0	1	3	3	3	2	2	14	72	97	84.3	86.5
女	1	0	2	7	7	16	17	10	60	61	101	88.3	89.5
計	1	0	3	10	10	19	19	12	74			87.5	88.8

イ. 要介護度別利用者状況(延人数)

性別	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計	平均	前年平均
男	0	90	1,737	2,686	1,127	5,640	3.86	3.66
女	365	674	7,402	8,758	4,122	21,321	3.73	4.30
計	365	764	9,139	11,444	5,249	26,961	3.76	4.20

ウ. 介護保険者別構成状況(人)

	音更町	帯広市	芽室町	幕別町	鹿追町	士幌町	新得町	浦幌町	大阪府堺市	合計
男	8	5	0	1	0	0	0	0	0	14
女	39	16	1	0	1	1	0	1	1	60
計	47	21	1	1	1	1	0	1	1	74

エ. 入所者所得段階(人)

	第1段階	第2段階	第3段階①	第3段階②	第4段階	合計
男	1	2	3	3	5	14
女	4	12	11	20	13	60
計	5	14	14	23	18	74

オ. 健康保険加入状況(人)

	後期高齢者医療制度	国民健康保険	社会保険	組合健康保険	生活保護	合計
男	12	1	0	0	1	14
女	52	4	0	0	4	60
計	64	5	0	0	5	74

カ. 在所者利用期間別構成状況(人)

	1年未満	1~2	2~3	3~4	4~5	5~6	6~7	7~8	8~9	9~10	10年以上	合計
男	4	4	2	2	1	1	0	0	0	0	0	14
女	19	14	3	4	3	4	2	2	1	3	5	60
計	23	18	5	6	4	5	2	2	1	3	5	74

キ. 障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)(人)

	自立	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	合計
男	0	0	0	0	6	2	5	0	1	14
女	0	1	2	6	11	3	27	3	7	60
計	0	1	2	6	17	5	32	3	8	74

ク. 認知症高齢者の日常生活自立度(人)

	自立	I	IIa	IIb	IIIa	IIIb	IV	M	合計
男	0	1	0	4	7	1	1	0	14
女	2	1	2	20	25	2	8	0	60
計	2	2	2	24	32	3	9	0	74

ケ. 栄養関係加算状況(延人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
療養食加算	270	193	245	352	380	385	455	475	552	437	418	463	4,625

コ. 通院状況(延人数)

	内科	精神科	循環器科	呼吸器科	外科	整形外科	形成外科	脳外科	皮膚科	泌尿器科	婦人科	眼科	耳鼻科	歯科	合計
男	21	14	0	0	6	2	0	9	0	4	0	2	1	0	59
女	49	11	6	3	34	23	0	2	1	7	0	4	8	1	149
計	70	25	6	3	40	25	0	11	1	11	0	6	9	1	208

(重複掲載)

サ. 往診状況(延人数)

	内科	歯科	眼科	皮膚科	合計
男	369	148	0	48	565
女	1,377	304	0	145	1,826
計	1,746	452	0	193	2,391

(重複掲載)

シ. 入所・短期利用状況

利用状況	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年合計
	日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	28	31	365	
入所利用延人数	2,116	2,156	2,094	2,241	2,286	2,203	2,307	2,202	2,301	2,310	2,079	2,247	26,542	25,335
短期利用延人数	133	108	102	88	123	116	128	129	129	114	92	116	1,378	1,788
1日平均人数	74.97	73.03	73.20	75.13	77.71	77.30	78.55	77.70	78.39	78.19	77.54	76.23	76.49	74.31
入所率(%)	93.71	91.29	91.50	93.91	97.14	96.63	98.19	97.13	97.98	97.74	96.92	95.28	95.62	92.89

ス. 入退所状況(人)

入所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年合計	
	家庭	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0		3
病院	0	1	0	3	2	0	0	0	0	1	0	0	7	6	
他施設	3	1	3	2	1	1	0	3	1	0	0	2	17	10	
合計	3	3	3	6	3	1	0	3	2	1	0	2	27	22	
退所	家庭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	病院	1	0	2	1	0	1	0	0	0	0	1	6	3	
	他施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	死亡	3	2	3	1	0	0	1	2	2	1	0	2	17	
	合計	4	2	5	2	0	1	1	2	2	1	0	3	23	

セ. 入所待機者状況(人)

	要支援1	要支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
男	0	0	0	0	15	19	10	44
女	0	0	0	0	28	23	10	61
計	0	0	0	0	43	42	20	105

ソ. 入所者・利用者減免状況

	入所減免額			(予防)短期減免額			(予防)通所減免額										合計 (円)
	通常減免		1件当平均 (円)	通常減免		1件当平均 (円)	(一般型)				(認知症型)				1件当平均 (円)		
	件数	金額(円)		件数	金額(円)		通常減免		特別減免		通常減免		特別減免				
			件数			金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)					
4月	10	187,803	18,780	2	12,844	6,422	4	16,288	56	70,444	0	0	21	101,228	2,320	388,607	
5月	11	210,460	19,133	1	4,920	4,920	4	17,666	58	76,330	0	0	21	109,684	2,454	419,060	
6月	11	212,403	19,309	2	14,484	7,242	4	16,890	55	69,179	0	0	22	102,868	2,333	415,824	
7月	11	219,583	19,962	2	12,024	6,012	4	16,993	50	68,560	0	0	22	95,488	2,382	412,648	
8月	11	219,583	19,962	2	11,493	5,747	3	11,817	52	87,261	0	0	24	104,393	2,576	434,547	
9月	12	218,960	18,247	2	12,364	6,182	3	10,396	51	86,128	0	0	23	106,508	2,637	434,356	
10月	12	226,037	18,836	2	17,283	8,642	3	10,233	51	84,028	0	0	22	117,076	2,781	454,657	
11月	12	218,910	18,243	2	13,952	6,976	3	7,538	53	74,740	0	0	20	111,155	2,545	426,295	
12月	12	226,201	18,850	2	16,463	8,232	3	10,388	47	74,543	0	0	23	123,726	2,858	451,321	
1月	13	251,613	19,355	3	20,034	6,678	3	10,276	48	70,023	0	0	22	109,775	2,604	461,721	
2月	13	227,251	17,481	2	18,741	9,371	3	7,567	40	46,759	0	0	22	88,640	2,199	388,958	
3月	13	242,987	18,691	2	14,003	7,002	2	9,877	44	70,915	0	0	22	119,409	2,944	457,191	
合計	141	2,661,791	18,878	24	168,605	7,025	39	145,929	605	878,910	0	0	264	1,289,950	30,633	5,145,185	

タ. (介護予防)通所実施状況

1)一般型

	登録人数	開放日数	利用人員	一日平均人数	利用率(%)	介護度別延べ人数(人)							サービス状況(回)		
						要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	入浴	食事	個別機能訓練
4月	101	26	703	27.04	90.1	27	120	327	194	16	19	0	648	701	231
5月	99	26	673	25.88	86.3	14	115	315	197	17	15	0	624	673	228
6月	96	26	671	25.81	86.0	15	115	319	203	9	10	0	620	678	241
7月	99	27	693	25.67	85.6	14	109	338	212	14	6	0	630	694	275
8月	99	26	686	26.38	87.9	17	104	335	212	13	5	0	620	686	267
9月	98	26	709	27.27	90.9	25	111	357	200	13	3	0	632	709	267
10月	98	26	734	28.23	94.1	26	107	380	200	18	3	0	654	733	260
11月	98	26	678	26.08	86.9	27	98	375	160	17	1	0	607	686	230
12月	95	26	663	25.50	85.0	29	95	370	148	18	3	0	592	663	252
1月	91	25	603	24.12	80.4	20	83	344	135	20	1	0	543	602	225
2月	87	21	370	17.62	58.7	13	43	192	104	17	1	0	329	370	126
3月	87	27	593	21.96	73.2	27	73	329	142	9	0	13	529	593	235
合計	308	7,776	25,25	84.16	254	1,173	3,981	2,107	181	67	13	7,028	7,788	2,837	
前年合計	308	7,459	24.22	80.73	148	1,280	3,888	1,867	97	142	37	7,081	7,420	2,758	

2)認知症対応型

	登録人数	開放日数	利用人員	一日平均人数	利用率(%)	介護度別延べ人数(人)							サービス状況(回)			
						要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	入浴	食事	個別機能訓練	若年性受入加算
4月	24	26	220	8.46	70.51	0	0	66	91	32	16	15	174	216	216	0
5月	25	26	229	8.81	73.40	0	0	76	74	33	17	29	174	229	227	0
6月	26	26	218	8.38	69.87	0	0	76	65	32	13	32	166	218	218	0
7月	26	27	204	7.56	62.96	0	0	68	69	31	13	23	164	204	203	0
8月	28	26	213	8.19	68.27	0	0	82	79	25	13	14	168	213	210	0
9月	27	26	224	8.62	71.79	0	0	97	79	21	13	14	183	223	224	0
10月	26	26	241	9.27	77.24	0	0	101	81	32	13	14	197	241	241	0
11月	25	26	231	8.88	74.04	0	0	109	56	41	13	12	188	231	231	0
12月	28	26	272	10.46	87.18	0	0	131	58	58	0	25	221	272	272	0
1月	28	25	223	8.92	74.33	0	0	110	44	50	0	19	196	234	234	0
2月	28	21	198	9.43	78.57	0	0	98	46	43	0	11	162	197	197	0
3月	28	27	265	9.81	81.79	0	0	131	52	61	0	21	224	265	265	0
合計	308	2,738	8.89	74.08	0	0	1,145	794	459	111	229	2,217	2,743	2,738	0	
前年合計	308	3,090	10.03	83.60	0	0	1,223	834	819	130	84	2,731	3,086	3,054	0	

(5) 苦情受付件数と主な内容

0 件						
部門	苦情申出者	内 容			第3者委員等の報告	結果

(6) 介護事故件数

重大事故 (行政報告)		誤嚥 (誤飲・誤食・異食・窒息等)	誤薬 誤配	転倒	転落	打撲 捻挫 脱臼 変色	火傷 裂傷 皮膚剥離	無断外出 行方不明	送迎車に よる事故	自傷行為 暴力	職員言動 処遇	溺水	その他	合計
	入所	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	短期	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	通所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	認知通所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3	

事故 (施設内処理)		誤嚥 (誤飲・誤食・異食・窒息等)	誤薬 誤配	転倒	転落	打撲 捻挫 脱臼 変色	火傷 裂傷 皮膚剥離	無断外出 行方不明	送迎車に よる事故	自傷行為 暴力	職員言動 処遇	溺水	その他	合計
	入所	4	9	24	17	0	27	1	0	0	0	0	64	146
	短期	0	1	6	4	0	1	0	0	0	0	0	2	14
	通所	0	1	15	2	0	2	0	0	0	0	0	12	32
	認知通所	0	0	3	0	0	0	1	1	1	0	0	2	8
合計	4	11	48	23	0	30	2	1	1	0	0	80	200	

ヒヤリハット		誤嚥 (誤飲・誤食・異食・窒息等)	誤薬 誤配	転倒	転落	打撲 捻挫 脱臼 変色	火傷 裂傷 皮膚剥離	無断外出 行方不明	送迎車に よる事故	自傷行為 暴力	職員言動 処遇	溺水	その他	合計
	入所	6	4	37	23	0	0	0	0	0	0	0	8	78
	短期	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4
	通所	0	1	12	0	0	0	0	0	0	0	2	2	17
	認知通所	0	0	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	7
合計	6	6	57	24	0	0	0	0	0	0	2	11	106	

(7) 慰問・ボランティア状況

	名 前	内 容	来 所 日	延べ人数
学校関係	無し			名
				名
				名
慰問関係	無し			名
				名
				名
その他	大福 順一	車椅子修理 清掃ボランティア	4月6日～(延べ70日)	1名
				名
				名
合計			延べ人数(団体)	0名
			〃 (個人)	1名
			〃 合計	1名

(あんじゅ音更と重複掲載)

(8) 実習生受入れ状況

受入期間	人 数	受入日数	延べ人数	学 校 名	学 部 ・ 学 科	実 習 内 容
R 3. 7. 26 ~ R 3. 8. 6	2	10	20	帯広大谷短期大学	社会福祉課	介護実習
R 3. 8. 23 ~ R 3. 9. 17	2	20	40	帯広大谷短期大学	社会福祉課	介護実習
R 3. 11. 15 ~ R 3. 11. 19	2	5	10	帯広大谷短期大学	生活科学科栄養士課程	給食管理実習
合 計	6	35	70			

(9) 地域における公益的な取組

新型コロナウイルス感染症予防対策のため、実施事例無し。

音更町地域包括支援センター ロータス音更

1. 重点推進課題の実施報告

(1) 音更町地域包括支援センター ロータス音更

音更町のC圏域における介護・福祉行政の一翼を担う公的機関として、公正で中立性の高い事業運営を行う。各専門職が相互に連携するとともに、地域福祉を支える様々な関係者と密接な連携を図り、地域住民が住み慣れた場所で生活することが持続可能な地域を目指す。

《重点推進課題》

1 地域の特性を踏まえ、地域住民や多職種との連携により、地域課題を把握する。

地域住民や関係機関とのネットワークを構築し、地域課題を抽出し地域における持続可能な開発目標の達成を目指す。

【指標・評価方法】

- ① 下記の7つの業務を円滑に行い、地域包括支援センター ロータス音更が地域拠点の総合相談の拠点として機能していく。
 - 1) 介護予防ケアマネジメント業務
 - 2) 総合相談支援業務
 - 3) 権利擁護業務
 - 4) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務
 - 5) 認知症施策の推進業務
 - 6) 在宅医療・介護連携の推進業務
 - 7) 地域ケア会議開催業務
- ② 新型コロナウイルス感染症対策を十分に行いながら、地域における高齢者がどのような支援が必要か地域住民や関係機関とともに実態把握に努め、高齢者の状態の変化に応じたケアマネジメント等を提供していく。

【結果】

- ① 音更町から事業を引き継ぎ2年目となり、地域包括支援センター周知のためのリーフレット配布や各関係機関からの情報提供等により、包括支援センターが地域の総合相談窓口であることが周知され、様々な内容の相談があった。

ケアマネジメント業務では、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策のため一堂に会す会議に限られる中で、関係機関と密に連絡を取り情報共有を図り、サービス提供が滞らないよう努めた。また、配食サービスやSOSネットワーク等のインフォーマルサービスを取り入れた地域に於ける地域資源を有効的に活用したケアマネジメントを展開することができた。

権利擁護業務では、町・社会福祉協議会等の関係機関と連携を取り、成年後見制度の申立て準備から審判まで携わるケースがあり、町・社会福祉協議会・各関係機関等と密に情報を共有し、一体となり対象者を支援することができた。

在宅医療・介護連携に関しては、バイタルリンクの活用件数は前年比で3件増え、計4件となった。また入退院に関しては、各医療機関に圏域の周知が図れており、円滑に入退院に関する情報を共有することができ、介護認定申請やサービス導入に際しては医療機関との連携を図り、必要なサービスに速やかにつなげることができた。

地域ケア会議の開催については、音更町主催で行われた自立支援型個別ケア会議に参加した。多職種での事例検討については、Zoomを活用し各専門職から助言を頂き、より多角的観点からケアマネジメントについて検討することができた。また課題支援型個別ケア会議については、適宜関係機関と協議しながら開催し、早期課題解決に向けた支援体制を構築することができた。

- ② 今年度についても、新型コロナウイルス感染症拡大により、研修会や出前講座が相次ぎ延期・中止となったが、民生委員との意見交換会では代表職員1名が参加し、関係委員と対面する機会を持つことができた。また当事業所より地域への訪問は、感染予防の観点から積極的に行えなかったが、適宜各地区の民生委員等から地域住民に対する情報提供があり、相談対応や訪問対応するケースが増え、地域の実態把握や介護認定の申請・各種関係機関につなげる役割を果たすことができた。

1 利用者状況（介護給付実績 ケアマネジメントA）

包括担当	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		計	前年
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
要支援1	10	23	11	25	10	25	9	27	8	29	7	29	10	30	13	28	14	29	16	34	16	36	16	37	492	347
要支援2	4	26	6	25	6	25	7	23	8	25	8	26	8	29	7	30	7	33	8	34	7	29	8	29	418	378
計	63	67	66	66	70	70	77	78	83	92	88	90	910	725												
初回加算	4	5	0	2	6	2	9	6	7	10	2	4	57	87												
終了者 （前月末）	要介護	2	1	1	0	1	0	1	2	1	2	2	0	13	17											
	施設入所	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2	2											
	死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	6											
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	6											
	計	2	1	1	0	2	0	1	3	1	2	2	1	16	29											

居宅委託	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		計	前年
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
要支援1	6	14	6	13	7	13	6	15	4	16	4	15	4	16	4	18	4	18	5	19	4	19	5	17	252	278
要支援2	8	40	10	41	10	39	10	36	10	33	9	34	8	34	5	32	4	31	4	30	3	28	4	31	494	609
計	68	70	69	67	63	62	62	59	57	58	54	57	746	887												

2 利用者状況（音更町通所型介護予防事業 ケアマネジメントB）

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		計	前年
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
事業対象者	0	4	0	4	0	4	0	4	0	4	0	4	0	4	0	3	0	3	0	3	0	3	0	3	43	78
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	12	5
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
要介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
計	4	4	4	4	4	4	4	5	5	5	5	5	55	90												
初回加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14												
終了者 （前月末）	要介護	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4
	施設入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	計	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	7										

3 相談件数・内訳

相談件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年
新規	35	23	33	23	11	32	25	31	20	15	17	22	287	272
継続	8	7	18	12	13	15	29	12	15	16	13	17	175	121
計	43	30	51	35	24	47	54	43	35	31	30	39	462	393

受付時間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年
平日	42	27	49	34	23	45	54	40	33	25	28	38	438	388
休日	0	2	0	0	0	1	0	2	2	4	2	0	13	1
夜間	1	1	2	1	1	1	0	1	0	2	0	1	11	4
早朝・深夜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	43	30	51	35	24	47	54	43	35	31	30	39	462	393

相談方法	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年
電話	18	14	25	12	5	17	27	12	16	14	8	10	178	174
来所	21	12	19	18	12	24	15	21	13	14	18	24	211	143
訪問	4	4	7	5	7	6	12	10	6	3	4	5	73	76
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	43	30	51	35	24	47	54	43	35	31	30	39	462	393

相談者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年
本人	6	3	5	3	3	4	7	6	3	1	1	5	47	42
家族・親族	26	20	25	17	16	28	31	30	14	21	15	19	262	202
関係委員	1	0	0	1	0	1	2	1	0	1	0	2	9	11
医療機関	5	2	7	1	0	5	1	4	8	2	4	5	44	43
近隣知人	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	3	4
行政	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	1	0	4	5
居宅介護支援事業所	4	4	9	12	4	5	6	2	8	5	7	7	73	72
介護サービス事業所・施設	1	0	2	1	0	3	2	0	1	1	1	0	12	8
地域包括支援センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	3
民間業者	0	1	2	0	1	1	1	0	1	0	0	0	7	3
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
警察	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	43	30	51	35	24	47	54	43	35	31	30	39	462	393

相談内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年
認定申請	33	21	31	28	18	31	31	31	28	22	22	32	328	268
介護保険	24	17	23	20	15	30	33	29	18	13	16	20	258	133
総合事業	0	1	1	0	0	0	3	4	1	0	1	3	14	2
認知症	1	2	1	0	0	1	2	0	2	1	2	1	13	14
施設サービス	0	0	1	0	0	0	2	2	2	1	1	1	10	11
介護保険外サービス	0	2	3	0	3	4	4	5	1	1	1	3	27	16
苦情	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
権利擁護	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	3
地域資源	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
その他	0	0	1	0	0	0	2	1	0	2	1	1	8	5

心配な人 (SOS)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
心配な人 (安否確認)	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	3	2
心配な人 (認知・精神)	0	1	0	0	0	1	2	0	0	1	0	1	6	8
心配な人 (生活困難)	1	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	4	4
心配な人 (その他)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医療・介護 (退院支援)	1	1	3	0	0	1	1	1	6	1	2	3	20	20
医療・介護 (制度・サービス)	4	1	3	1	0	3	0	1	3	2	3	2	23	10
医療・介護 (在宅療養)	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	2	3
医療・介護 (その他)	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	3	0
事業所相談 (ケアマネジメント)	0	0	0	0	0	0	2	1	0	2	1	0	6	9
事業所相談 (ケース対応・困難事例)	0	0	1	0	0	0	1	0	2	0	1	0	5	4
事業所相談 (その他)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	64	46	71	50	36	75	83	79	63	46	52	68	733	513

対応方法	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年
制度や対応の説明	29	19	26	18	18	33	40	35	21	22	16	26	303	148
認定調査	22	18	26	26	16	30	21	27	19	17	19	20	261	248
家庭訪問	5	2	8	2	5	3	15	3	2	2	1	5	53	44
連絡調整	0	5	7	5	5	7	9	3	0	4	2	0	47	32
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	3	5
心配な人 (家庭訪問)	0	1	1	1	0	1	1	0	0	1	0	0	6	3
心配な人 (対応説明)	1	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	1	5	1
心配な人 (連絡調整)	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2	9
心配な人 (SOS)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医療・介護 (制度や対応の説明)	5	2	6	1	0	4	1	4	9	2	6	5	45	25
医療・介護 (ケアマネ調整)	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	7
医療・介護 (家庭訪問)	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	1
苦情 (事業所への指導・助言)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
苦情 (当事者間の調整)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
苦情 (相談者に説明・助言)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
苦情 (他機関を紹介)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
苦情 (道へ通報)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
苦情 (謝罪・対応)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業所相談 (助言・指導)	0	0	1	0	0	0	3	1	2	2	2	0	11	13
事業所相談 (継続支援)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業所相談 (保険者回答)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	62	47	76	53	44	80	91	75	53	52	47	59	739	536

4 訪問件数・内訳

訪問件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年
アセスメント	25	18	20	25	16	29	24	29	21	16	16	27	266	131
ケアマネジメントA	44	45	42	55	67	51	52	51	55	68	49	52	631	596
ケアマネジメントB	1	0	0	0	0	3	0	0	0	0	2	4	10	49
サービス未利用者	0	0	2	7	8	6	4	9	4	3	0	0	43	26
継続支援	13	14	11	6	7	2	0	3	3	2	2	2	65	58
認知症初期集中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
困難事例	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
権利擁護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
虐待	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
安心ネットワーク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23
計	83	77	75	93	98	91	80	92	83	89	69	85	1015	885

5 認定調査件数

認定調査件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年
新規調査	18	10	9	14	12	22	18	18	22	8	15	12	178	162
区分変更調査	6	8	9	13	10	9	6	3	5	8	3	8	88	85
更新調査	8	5	10	9	12	14	5	7	13	12	17	16	128	69
計	32	23	28	36	34	45	29	28	40	28	35	36	394	316

6 地域活動

2021年11月15日(月) 11時0分～11時40分

開催場所 音更町木野コミュニティーセンター

対象者 木野新町ひまわり会

参加人数 24名

内容 体とお口をきたえていきいきと(運動講座)

担当職員 包括主任・包括看護師 / 講師:老健音更主任・副主任

あんじゅ音更 指定居宅介護支援事業所

1. 重点推進課題の実施報告

(1) あんじゅ音更指定居宅介護支援事業所

利用者が可能な限りその居宅において、本人の有する能力に応じ自立した生活を営むことができるよう配慮し、利用者の心身の状況や生活環境等に適したサービスを選択できるよう支援する。また保健・医療・福祉サービス事業者と協働し、総合的かつ効果的な介護サービス計画に基づいて介護サービスが提供されるよう配慮して支援を行う。

《重点推進課題》

1 事業所内の意見交換や情報共有を積極的に行い、介護支援専門員が個々で不安や疑問を抱え込むことがない環境づくりを目指す。

事業所内の介護支援専門員が協力し合うことで、個々の身体的・精神的負担を軽減することができ、それにより更に質の高いケアマネジメントの提供が可能となる。

【指標・評価方法】

- ① 困難な事例だけでなく、日常の疑問点や迷いなどを、事業所内で共有することにより、多角的観点から検証し、解決していく力を身に付ける。
- ② 介護支援専門員それぞれが設定した個人目標に則った研修を計画・実行し、介護支援専門員全員で知識を共有し、資質の向上を図る。
- ③ 適切なケアマネジメントを行うため、事業所内での会議や地域の連絡会議へ参加する機会を大切にし、社会資源や要介護者の動向を把握するよう努める。
- ④ 事業所内のアセスメントツール(様式)を再検討し、アセスメント業務の効率化を図る。

【結果】

- ① ケアマネ個人が感じる疑問点、迷いは事業所内で確認できた。困難な事例に関して、担当者を変更することで、視点を変えて解決策を探ることができた。その上で、解決できない場合は行政を含め、地域包括支援センターなどに相談し、ケアマネ個人のスキルアップと利用者自身の課題解決に結びつく結果を導くことができた。
- ② 新型コロナウイルス感染症の影響により、外部研修は主に ZOOM による研修であった。事業所全体で参加する機会が増え、資質の向上を図り、知識を深めることができた。
- ③ 事例検討会の実施や、ケアマネ連絡会に参加することで、町内の様子や社会資源の動向を把握することができ、各種情報を共有することができた。その結果、各々のケアマネジメント作成に有効活用することができている。
- ④ 勉強会を通じアセスメントツールの使い方を再確認し、理解を深めることができた。検討の結果、既存のアセスメントツールを適切に活用することで、生活課題が明確になり、効率よくケアマネジメント行うことができている。

2 居宅介護支援の運営

(1) 事業所の開設

第二種社会福祉事業として居宅介護支援事業は、介護保険法に基づき平成18年2月1日に開設した。

利用者が要介護状態になった場合、適切でかつ速やかに介護支援を受けることが出来るように、利用者の選択に基づき保健サービス及び福祉サービスが総合的・効率的に提供できるように運営。

概要は、次のとおり

施設 の 名 称 あんじゅ音更 指定居宅介護支援事業所
 施設 の 所 在 地 河東郡音更町中鈴蘭元町2番地9
 施設 の 種 類 居宅介護支援

(2) 施設職員の配置状況 2022.3.31 現在

		管 理 者	主任 介 護 支 援 専 門 員	介 護 支 援 専 門 員	計
居 宅	現 員	1	2	3	6
	(人)	(0)	(0)	(0)	(0)
		1	2	3	6

※1 ()は兼務。○は非常勤の内数。

※2 基準配置については標記困難な為、現員についてのみ掲載。

(3) 居宅介護支援事業所 相談実件数及び相談内容

電話	来所	訪問	合計
251 件	5 件	3,560 件	3,816 件

介護保険関係						合計
制度全般	認定申請	在宅サービス	施設サービス	保険・利用料等	相談・苦情	
4 件	13 件	230 件	44 件	0 件	3 件	294 件

地域・福祉・医療関係						合計
高齢者福祉	障害制度	通院・入退院	介護予防	地域支援	その他	
13 件	0 件	55 件	0 件	1 件	32 件	101 件

(重複掲載)

(4) 介護度別 居宅介護サービス計画作成状況

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	前年合計
4月	20 件	27 件	116 件	52 件	17 件	8 件	3 件	243 件	240 件
5月	20 件	27 件	113 件	53 件	17 件	9 件	3 件	242 件	232 件
6月	20 件	26 件	116 件	49 件	18 件	7 件	2 件	238 件	235 件
7月	19 件	24 件	119 件	52 件	18 件	8 件	2 件	242 件	240 件
8月	19 件	24 件	123 件	57 件	18 件	7 件	3 件	251 件	238 件
9月	19 件	23 件	133 件	55 件	16 件	8 件	4 件	258 件	237 件
10月	19 件	22 件	134 件	49 件	15 件	9 件	3 件	251 件	253 件
11月	19 件	21 件	135 件	48 件	15 件	8 件	3 件	249 件	250 件
12月	19 件	21 件	132 件	51 件	15 件	10 件	3 件	251 件	240 件
1月	16 件	22 件	124 件	51 件	16 件	11 件	3 件	243 件	233 件
2月	15 件	20 件	123 件	48 件	16 件	9 件	1 件	232 件	232 件
3月	14 件	22 件	119 件	45 件	15 件	9 件	5 件	229 件	239 件
合計	219 件	279 件	1,487 件	610 件	196 件	103 件	35 件	2,929 件	2,869 件

(5) 地域における公益的な取組

音更町内居宅介護支援事業所との合同事例検討会の開催(感染症拡大防止のため、今年度中止)
 介護支援専門員現場実習事業による実習生受け入れ(今年度受け入れ実績なし)

老 健 音 更

老人保健施設 あんじゅ音更
あんじゅ音更(介護予防)通所リハビリテーション事業所
あんじゅ音更(介護予防)訪問リハビリテーション事業所

1. 重点推進課題の実施報告

(1) 老人保健施設 あんじゅ音更

新型コロナウイルスのクラスターにより得た知識や経験から学んだことを生かし、職員が一人丸となって「感染に強い施設」「安心・安全な環境の中でご利用者様の笑顔があふれる施設づくり」を目指す。

また、ご利用者様が、住み慣れた環境(地域)において、笑顔で自立した生活を送ることができるよう、個々に合わせたリハビリやレクリエーション、軽作業、季節ごとの行事などの活動を提供し、生活機能の維持・向上を図り、老人保健施設の役割である在宅復帰・在宅療養支援の機能を果たしていく。さらに、介護度が重度の入所者やターミナル期にある方へ、尊厳のある安心した生活を送って頂くことができるよう、職員の資質向上を図る。

《重点推進課題》

1. 「感染に強い施設」への進化

感染対策の強化・徹底を図り、「感染に強い施設」を目指す。

【指標・評価方法】

- ① 感染対策を徹底するために、日々の業務に対策を組み込み、実施継続できているかを評価し、改善点に対し、より感染リスクが軽減される方法を模索し、実施する。
- ② PPE の脱着手順やゾーニングの方法、初動対応のシミュレーションなど、様々な研修及び振り返りの機会を持ち、クラスターで経験したことを活かし予防体制を構築していく。
- ③ 感染症予防マニュアルを新たに見直し、新型コロナウイルスを含め、様々な感染症に対する対策を講じ、施設内に持ち込まない・広げないための基盤づくりを行う。
- ④ クラスターを経験した実体験を基に、地域の皆様に向けた講演活動の企画や実施に向けて計画を立て発信していく。
- ⑤ 個別リハビリの実施や日常生活の中でのリハビリや活動参加を通じて、身体機能の維持向上を図り、在宅復帰率 50%以上の安定確保を目指すとともに、稼働率の向上と安定化を目指す。

【結果】

- ① 地域の感染状況を鑑みながら、各職種の副主任以上等で構成される幹部会議や感染予防委員会にて、予防対策を再構築し、周知実施した。特に幹部会議においては、実施継続評価を行うと同時に、改善点を洗い出し、施設長(医師)や看護師など多職種で協議を重ね、予防対策を立て直し、周知徹底に努めた。
- ② 年3回の研修を実施。PPE 脱着の実践訓練以外は、動画閲覧や資料配布での研修とし、基礎となる手指消毒やPPEの脱着、ゾーニング方法、感染対策に配慮した排泄ケア方法などを再確認し、日々の業務にも活かすことが出来た。3月にクラスターの振り返りやマニュアルの再確認等の内容で研修を予定していたが、準備が間に合わず、次年度へ延期している。

- ③ 新たに「新型コロナウイルス感染症発生時における業務継続計画」と「新型コロナウイルス感染症クラスター発生に係る対応マニュアル」を作成し、各フロアに設置した。職員からの感染予防対策として、健康観察、定期的な抗原検査の実施、家族に濃厚接触が疑われる場合の出勤判断など、予防体制を整えている。食中毒対策として施設への持ち込みの食べ物についての注意点について検討し、ご家族宛に文書を送付し協力を頂くことができている。
- ④ 10月に道東ソーシャルワーク研究会研修会、12月に音更町新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に係る研修会に、講師派遣し、クラスターについての事例発表を行い、地域に向けての情報発信の機会とした。
- ⑤ 在宅復帰を目標にリハビリを継続し、4月から12月までの在宅復帰した利用者は43名、1月平均4.7名で、在宅復帰率50%以上を維持し、1月に超強化型に移行することができた。しかし、十勝の感染状況を踏まえ、1月より在宅復帰・在宅療養支援等指標は止めており、在宅復帰についても見合わせている状況にある。稼働率については、76.3%から始まり、3月、88.3%、累計稼働率82.58%であった。入院者が月平均3.5名となっていたこと、職員のマンパワー不足より介助量の多い方の受け入れが難しい状況や、待機者が少ないことの影響などから、稼働率が思うように伸びなかった。

(2)あんじゅ音更(介護予防)通所リハビリテーション事業所

自立支援を念頭におき、心身の機能の維持回復を図る通所リハビリテーションの役割を踏まえ、感染対策の強化を行いながら、住み慣れた地域や自宅で継続した生活が送れるよう支援を行っていく。

また、在宅生活を支えている家族の気持ちを大切に、安心して生活を送ることができるよう務めていく。

《重点推進課題》

1. 自立支援を目指した取り組み

通所リハビリテーションとしての役割を踏まえ、生活リハビリの視点に着眼点を置き、サービス内容の適時見直し、ダイルーム内の環境を整え、さらなる自立支援を目指したケアを実施する。

【指標・評価方法】

- ①機能の維持回復を念頭にダイルーム内の環境を見直し、利用者自身が考え、興味を持って身体を動かす活動や生活リハビリができるような工夫・改善を行う。
- ②サービス担当者会議の場に積極的にリハビリ職員も同席し、自宅での生活をより把握することで、リハビリテーションの内容に反映または、生活上のアドバイス・改善策をその場で提案する。
- ③送迎、入浴、食事などの日々の場面に対して、生活リハビリの観点を持ち、随時改善点を話し合い、サービス内容の見直しを行う。

【結果】

- ①長い廊下の直線距離数を具体的に明示したことで自ら「〇m 歩く」「〇往復する」など目標立てて自主訓練を行う方が増えた。また、壁に迷路やあみだくじなどの気軽に楽しく遊ぶことのできるレクリエーションを施し、廊下歩行中に興味を持って取り組まれる方も増えた。その他、家事作業の取り組みとして、雑巾作りや食器洗い、テーブル拭き、利用者と職員が一緒にリネン交換を行うなど意識をして進めてきた。次年度においては記録の電子化が導入され、業務の円滑化を図ることで新たな機能維持・回復に向けた通所プログラムを追加したいと考える。
- ②新型コロナウイルス予防の観点から密を避けるために利用者宅での会議の開催が少なかったこと、開催時間が通所営業時間中であったことからリハビリ職員同席の会議は行えなかった。しかし、生活に対して自宅内での課題がある際は、後日時間を調整して家屋調査にて訪問、動作の助言や福祉用具の提案を行い、生活の改善に繋げてきた。

- ③デイ会議にて話し合うことを想定していたが、新型コロナウイルス予防の観点から不定期開催や会議時間の短縮により十分な話し合いはできなかった。また、感染予防の観点から職員の出勤を見合わせるケースや退職などから職員不足が顕著になり、欠員の中でも業務が遂行できる事を優先課題として取り上げ、業務改善について都度話し合う必要性が出てきた事も見直しが行えなかった理由の一つであった。

2. 感染対策の強化

感染対策に重点を置き、利用者自身も予防策を習得できる機会を作り、感染対策の強化を図りながら、安心して通所ができるよう取り組む。

【指標・評価方法】

- ①正しい手指消毒の方法など感染予防対策について利用者に伝える機会を作る。
- ②个人防护具(PPE)において、正しい脱着及び使い方ができているか、対応が正しく行えているかの定期的な評価・改善・確認を行う。

【結果】

- ①手洗いは水気をできる限り拭き取る事、手指消毒のポンプは最後までしっかり押し切る事、こまめな換気やマスク着用の重要性を昼食前や帰りの挨拶時に理由も添えて利用者の皆さまに伝えてきた。また、十勝管内の感染状況や今後においても都度お知らせし、普段の生活から気をつけて頂けるようアナウンスも行ってきた。今後においても、乗車前に検温の確認をしっかり行い体調確認に努め、基本的な事をしっかりと行いながら感染予防対応を継続していく。
- ②4月と11月に全通所職員に実施。中途採用の職員には勤務初日に脱着訓練を行った。今後も手順書を見ながらでも確実にを行う事を目的に継続して脱着訓練を実施し確認を行っていく。

(3)あんじゅ音更(介護予防)訪問リハビリテーション事業所

生活機能の維持・向上を目的として、リハビリテーションを行い、住み慣れた家と地域で、利用者、家族が笑顔で在宅生活を送り続ける事ができるよう支援する。

また「活動」や「参加」に焦点を当てた提案やアプローチを行っていく事で、利用者が主体的に日常生活活動を営む事ができるよう支援する。

そして利用者の機能に合わせた、適切な福祉用具の洗濯や住環境整備の提案を行なうことで、利用者が在宅生活において、最大限の能力を発揮し、生活の質の向上に繋がられるよう支援する。

《重点推進課題》

1. 継続した在宅生活への支援

利用者の機能・能力、日常生活や家屋状況を把握し、適切なリハビリテーションプログラムを立案・実行する事で、安心安全な生活を送れるよう支援する。また、家族への介護指導や不安等に耳を傾ける事で在宅生活をより長く継続できるよう支援する。

【指標・評価方法】

- ①医師の診察・指示のもと、利用者個々の状態に合わせたリハビリテーションプログラムを作成・実施し、心身機能の維持・向上を図る。また利用者様やご家族の在宅生活を営む上での希望と、家屋環境を踏まえたリハビリテーションプログラムを作成し、実際の生活に即した訓練を提供する。
- ②定期的に関リハビリテーション会議を開催し、利用者のご家族、医師、担当リハビリ職員でリハビリテーションの進捗状況の確認や今後の方針について情報共有を行う。また訪問リハビリテーションから他の居宅系サービスへの移行など現状に適したサービスへの切り替えも検討する。必要に応じて関係機関へ会議の内容を伝達し、情報共有を図る。
- ③年1回、利用者・家族へのアンケートを実施し、リハビリテーションの満足度や職員の対応、態度等について意見を聞き、今後の業務に活かす。

【結果】

- ①医師(管理者)による診察とリハビリテーション会議を3カ月ごとに開催し、利用者の心身機能やリハビリテーションの進捗状況の把握と評価、及び今後の方向性について検討を行った。検討内容に基づいてリハビリテーションの目標設定やプログラムの立案を行い、訓練を実施したことで利用者やご家族の望んでいる在宅生活の継続を支援する事ができた。新型コロナウイルス感染症状況により、診察、リハビリテーション会議をリモートで行った。
- ②訪問リハビリテーションを継続することが利用者にとって適切であると考え、他の居宅系サービスへの移行については行わなかった。今後も、リハビリテーション会議等を通じ訪問リハビリテーションの継続や他サービスへの移行等、利用者の状況に合わせた

サービスの提案を行なっていきたい。

- ③アンケートを実施し、職員の接遇面、リハビリテーション内容等について満足しているとの回答を得られた。

2 介護老人保健施設・(介護予防)短期入所療養介護・

(介護予防)通所リハビリテーション・(介護予防)訪問リハビリテーションの運営

(1) 施設の開設

第二種社会福祉事業としての老人保健施設の設置については、介護保険法（平成9年法律123号）第94条の第1項の規定に基づき、平成16年4月7日付で北海道知事に対し設置許可申請を行い、平成16年4月23日付（十保保第153号-1号指令）で許可を受けた。

平成16年5月1日付で「老人保健施設事業開始届」を北海道知事に提出し受理された。併せて、デイケアサービス利用定員20名の開始も受理された。

また、平成18年1月1日より事業拡大の為、通所利用定員30名に変更した。
平成21年8月20日付けで介護保険法第70条第1項の規定に基づく同法第41条第1項本文の指定居宅サービス事業者、並びに同法第115条の2第1項の指定に基づく同法第53条第1項本文の指定介護予防サービス事業者として指定され、訪問リハビリテーション・介護予防訪問リハビリテーションのサービスを平成21年8月25日より開始した。

概要は、次のとおり

施設名称 介護老人保健施設 あんじゅ音更
 施設の所在地 河東郡音更町中鈴蘭元町2番地9
 施設の種類 介護老人保健施設
 (介護予防)短期入所療養介護
 (介護予防)通所リハビリテーション
 (介護予防)訪問リハビリテーション
 入所定員 100名(短期入所療養介護・定員10名、ただし空床利用)
 通所定員 30名(1日当たり)

(2) 施設職員の配置状況

(2022/3/31 現在)

		施設長 (医師・管理者)	事務長	事務員	支援相談員	介護職員	看護職員	管理栄養士	セラピスト	介護支援専門員	介護アシスタント	介助員	運転手	用務員	夜間警備員	調理員	計
入所	基準数(人)	1			1	24	13	1	1	1							42
	現員(人)	1 (1)	1 (1)	1	3 (2)	41 ⑧	16 ③	1 (1)	7 (7)	2 (2)	6 ⑥	7 ⑥		1	3 ③	委託	90 (13)②
通所	基準数(人)	1				3			1								5
	現員(人)	1 (1)			1	11 ③		1 (1)	7 (7)		1 ①		2 ②			委託	24 (7)⑥
訪問	基準数(人)								1								1
	現員(人)								7 (7)							委託	6 (6)

* ()は兼務。○は非常勤の内数。

(3) 行事実施状況

月	実施日	内 容	場 所	参加人数
4月	各誕生日	誕生会	各階食堂	5名
	19日	ケーキバイキング(3階)	3階食堂	37名
5月	各誕生日	誕生会	各階食堂	7名
	12日	母の日 行事(2階)	2階食堂	40名
	13日	母の日 フルーツサンド作り(3階)	2階3階食堂	38名
	20日	開設記念行事食	2階3階食堂	80名
6月	各誕生日	誕生会	各階食堂	8名
	23日	父の日 ケーキバイキング(2階)	2階食堂	41名
	24日	父の日 スモアサンドづくり(3階)	3階食堂	38名
	30日	運動会(2階)	2階食堂	41名
7月	各誕生日	誕生会	各階食堂	5名
	28日	納涼祭(2階)	2階食堂 施設前	40名
	29日	夏祭(3階)	3階食堂	38名
8月	各誕生日	誕生会	各階食堂	7名
	23日	焼肉行事(3階)	3階食堂	43名
	26.27.28日	変わり湯(ジャスミン浴)	2階浴室	82名
9月	各誕生日	誕生会	各階食堂	9名
	12日	敬老祝賀会	2階3階食堂	78名
10月	各誕生日	誕生会	各階食堂	8名
	20日	調理レク 豚汁、ホットドック(2階)	2階食堂	41名
	25日	寿司行事 (3階)	3階食堂	44名
	27日	寿司行事 (2階)	2階食堂	42名
11月	各誕生日	誕生会	各階食堂	2名
	11日	鍋行事(3階)	3階食堂	42名
	24日	昼食行事 カップ麺(2階)	2階食堂	37名
12月	各誕生日	誕生会	各階食堂	4名
	22日	クリスマス会(2階)	2階食堂	42名
	23日	クリスマス会(3階)	3階食堂	42名
1月	各誕生日	誕生会	各階食堂	8名
	18日	調理レク 汁粉 (2階)	2階食堂	39名
2月	各誕生日	誕生会	各階食堂	4名
	2日	節分 豆まき・恵方クレープづくり(2階)	2階食堂	44名
	3日	節分 豆まき (3階)	3階食堂	46名
	16日	調理レク(ミルク焼きもち)(2階)	2階食堂	44名
	23日	調理レク(カレーライス)(2階)	2階食堂	45名
	24日	調理レク(たこ焼き)(3階)	3階食堂	45名
3月	各誕生日	誕生会	各階食堂	13名
	9日	桃の節句行事 桜餅風お菓子作り(2階)	2階食堂	45名
	10.11.12日	変わり湯(温湯)	2階浴室	90名
	24日	調理レク(お汁粉)(3階)	3階食堂	43名

(3) 行事实施状況(通所)

月	実施日	内 容	場 所	参加人数
4月	各誕生日	誕生会	デイルーム	6名
5月	各誕生日	誕生会	デイルーム	8名
	20日	昼食行事(開設記念行事食)	デイルーム	29名
6月	各誕生日	誕生会	デイルーム	5名
7月	各誕生日	誕生会	デイルーム	4名
	26日	昼食行事(ケーキバイキング)	デイルーム	24名
8月	各誕生日	誕生会	デイルーム	7名
9月	各誕生日	誕生会	デイルーム	5名
	13日～18日	敬老会(表彰者7名)	デイルーム	154名
	29日	昼食行事(クレープ作り)	デイルーム	24名
10月	各誕生日	誕生会	デイルーム	11名
11月	各誕生日	誕生会	デイルーム	5名
	28日	昼食行事(お寿司)	デイルーム	26名
12月	各誕生日	誕生会	デイルーム	3名
	20日～25日	クリスマス会	デイルーム	149名
	20日～25日	入浴行事(ゆず湯)	お風呂場	128名
1月	各誕生日	誕生会	デイルーム	11名
	28日	昼食行事(お汁粉作り)	デイルーム	29名
2月	各誕生日	誕生会	デイルーム	10名
3月	各誕生日	誕生会	デイルーム	5名
	28日	昼食行事(中華ランチ)	デイルーム	22名

(4)利用者の状況

ア. 年齢別構成状況(人)

		未満	65	70	75	80	85	90	95	合計	最低年齢	最高年齢	平均年齢	前年平均
		5	5	5	5	5	5	5	以上					
一般棟	男	0	0	0	0	1	0	4	0	5	81	92	89.4	86.0
	女	0	0	1	3	4	13	13	5	39	70	100	88.2	90.2
	計	0	0	1	3	5	13	17	5	44			88.3	89.7
認知症専門棟	男	0	0	0	1	1	1	3	0	6	78	91	86.8	83.5
	女	0	2	0	4	6	11	8	7	38	68	103	87.4	87.8
	計	0	2	0	5	7	12	11	7	44			87.3	87.3
合計		0	2	1	8	12	25	28	12	88			87.8	88.5

イ. 要介護度別利用者状況(延人数)

性別	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計	平均	前年平均
男	409	1,074	649	828	375	3,335	2.91	2.91
女	4,902	7,548	4,232	5,841	2,727	25,250	2.76	2.83
計	5,311	8,622	4,881	6,669	3,102	28,585	2.78	2.84

ウ. 介護保険者別構成状況(人)

	帯広市	音更町	士幌町	上士幌町	清水町	浦幌町	本別町	鹿追町	広尾町	芽室町	陸別町	豊頃町	幕別町	合計
男	3	5	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	11
女	16	53	5	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	77
計	19	58	7	0	0	1	0	0	1	0	0	1	1	88

エ. 入所者所得段階

	第1段階	第2段階	第3段階①	第3段階②	第4段階	合計
男	0	1	1	3	6	11
女	4	11	18	22	22	77
計	4	12	19	25	28	88

オ. 健康保険加入状況(人)

	後期高齢者医療制度	国民健康保険	社会保険	組合健康保険	生活保護	合計
男	11	0	0	0	0	11
女	73	0	0	0	4	77
計	84	0	0	0	4	88

カ. 在所者利用期間別構成状況(人)

	1年未満	1~2	2~3	3~4	4~5	5~6	6~7	7~8	8~9	9~10	10年以上	合計
男	7	2	1	0	0	0	0	1	0	0	0	11
女	47	10	2	3	3	3	2	3	1	2	1	77
計	54	12	3	3	3	3	2	4	1	2	1	88

キ. 障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)

	自立	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	合計
男	0	1	0	1	2	2	3	1	1	11
女	0	0	2	6	32	9	21	5	2	77
計	0	1	2	7	34	11	24	6	3	88

ク. 認知症高齢者の日常生活自立度

	自立	I	IIa	IIb	IIIa	IIIb	IV	M	合計
男	1	0	1	2	2	5	0	0	11
女	2	2	2	11	29	22	8	1	77
計	3	2	3	13	31	27	8	1	88

ケ. 栄養関係加算状況(延人数)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一般棟	栄養ケアマネジメント加算													
認知症専門棟														
合計														

コ. 通院状況(延人数)

	内科	精神科	循環器科	呼吸器科	外科	総診	整形外科	形成外科	脳外科	皮膚科	泌尿器科	婦人科	眼科	耳鼻科	神経内科	口腔外科	合計
男	17	3	2	0	0	4	5	0	1	1	2		0	0	0	0	35
女	61	5	7	0	25	1	29	9	8	2	6	5	0	7	0	0	165
計	78	8	9	0	25	5	34	9	9	3	8	5	0	7	0	0	200

(重複掲載)

サ. 往診状況(延人数)

	内科	歯科	眼科	皮膚科	合計
男	0	12	0	0	12
女	0	290	0	0	290
計	0	302	0	0	302

(重複掲載)

シ. リハビリ実施状況(延人数)

		入所	通所	合計
内 容	集団活動 体操	0	0	0
	個別訓練 機能訓練・ADL訓練・嚥下訓練・言語訓練(入所:ショートステイの個別訓練含む) 知的活動(パズル・計算・語想起等)	14,371	2,379	16,750
	合計	14,371	2,379	16,750

ス. 入所・短期利用状況

利用状況		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年合計
	日数		30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
入所利用延人数		2,133	2,313	2,356	2,416	2,350	2,226	2,462	2,308	2,397	2,484	2,417	2,723	28,585	31,066
短期利用延人数		156	128	84	134	163	179	134	144	133	176	109	15	1,555	1,357
1日平均人数		76.30	78.74	81.33	82.26	81.06	80.17	83.74	81.73	81.61	85.81	90.21	88.32	82.58	88.83
入所率(%)		76.30	78.74	81.33	82.26	81.06	80.17	83.74	81.73	81.61	85.81	90.21	88.32	82.58	88.83

セ. 入退所状況(人)

入 所		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年合計	
	家庭		4	6	4	3	6	7	5	4	8	6	8	1	62	51
病院		5	4	5	4	1	7	8	3	7	7	0	6	57	68	
他施設		0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
合計		9	10	9	7	8	14	13	7	15	13	8	7	120	120	
退 所	家庭		4	2	3	7	5	4	4	6	5	4	0	3	47	45
	病院		4	1	4	2	4	5	4	4	4	4	1	5	42	77
	他施設		1	0	0	1	1	1	1	0	0	2	0	0	7	6
	死亡		1	0	1	1	0	0	0	3	1	0	1	0	8	10
	合計		10	3	8	11	10	10	9	13	10	10	2	8	104	138

ソ. 入所待機者状況(人)

	要支援1	要支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
男			3	3	3	3	3	15
女			6	3	7	3	2	21
計			9	6	10	6	5	36

タ. 入所者・利用者減免状況

	入所減免額			(予防)短期減免額			(予防)通所減免額					合計 (円)
	通常減免		1件当平均 (円)	音更町減免		1件当平均 (円)	通常減免		音更町減免他		1件当平均 (円)	
	件数	金額(円)		件数	金額(円)		件数	金額(円)	件数	金額(円)		
4月	8	305,030	38,129	2	9,009	4,505	54	155,697	1	4,736	2,917	474,472
5月	8	297,310	37,164	1	9,394	9,394	57	159,531	1	4,747	2,832	470,982
6月	8	286,720	35,840	0	0	0	58	161,951	1	4,747	2,825	453,418
7月	8	282,720	35,340	0	0	0	62	161,054	2	7,917	2,640	451,691
8月	7	278,170	39,739	1	11,773	11,773	62	176,159	2	7,560	2,871	473,662
9月	7	248,660	35,523	1	8,914	8,914	66	177,412	2	4,375	2,673	439,361
10月	7	260,750	37,250	0	0	0	67	181,708	2	7,847	2,747	450,305
11月	7	257,660	36,809	1	1,700	1,700	73	187,425	2	7,847	2,604	454,632
12月	6	236,540	39,423	1	12,023	12,023	70	171,448	1	3,865	2,469	423,876
1月	5	195,850	39,170	1	9,388	9,388	68	139,495	0	0	2,051	344,733
2月	5	186,190	37,238	0	0	0	61	129,678	0	0	2,126	315,868
3月	5	207,910	41,582	0	0	0	60	153,727	0	0	2,562	361,637
合計	81	3,043,510	453,206	8	62,201	57,697	758	1,955,285	14	53,641	31,318	5,114,637

チ. (介護予防)通所実施状況

	登録人数	開放日数	利用人員	一日平均人数	利用率(%)	介護度別延べ人数(人)						サービス状況(回)								
						要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	入浴	入浴(予)	食事	リハマネロ(イ)	短期集中リハ	認知症短期	運動機能	送迎減算
4月	72	26	603	23.20	77.31	31	71	252	132	73	27	17	442	63	603	0	0	0	4	3
5月	73	26	603	23.20	77.31	28	71	264	135	67	34	4	446	60	603	1	0	8	5	4
6月	78	26	615	23.66	78.85	30	80	272	120	79	29	5	457	69	615	1	7	8	3	4
7月	80	27	621	23.00	76.67	28	83	253	145	78	30	4	436	70	621	1	0	7	5	6
8月	81	26	616	23.70	78.98	25	77	249	147	85	29	4	435	71	616	1	0	0	4	3
9月	85	26	645	24.81	82.70	38	79	280	133	78	30	7	460	76	645	1	0	0	5	7
10月	88	26	700	26.93	89.75	31	85	301	156	85	30	12	514	75	700	1	0	9	6	6
11月	94	26	718	27.62	92.06	32	74	308	180	81	32	11	539	72	718	1	0	9	6	8
12月	91	26	668	25.70	85.65	34	74	254	181	86	34	5	496	68	668	1	0	4	6	8
1月	82	25	538	21.52	71.74	19	64	227	134	59	32	3	401	57	537	0	8	0	6	8
2月	77	24	522	21.75	72.50	31	53	237	114	58	25	4	384	52	522	0	10	0	6	3
3月	82	27	636	23.56	78.52	41	84	236	162	80	28	5	437	84	635	0	17	0	6	0
合計	311	7,485	24,07	80.23		368	895	3,133	1,739	909	360	81	5,447	817	7,483	8	42	45	62	60
昨年同期	262	6,440	24.59	81.94		253	807	2,524	1,637	744	377	98	4,556	722	6,348	616	0	0	40	33

ツ. (介護予防)訪問リハビリテーション実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数 ()内は予防	2 (0)	2 (0)	3 (0)	3 (0)	3 (0)	3 (0)	3 (0)	3 (0)	2 (0)	3 (0)	3 (0)	3 (1)	33 (1)
延べ人数	14	12	15	18	18	16	17	14	13	15	16	20	188
昨年同期	10	9	9	9	8	9	13	11	5	0	3	12	98

(5) 苦情受付件数と主な内容

3 件				第3者委員等の報告	結果	
部門	苦情申出者	内 容				
入所	家族	ご家族より、「以前、施設からの着信があり折り返し連絡したが、誰が電話をかけたかわからず、たらい回しにされた。今後は、誰がかけたのかを留守電に残してほしい。」との申し出がある。電話を待たせてしまった状況を確認し、相談員よりご家族に電話にて謝罪し、不在時は留守番電話に伝言を残す対応を徹底する。			なし	ご理解を得る
入所	家族	介護職員より、施設への差しれの制限等についての電話連絡があったが、面会も制限される中、食べる楽しみをとの家族の思いが無視され、また、最後に「明日も面会に来ますよね。」との言葉が「明日も？来ては行けないの？」と感じ、大変不快だった。との申し出がお電話にてある。相談員よりお電話にて謝罪。			なし	ご理解を得る
入所	家族	介護職員から衣類補充の電話での依頼があったが、届けて数日でなぜ不足なのか説明がない、入所してから本人の様子の説明が一度もない、ケアプランや栄養計画書が郵送されたが説明なしに同意しろというのか、電話連絡は窓口を1本化してほしいとの不満や要望がある。相談員と面談にて謝罪する。			なし	ご理解を得る

(6) 介護事故件数

重大事故 (行政報告)		誤嚥 (誤飲・誤食・異食・窒息等)	誤薬 誤配	転倒	転落	打撲 捻挫 脱臼 変色	火傷 裂傷 皮膚剥離	無断外出 行方不明	送迎車に よる事故	自傷行為 暴力	職員言動 処遇	溺水	その他	合計	
	入所	2	6	2	0	4	1	0	0	0	0	0	0	0	15
	短期	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	デイケア	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	合計	2	7	3	0	4	2	0	0	0	0	0	0	0	18

事故 (施設内処理)		誤嚥 (誤飲・誤食・窒息等)	誤薬 誤配	転倒	転落	打撲 捻挫 脱臼 変色	火傷 裂傷 皮膚剥離	無断外出 行方不明	送迎車に よる事故	自傷行為 暴力	職員言動 処遇	溺水	その他	合計
	入所	14	6	54	20	69	22	0	0	3	0	0	8	196
	短期	0	0	3	0	0	1	0	0	0	0	0	2	6
	デイケア	2	0	6	0	0	0	0	0	2	0	0	0	10
	合計	16	6	63	20	69	23	0	0	5	0	0	10	212

ヒヤリハット		誤嚥 (誤飲・誤食・窒息等)	誤薬 誤配	転倒	転落	打撲 捻挫 脱臼 変色	火傷 裂傷 皮膚剥離	無断外出 行方不明	送迎車に よる事故	自傷行為 暴力	職員言動 処遇	溺水	その他	合計
	入所	12	4	64	34	1	0	0	0	0	0	1	10	126
	短期	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	デイケア	3	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	7
	合計	15	4	66	35	1	0	0	0	0	0	1	12	134

(7) 慰問・ボランティア状況

	名前	内容	来所日	延べ人数
学校関係				名
慰問関係				名
				名
				名
				名
				名
				名
ボランティア関係				名
				名
				名
				名
				名
				名
				名
				名
				名
				名
その他				名
合計			延べ人数(団体)	0名
			〃 (個人)	0名
			〃 合計	0名

(8) 実習生受入れ状況

受入期間	人数	日数	延べ人数	学校名	学部・学科	実習内容
2021.11.15 ~ 2021.11.19	2	5	10	帯広大谷短期大学	生活科学科栄養士課程2年	栄養士実習
2022.2.14 ~ 2022.3.1	2	12	24	帯広大谷短期大学	社会福祉科1年	介護実習
合計	4	17	34			

(9) 地域における公益的な取組(事例について自由記述)

①道東ソーシャルワーク研究会研修会への講師派遣 2021年10月2日 ②木野新町老人クラブひまわり会、転倒予防について講師派遣 2021年10月28日 ③音更町新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に係る研修会にて事例発表 2021年12月1日
